

令和4年度 第4回市民意識調査 報告書

調査期間:令和4年12月2日(金)～12月16日(金)

テーマ

- 1 札幌市の仕事の取り組み方に対する評価について
- 2 シティプロモートの推進について
- 3 成年後見制度について
- 4 札幌市が実施する自動消火装置助成事業について
- 5 食育について

札幌市

目 次

1 調査実施の概要	
(1) 目的	2
(2) 項目	2
(3) 設計	2
(4) 回収結果	2
(5) 回答者の特性	2
(6) 集計・分析上の注意事項	3
2 調査結果の詳細	
(1) 札幌市の仕事の取り組み方に対する評価について	
市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する全体の評価	6
市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する項目ごとの評価	
ア 窓口や電話で親切な対応を行っている	7
イ 必要な業務（サービス）を実施している	8
ウ 事務や事業の効率化、見直しを進めている	9
エ 市政情報を積極的に発信している	10
市役所や区役所での手続き経験の有無	11
市役所や区役所で行ったことがある手続き	12
市役所や区役所での手続きの待ち時間に対する印象	13
市役所や区役所で手続きが開始されるまでの平均時間	14
市役所や区役所での手続きのわかりやすさに対する印象	15
改善を望む手続きの内容	16
(2) シティプロモートの推進について	
サッポロスマイルロゴを見たことの有無	17
サッポロスマイルロゴの認知度	18
サッポロスマイルロゴを見たことがある媒体や場所	19
札幌の魅力について	20
札幌の魅力を伝えたり、広めたりしたことがあるか否か	21
札幌の魅力を伝えたり、広めたりする手段	22
札幌の魅力を伝えたり、広めたりするきっかけ	23
札幌の情報を知る際の入手手段	24
札幌以外の街の情報を知る際の入手手段	25
(3) 成年後見制度について	
成年後見制度の認知度	26
成年後見制度の窓口があった場合、相談窓口を利用したいと思うか否か	27
窓口で相談したい内容	28
成年後見制度を利用したいと思うか否か	29
成年後見制度を利用したいと思わない、わからない理由	30
親族の後見人となって支援することに抵抗があるか否か	31
親族に依頼された時、後見人として支援したいと思える環境	32

(4) 札幌市が実施する自動消火装置助成事業について	
自宅で火災の危険があると感じている場所（要因）	33
自動消火装置の購入・設置に要する費用の助成制度の認知度	34
自動消火装置の購入・設置の助成制度の認知方法	35
自動消火装置を自宅に設置したいか否か	36
自宅に設置したい自動消火装置の台数	37
高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度の利用の有無	38
高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を利用したいか否か	39
高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度の利用に踏み切れない理由	40
高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を紹介したいか否か	41
高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を紹介したいと思わない理由	42
火災予防に関する情報の入手手段	43
(5) 食育について	
「食育」への関心の有無	44
「食育」に関心がある理由	45
主食・主菜・副菜をそろえて食べる頻度	46
主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすために必要だと思うこと	47
一日の全ての食事を一人で食べる頻度	48
生活習慣病等の予防や改善のための食生活を実践しているか否か	49
生活習慣病等の予防や改善のための食生活を実践していない理由	50
伝統的な食事を食べているか否か	51
伝統的な食事を受け継ぐために必要な事	52
食に関する情報の入手手段	53
資料：令和4年度第4回市民意識調査票	55

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和49年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和4年度第4回調査では、「札幌市の仕事の取り組み方に対する評価」「シティプロモートの推進」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

- ① 札幌市の仕事の取り組み方に対する評価について
- ② シティプロモートの推進について
- ③ 成年後見制度について
- ④ 札幌市が実施する自動消火装置助成事業について
- ⑤ 食育について

(3) 設計

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満18歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 令和4年(2022年)12月2日(金)～12月16日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
回収数(率) 2,343 (46.9%)

(5) 回答者の特性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,343	100.0	950	40.5	1,377	58.8	7	0.3	9	0.4	2,343	100.0
【性別】												
男性	950	40.5	950	100.0	-	-	-	-	-	-	950	100.0
女性	1,377	58.8	-	-	1,377	100.0	-	-	-	-	1,377	100.0
その他	7	0.3	-	-	-	-	7	100.0	-	-	7	100.0
無回答	9	0.4	-	-	-	-	-	-	9	100.0	9	100.0
【年代】												
29歳以下	132	5.6	50	37.9	81	61.4	1	0.8	0	0.0	132	100.0
30～39歳	259	11.1	91	35.1	167	64.5	1	0.4	0	0.0	259	100.0
40～49歳	348	14.9	145	41.7	201	57.8	2	0.6	0	0.0	348	100.0
50～59歳	418	17.8	154	36.8	262	62.7	2	0.5	0	0.0	418	100.0
60～69歳	437	18.7	185	42.3	252	57.7	0	0.0	0	0.5	437	100.0
70歳以上	738	31.5	325	44.0	413	56.0	0	0.0	0	0.9	738	100.0
無回答	11	0.5	0	0.0	1	9.1	1	9.1	9	81.8	11	100.0
【居住区】												
中央区	254	10.8	94	37.0	158	62.2	1	0.4	1	0.4	254	100.0
北区	305	13.0	121	39.7	184	60.3	0	0.0	0	0.0	305	100.0
東区	306	13.1	117	38.2	187	61.1	2	0.7	0	0.0	306	100.0
白石区	269	11.5	105	39.0	164	61.0	0	0.0	0	0.0	269	100.0
厚別区	172	7.3	75	43.6	97	56.4	0	0.0	0	0.0	172	100.0
豊平区	268	11.4	114	42.5	153	57.1	1	0.4	0	0.0	268	100.0
清田区	142	6.1	58	40.8	84	59.2	0	0.0	0	0.0	142	100.0
南区	183	7.8	89	48.6	94	51.4	0	0.0	0	0.0	183	100.0
西区	269	11.5	110	40.9	158	58.7	1	0.4	0	0.0	269	100.0
手稲区	161	6.9	66	41.0	94	58.4	1	0.6	0	0.0	161	100.0
無回答	14	0.6	1	7.1	4	28.6	1	7.1	8	57.1	14	100.0
【職業】												
会社員	666	28.4	381	57.2	284	42.6	1	0.2	0	0.0	666	100.0
公務員	90	3.8	58	64.4	32	35.6	0	0.0	0	0.0	90	100.0
自営業	121	5.2	89	73.6	31	25.6	0	0.0	1	0.8	121	100.0
パート・アルバイト	352	15.0	56	15.9	294	83.5	2	0.6	0	0.0	352	100.0
主婦・主夫	421	18.0	5	1.2	413	98.1	3	0.7	0	0.0	421	100.0
学生	37	1.6	18	48.6	19	51.4	0	0.0	0	0.0	37	100.0
無職	544	23.2	296	54.4	248	45.6	0	0.0	0	0.0	544	100.0
その他	90	3.8	40	44.4	50	55.6	0	0.0	0	0.0	90	100.0
無回答	22	0.9	7	31.8	6	27.3	1	4.5	8	36.4	22	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,343	100.0	950	40.5	1,377	58.8	7	0.3	9	0.4	2,343	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,428	60.9	637	44.6	786	55.0	4	0.3	1	0.1	1,428	100.0
乳幼児(0~2歳程度)	71	3.0	16	22.5	55	77.5	0	0.0	0	0.0	71	100.0
就学前児童(3~5歳程度)	114	4.9	41	36.0	73	64.0	0	0.0	0	0.0	114	100.0
小学生(6~12歳程度)	197	8.4	71	36.0	126	64.0	0	0.0	0	0.0	197	100.0
中学生(13~15歳程度)	117	5.0	54	46.2	61	52.1	2	1.7	0	0.0	117	100.0
高校生(16~18歳程度)	129	5.5	52	40.3	77	59.7	0	0.0	0	0.0	129	100.0
大学(院)・専門学校生	113	4.8	33	29.2	79	69.9	1	0.9	0	0.0	113	100.0
65歳以上の高齢者	326	13.9	136	41.7	189	58.0	1	0.3	0	0.0	326	100.0
上記「1」~「8」以外の方	470	20.1	173	36.8	295	62.8	1	0.2	1	0.2	470	100.0
いない	441	18.8	154	34.9	287	65.1	0	0.0	0	0.0	441	100.0
無回答	29	1.2	5	17.2	15	51.7	1	3.4	8	27.6	29	100.0
【居住形態】												
戸建住宅	1,128	48.1	477	42.3	648	57.4	2	0.2	1	0.1	1,128	100.0
集合住宅	1,169	49.9	456	39.0	709	60.7	4	0.3	0	0.0	1,169	100.0
その他	28	1.2	13	46.4	15	53.6	0	0.0	0	0.0	28	100.0
無回答	18	0.8	4	22.2	5	27.8	1	5.6	8	44.4	18	100.0
【出生地】												
札幌生まれ	693	29.6	286	41.3	404	58.3	3	0.4	0	0.0	693	100.0
札幌以外	1,632	69.7	660	40.4	967	59.3	4	0.2	1	0.1	1,632	100.0
無回答	18	0.8	4	22.2	6	33.3	0	0.0	8	44.4	18	100.0
【札幌居住年数】												
1年未満	38	1.6	20	52.6	18	47.4	0	0.0	0	0.0	44	100.0
1年以上~3年未満	74	3.2	36	48.6	37	50.0	1	1.4	0	0.0	70	100.0
3年以上~5年未満	83	3.5	31	37.3	52	62.7	0	0.0	0	0.0	58	100.0
5年以上10年未満	128	5.5	49	38.3	79	61.7	0	0.0	0	0.0	98	100.0
10年以上~20年未満	274	11.7	96	35.0	177	64.6	1	0.4	0	0.0	268	100.0
20年以上~30年未満	390	16.6	163	41.8	225	57.7	2	0.5	0	0.0	381	100.0
30年以上	1,339	57.1	553	41.3	783	58.5	2	0.1	1	0.1	1,428	100.0
無回答	17	0.7	2	11.8	6	35.3	1	5.9	8	47.1	44	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

2 調査結果の詳細

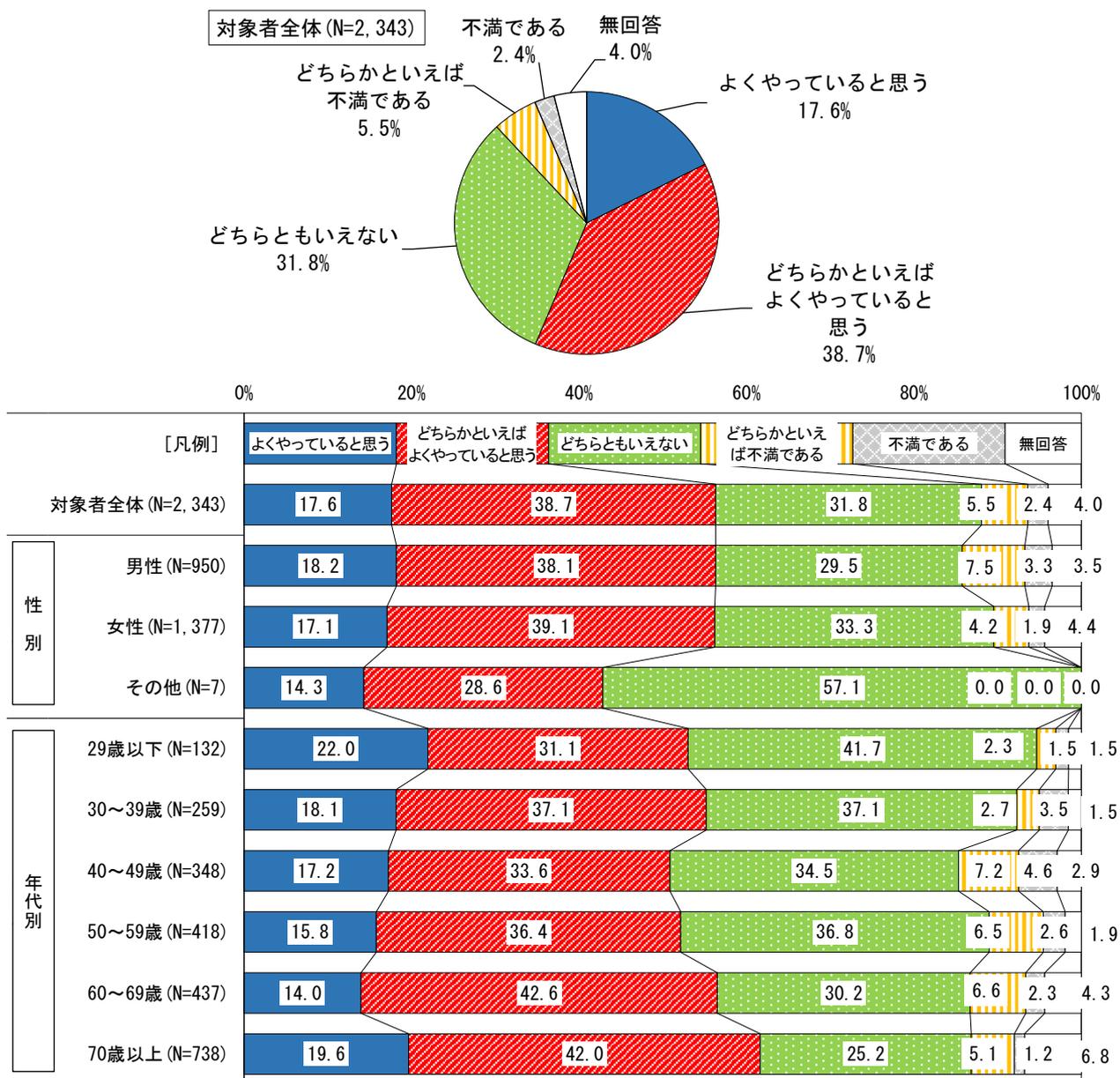
(1) 札幌市の仕事の取り組み方に対する評価について

◇市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する全体の評価

問1 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方全般に対して、どのように思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

市役所や区役所の仕事の取り組み方について“よくやっていると思う”人は56.3%

※ “よくやっていると思う（「よくやっていると思う」＋「どちらかといえばよくやっていると思う」）



【全体】市役所や区役所の仕事の取り組み方への評価は、「よくやっていると思う」が17.6%、「どちらかといえばよくやっていると思う」が38.7%、合わせると56.3%となっている。一方、「どちらかといえば不満である」が5.5%、「不満である」が2.4%、合わせると7.9%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“よくやっていると思う”が70歳以上（61.7%）で最も高く、次いで60歳代（56.5%）、30歳代（55.2%）となっている。

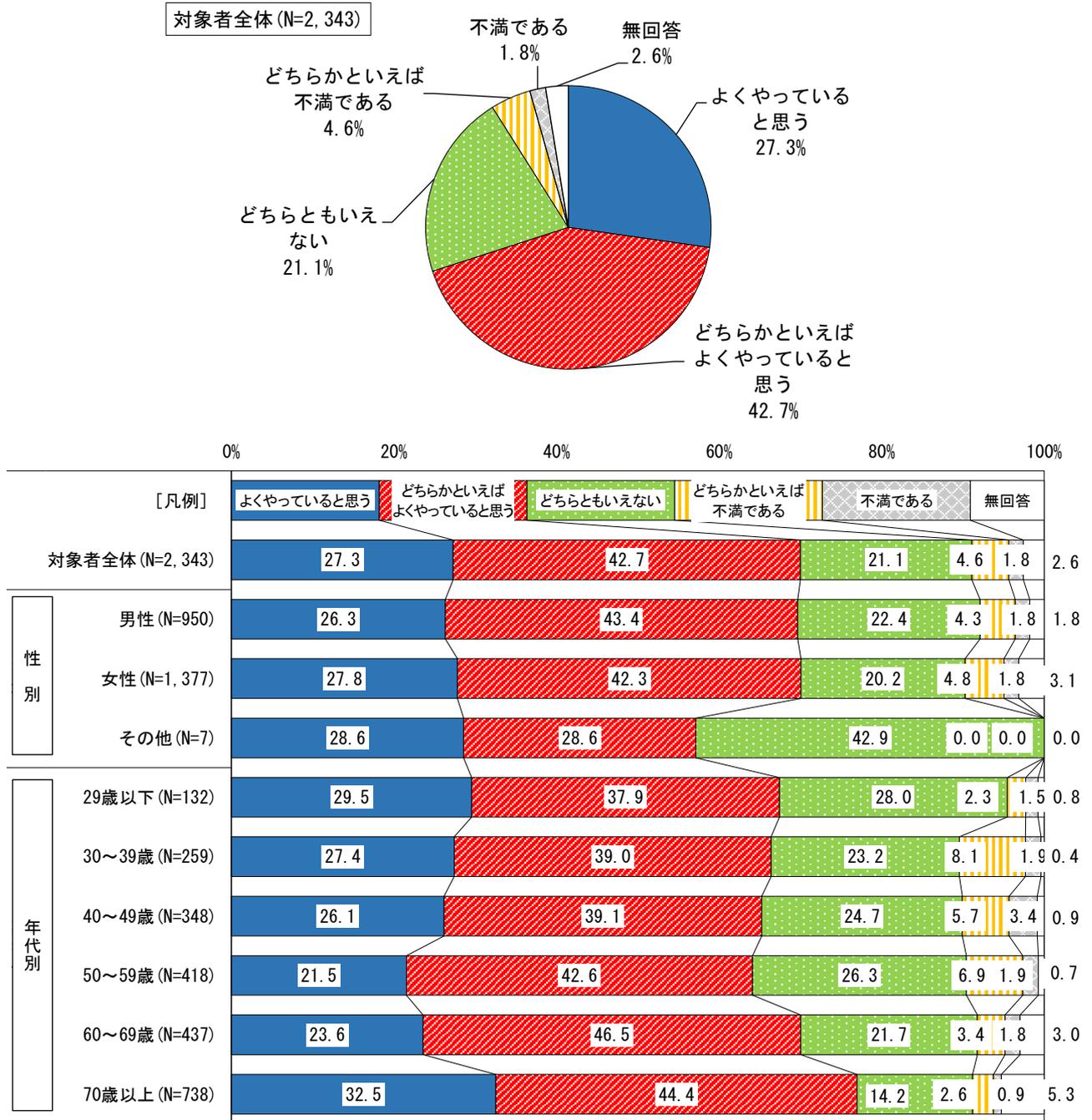
◇市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する項目ごとの評価

問2 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方に対して、次のア～エのそれぞれの項目について、どのように思いますか。項目ごとの数字に1つずつ○をつけてください。

ア. 窓口や電話で親切な対応を行っている

窓口や電話で親切な対応を行っているかについて “よくやっていると思う”人は 70.0%

※ “よくやっていると思う”（「よくやっていると思う」＋「どちらかといえばよくやっていると思う」）



【全 体】 窓口で親切な対応を行っているかについて、「よくやっていると思う」が 27.3%、「どちらかといえばよくやっていると思う」が 42.7%、合わせると 70.0%となっている。一方、「どちらかといえば不満である」が 4.6%、「不満である」が 1.8%、合わせると 6.4%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 “よくやっていると思う” が 70 歳以上 (77.0%) で最も高く、次いで 60 歳代 (70.0%)、29 歳以下 (67.4%) となっている。

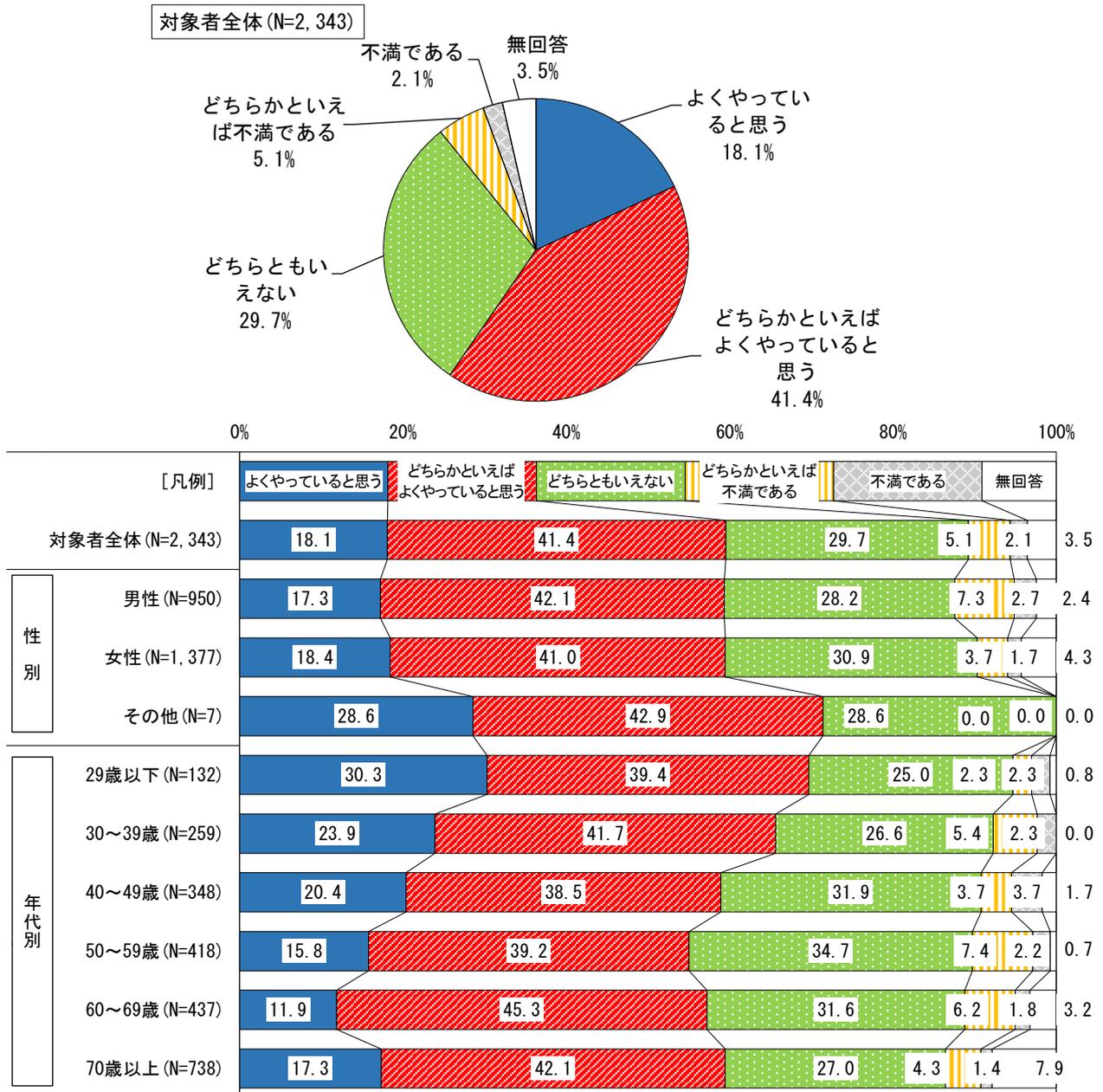
◇市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する項目ごとの評価

問2 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方に対して、次のア～エのそれぞれの項目について、どのように思いますか。項目ごとの数字に1つずつ○をつけてください。

イ. 必要な業務（サービス）を実施している

必要な業務（サービス）を実施しているかについて“よくやっていると思う”人は59.5%

※“よくやっていると思う”（「よくやっていると思う」＋「どちらかといえばよくやっていると思う」）



【全体】 必要な業務（サービス）を実施しているかについて、「よくやっていると思う」が18.1%、「どちらかといえばよくやっていると思う」が41.4%、合わせると59.5%となっている。一方、「どちらかといえば不満である」が5.1%、「不満である」が2.1%、合わせると7.2%となっている。

【性別】 「男女で大きな差は見られない。」

【年代別】 “よくやっていると思う”が29歳以下（69.7%）で最も高く、次いで30歳代（65.6%）、70歳以上（59.5%）となっている。

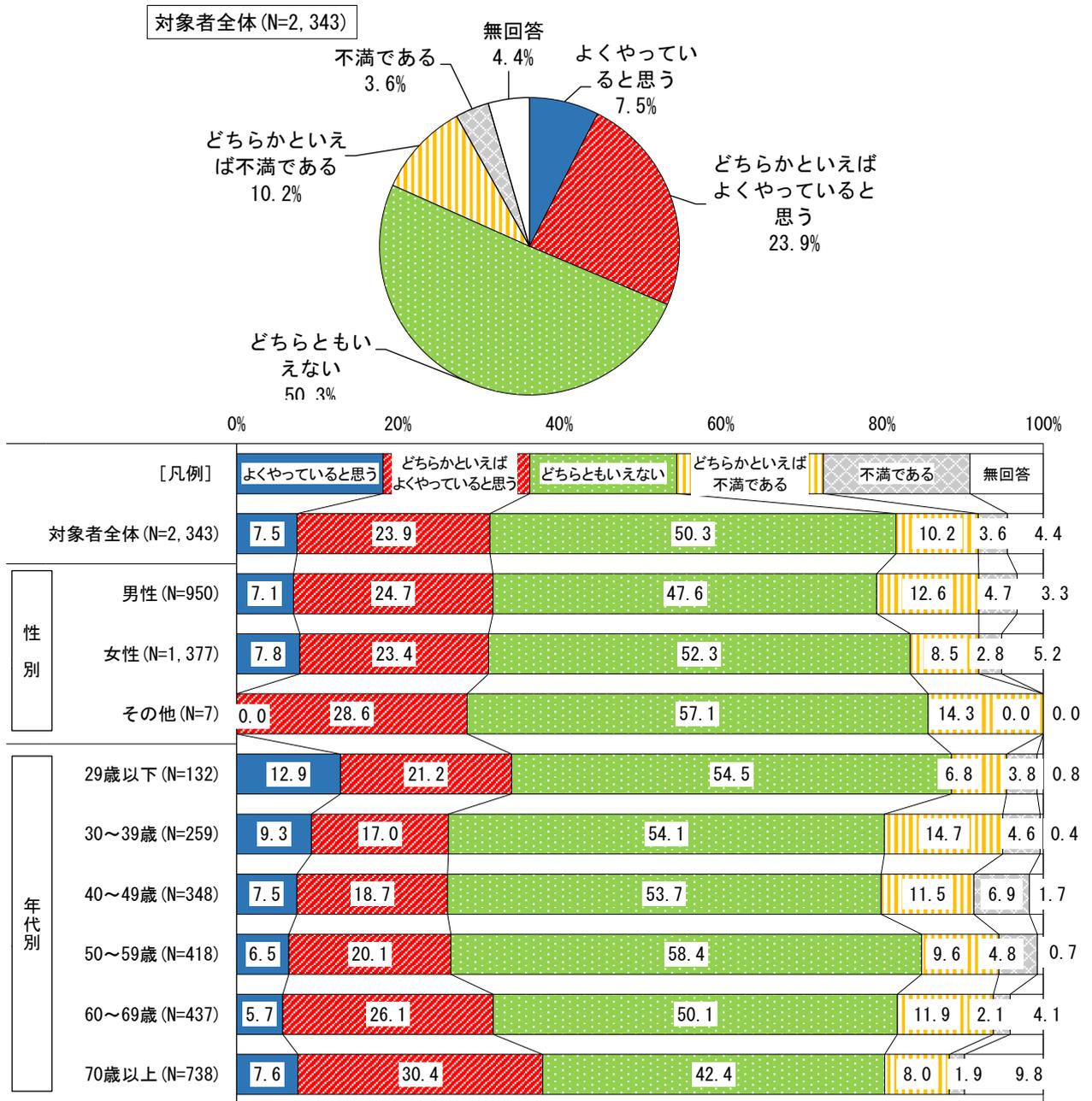
◇市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する項目ごとの評価

問2 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方に対して、次のア～エのそれぞれの項目について、どのように思いますか。項目ごとの数字に1つずつ○をつけてください。

ウ. 事務や事業の効率化、見直しを進めている

事務や事業の効率化、見直しを進めているかについて“よくやっていると思う”人は31.4%

※“よくやっていると思う”(「よくやっていると思う」+「どちらかといえばよくやっていると思う」)



【全体】事務や事業の効率化、見直しを進めているかについて、「よくやっていると思う」が7.5%、「どちらかといえばよくやっていると思う」が23.9%となっている。一方、「どちらかといえば不満である」が10.2%、「不満である」が3.6%となっている。

【性別】「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた”不満である”は男性が17.3%と、女性の11.3%より6.0ポイント高くなっている。

【年代別】“よくやっていると思う”が70歳以上(38.0%)で最も高く、次いで29歳以下(34.1%)、60歳代(31.8%)となっている。

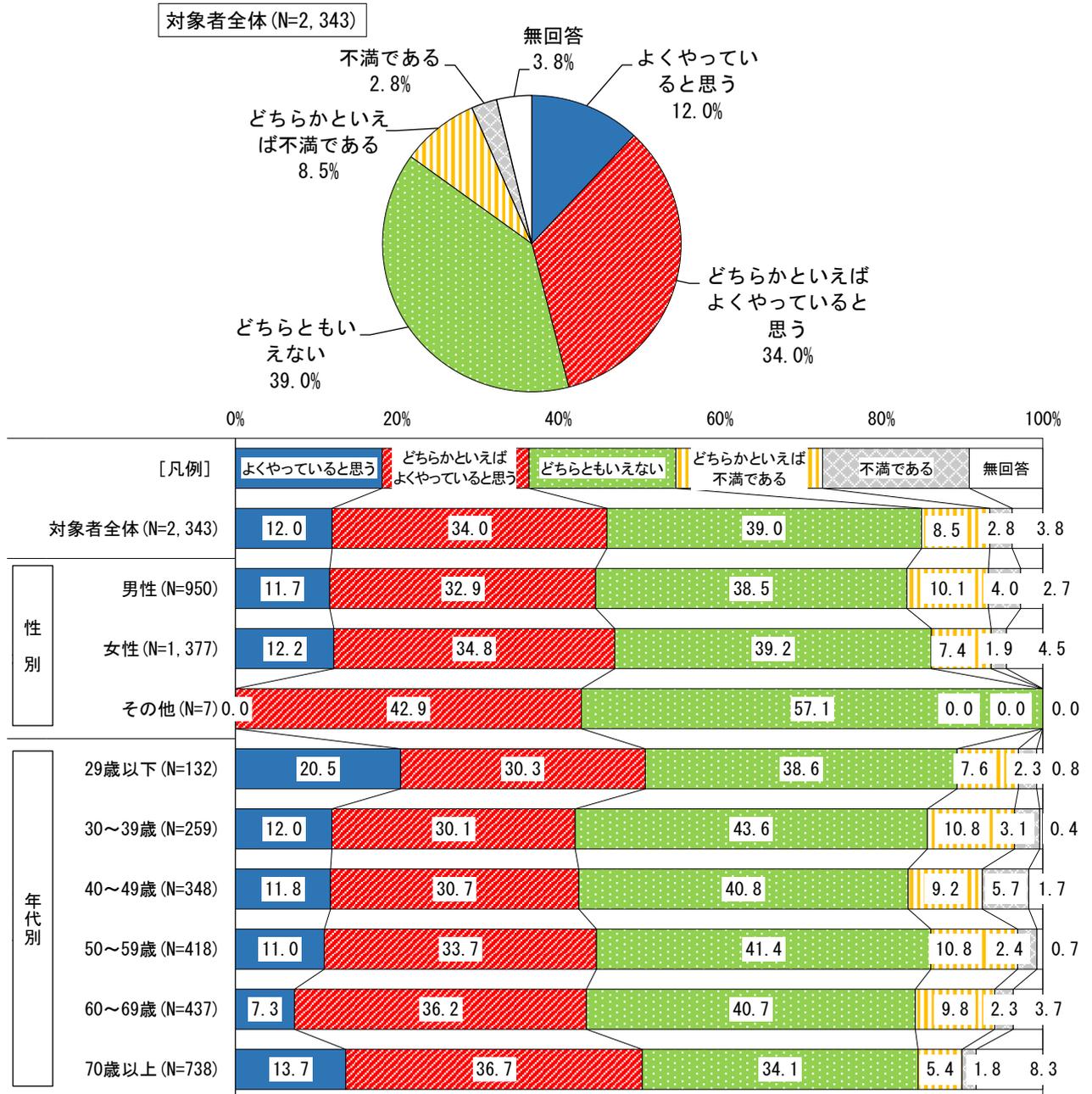
◇市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する項目ごとの評価

問2 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方に対して、次のア～エのそれぞれの項目について、どのように思いますか。項目ごとの数字に1つずつ○をつけてください。

エ. 市政情報を積極的に発信している

市政情報を積極的に発信しているかについて“よくやっていると思う”人は46.0%

※“よくやっていると思う”(「よくやっていると思う」+「どちらかといえばよくやっていると思う」)



【全体】 市政情報を積極的に発信しているかについて、「よくやっていると思う」が12.0%、「どちらかといえばよくやっていると思う」が34.0%、合わせると46.0%となっている。一方、「どちらかといえば不満である」が8.5%、「不満である」が2.8%、合わせると11.2%となっている。

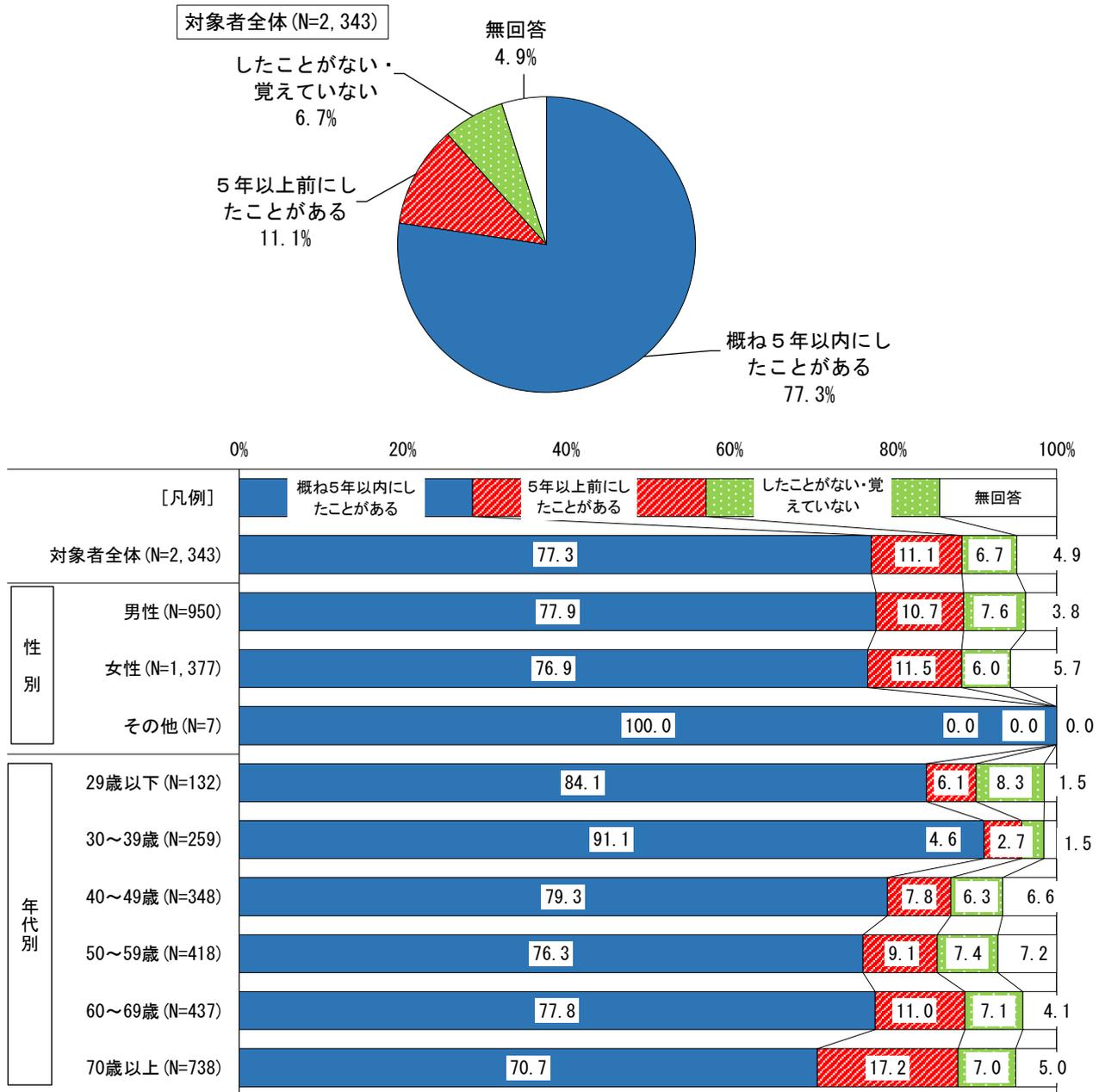
【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 “よくやっていると思う”が29歳以下(50.8%)で最も高く、次いで70歳以上(50.4%)、50歳代(44.7%)となっている。

◇市役所や区役所での手続き経験の有無

問3 あなたは、過去に札幌市(※)への届出や申請などの手続きをしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。 ※ 市役所、区役所、市税事務所などの窓口での手続きのほか、オンライン申請やコンビニ交付などの窓口を利用しない手続きも含まれます。

市役所や区役所での手続きを「概ね5年以内にしたことがある」人は77.3%



【全 体】市役所や区役所での手続きについて、「概ね5年以内にしたことがある」が77.3%、「5年以上前にしたことがある」が11.1%、「したことがない・覚えていない」が6.7%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

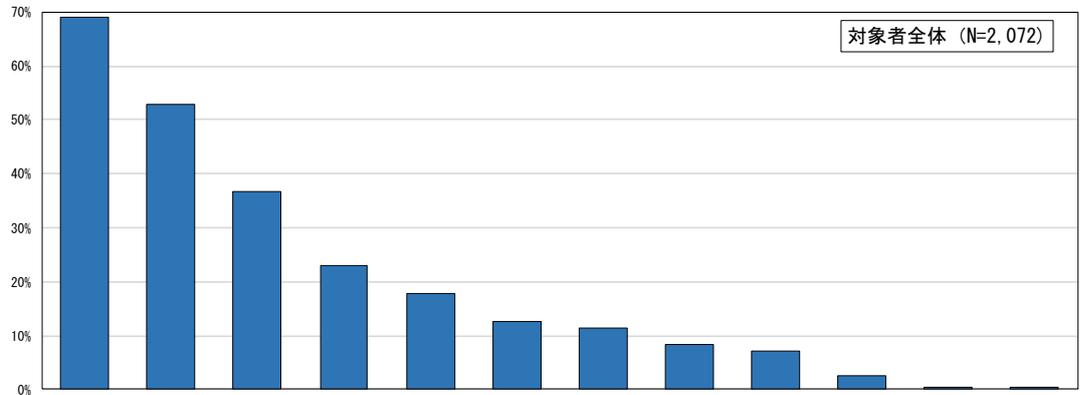
【年代別】「概ね5年以内にしたことがある」が30歳代(91.1%)で最も高く、次いで29歳以下(84.1%)、40歳代(79.3%)となっている。

◇市役所や区役所で行ったことがある手続き

《問3で「1 概ね5年以内にしたことがある」または「2 5年以上前にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問3-1 あなたは、市役所や区役所などでどのような手続きをしましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

市役所や区役所で行ったことがある手続きについて「各種証明書の取得」と回答した人は68.9%



対象者数	票、各種証明書の取得(戸籍、住民票、印鑑証明、税証明など)	マイナンバーカードに関する事	保健福祉に関する事(国民健康保険、介護保険、高齢者福祉、障がい者福祉など)	市内の住所変更	市外からの転入	死亡	子育てに関する事(児童手当、子ども医療費助成など)	婚姻、離婚	出生	その他	覚えていない	無回答
対象者全体 (N=2,072)	68.9	52.8	36.6	22.9	17.8	12.5	11.5	8.4	7.1	2.5	0.3	0.2
性別												
男性	70.7	54.8	36.9	19.7	19.2	11.6	7.5	7.4	5.3	1.8	0.1	0.1
女性	67.9	51.5	36.4	25.2	16.8	13.3	14.4	9.3	8.5	2.9	0.4	0.3
その他	71.4	57.1	28.6	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-	-
年代別												
29歳以下	58.0	54.6	23.5	35.3	37.0	-	11.8	16.8	12.6	1.7	-	-
30~39歳	74.2	52.4	26.2	42.7	33.1	4.0	41.5	23.4	27.4	1.2	0.4	-
40~49歳	70.3	57.8	26.7	29.0	21.8	4.6	24.4	9.6	8.3	2.3	0.3	-
50~59歳	76.2	51.0	29.7	18.2	14.8	12.6	7.8	5.9	2.2	3.6	-	0.6
60~69歳	75.5	53.4	42.0	16.8	13.4	18.0	2.8	4.6	2.1	3.4	-	0.3
70歳以上	60.7	51.0	47.9	16.6	10.6	18.5	1.2	4.5	3.7	1.8	0.6	0.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】市役所や区役所で行ったことがある手続きの内容は、「各種証明書の取得」が68.9%、「マイナンバーカードに関する事」が52.8%、「保健福祉に関する事」が36.6%となっている。

【性別】「市内の住所変更」、「子育てに関する事」は女性が、男性と比べて5.5ポイント以上高くなっている。

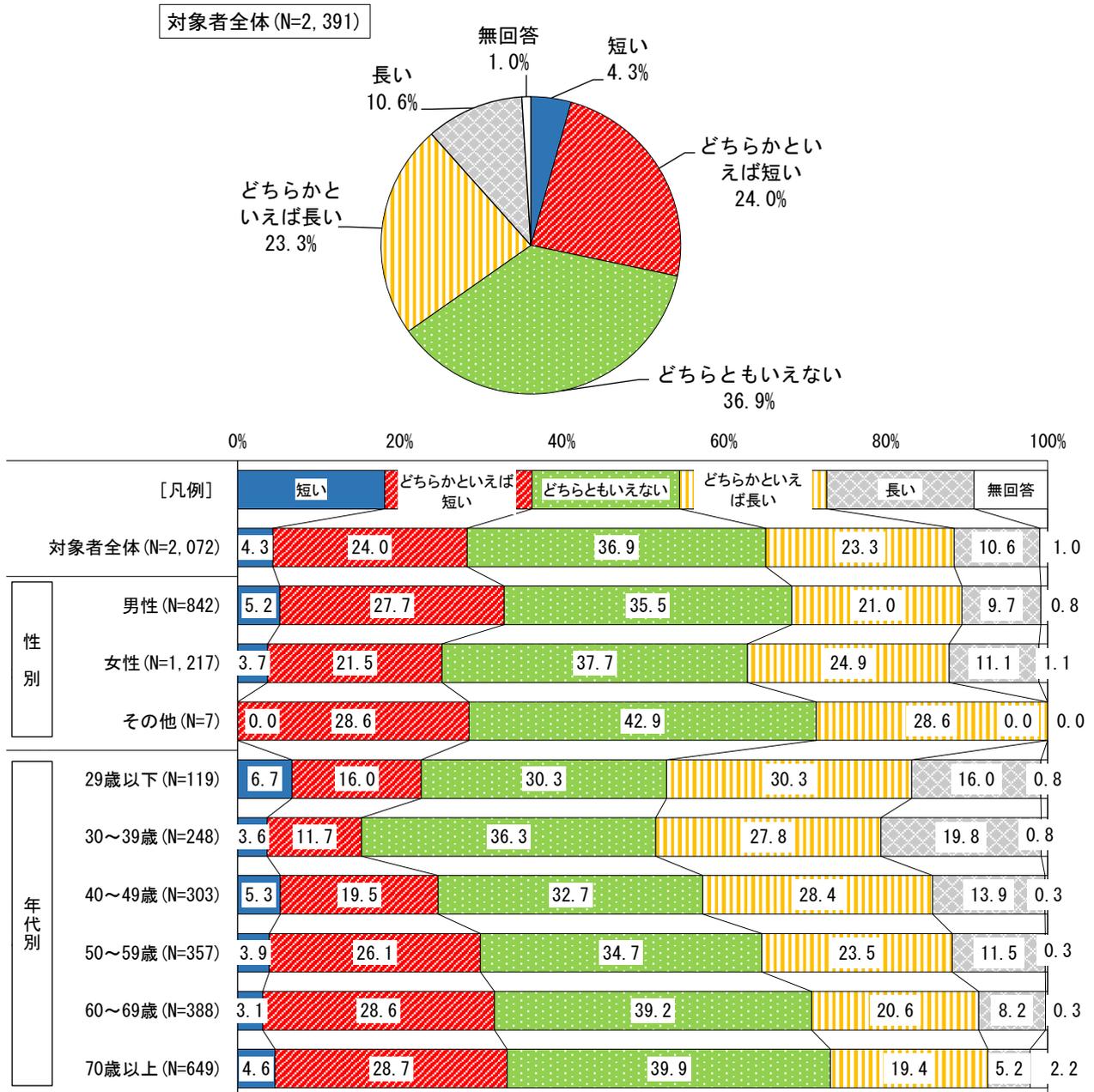
【年代別】「保健福祉に関する事」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇市役所や区役所での手続きの待ち時間に対する印象

問3-2 あなたは、市役所や区役所などへの届出や申請などの手続きについて、手続きが開始されるまでの待ち時間をどのように思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

市役所や区役所での手続きの待ち時間について“短い”と回答した人が28.3%

※“短い”（「短い」＋「どちらかといえば短い」）



【全体】市役所や区役所での手続きの待ち時間について、「短い」が4.3%、「どちらかといえば短い」が24.0%、合わせると28.3%となっている。一方、「どちらかといえば長い」が23.3%、「長い」が10.6%、合わせると33.8%となっている。

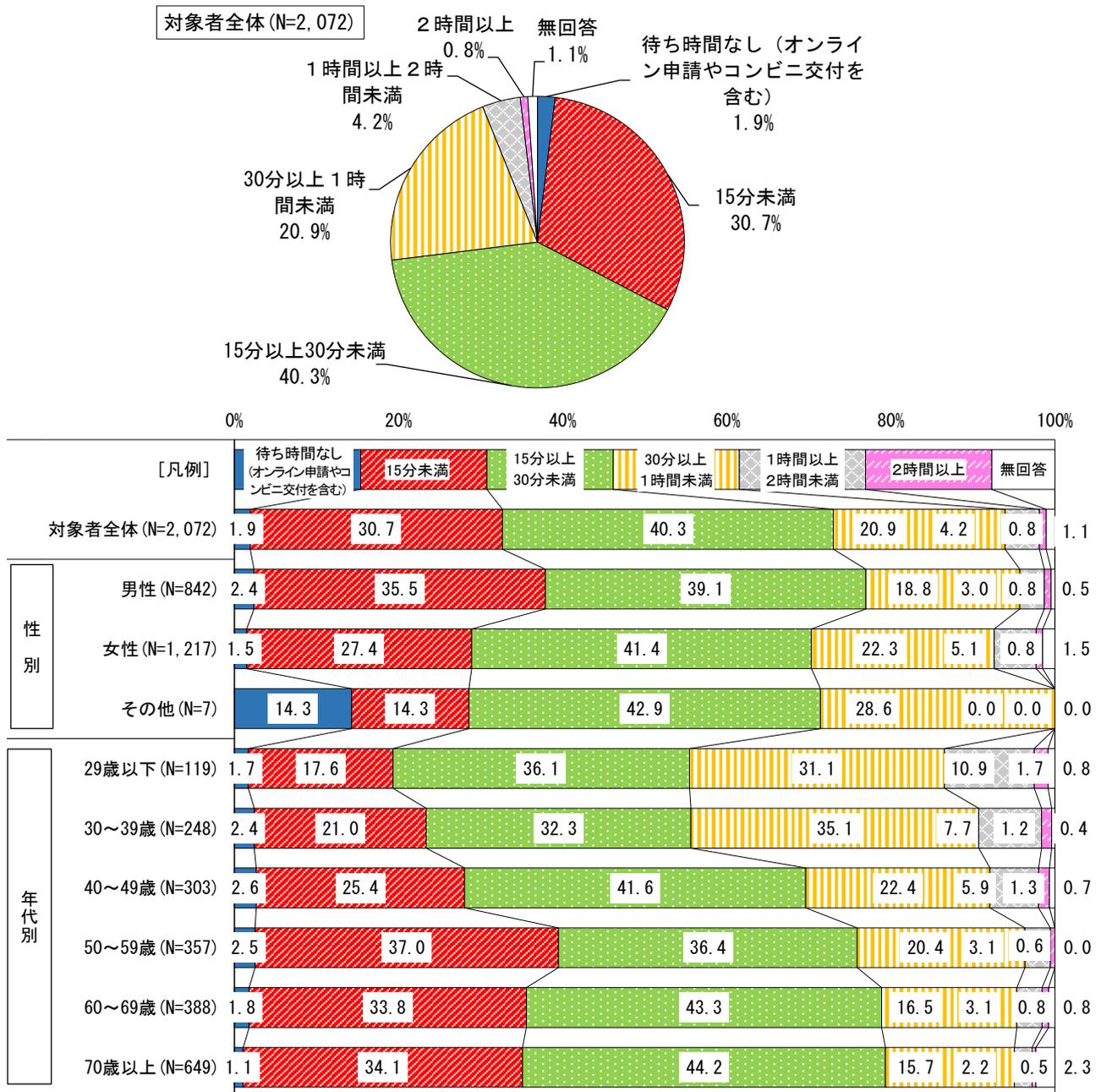
【性別】「短い」、「どちらかといえば短い」を合わせた“短い”は男性が32.9%と、女性の25.2%より7.7ポイント高くなっている。

【年代別】“短い”は70歳以上（33.3%）で最も高く、最も低い30歳代（15.3%）と比べると18ポイントの差となっている。

◇市役所や区役所で手続きが開始されるまでの平均時間

問3-3 あなたは、市役所や区役所などへの届出や申請などの手続きについて、手続きが開始されるまでに平均してどのくらい待ちましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

市役所や区役所で手続きが開始されるまでの平均時間は「15分未満」が30.7%



【全体】市役所や区役所で手続きが開始されるまでの待ち時間は、「15分以上30分未満」が40.3%、次いで「15分未満」が30.7%、「1時間以上2時間未満」が20.9%となっている。

【性別】「15分未満」は、男性が35.5%と、女性の27.4%より8.1ポイント高くなっている。

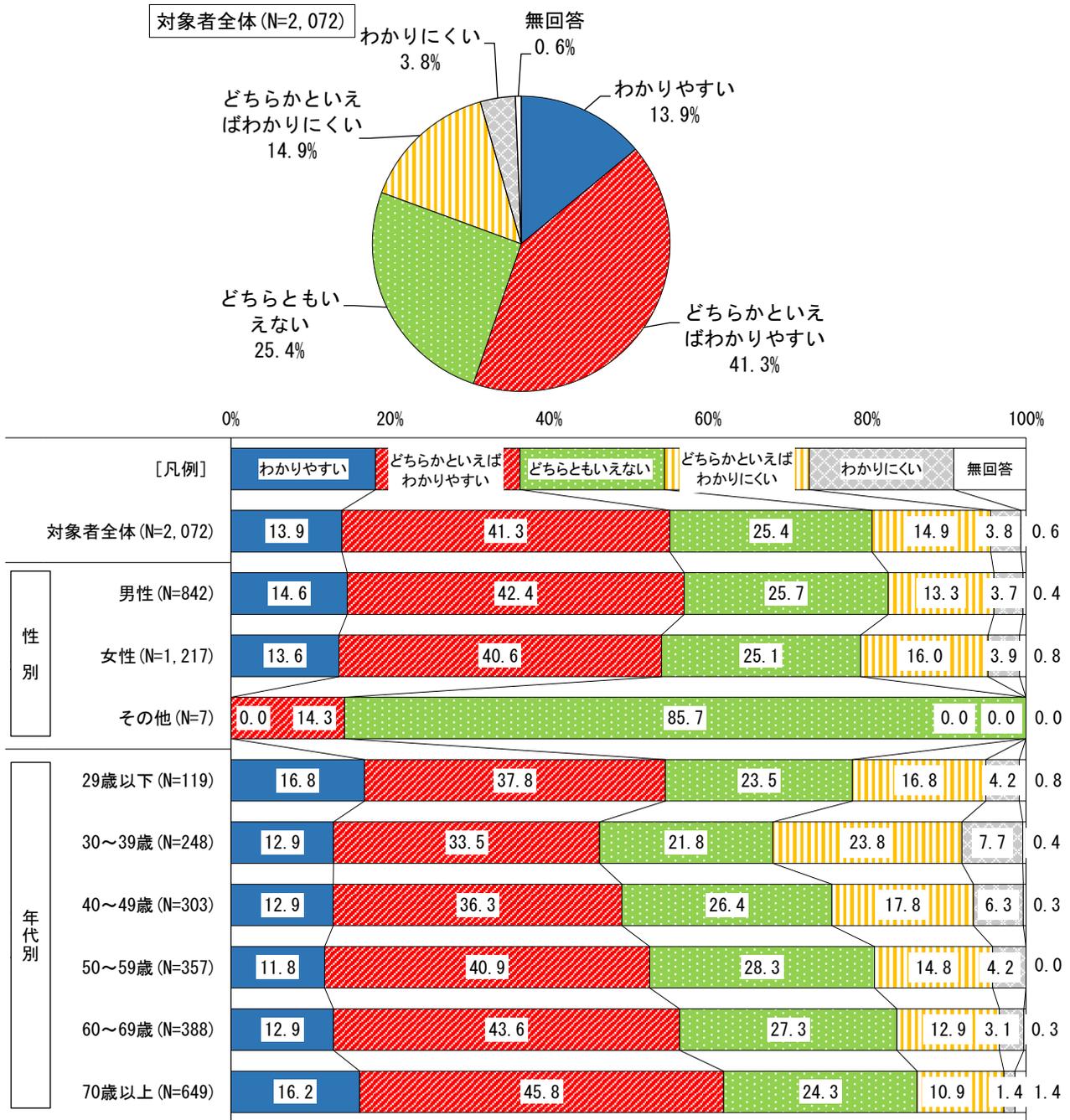
【年代別】50歳代では「15分未満」が、30歳代では「30分以上1時間未満」が、その他の年代では「15分以上30分未満」が、最も高くなっている。

◇市役所や区役所での手続きのわかりやすさに対する印象

問3-4 あなたは、市役所や区役所などへの届出や申請などの手続きについて、わかりやすいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

市役所や区役所での手続きが“わかりやすい”と回答した人が55.2%

※“わかりやすい”（「わかりやすい」＋「どちらかといえばわかりやすい」）



【全体】市役所や区役所での手続きについて、「わかりやすい」が13.9%、「どちらかといえばわかりやすい」が41.3%、合わせると55.2%となっている。一方、「どちらかといえばわかりにくい」が14.9%、「わかりにくい」が3.8%、合わせると18.7%となっている。

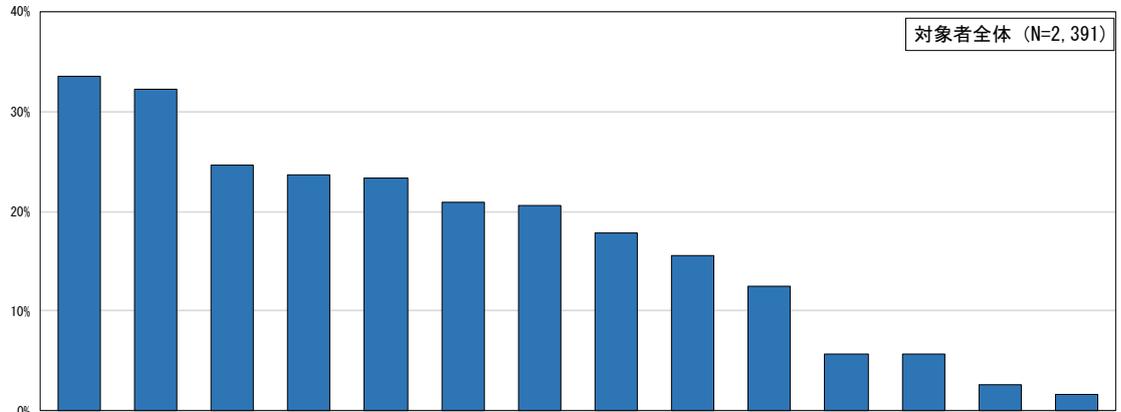
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“わかりやすい”が70歳以上（62.0%）で最も高く、最も低い30歳代（46.4%）と比べると15.6ポイントの差となっている。

◇改善を望む手続きの内容

問3-5 あなたは、市役所や区役所の手続きにおいて、どのようなことを改善すべきと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

改善を望む手続きの内容は「複数の窓口で手続きをしなければならないこと」と回答した人が33.5%



	対象者数	複数の窓口で手続きをしなければならないこと	手続きごとに申請書などを書かなければならないこと	どの窓口で手続きするべきかわかりにくいこと	書類に記入すべき欄が多いこと	手続きに必要な書類などが事前に調べにくいこと	パソコンやスマートフォンなどからオンラインで手続きや相談ができないこと	書類の書き方がわかりにくいこと	市役所や区役所以外で手続きができないものが多いこと	特になし	窓口の配置や表示がわかりにくいこと	職員の説明がわかりにくいこと	その他	わからない	無回答	
対象者全体	2,072	33.5	32.3	24.6	23.7	23.4	20.8	20.6	17.9	15.6	12.5	5.7	5.6	2.6	1.7	
性別	男性	842	29.9	29.7	23.9	24.0	22.4	23.6	19.6	17.5	18.5	12.0	4.3	4.4	2.3	1.7
	女性	1,217	36.2	34.2	25.3	23.7	24.2	19.0	21.4	18.2	13.3	12.7	6.7	6.5	2.8	1.7
	その他	7	28.6	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	42.9	14.3	14.3	-	-
年代別	29歳以下	119	30.3	20.2	21.8	19.3	26.1	35.3	24.4	26.1	12.6	10.1	5.0	5.0	2.5	-
	30～39歳	248	41.9	37.1	30.6	35.5	33.1	42.3	27.0	26.6	9.7	12.1	6.5	8.9	0.8	-
	40～49歳	303	29.7	35.6	24.8	31.4	28.4	31.0	25.4	23.8	8.3	15.5	5.6	7.9	1.3	0.7
	50～59歳	357	34.7	30.8	23.5	18.8	23.5	18.5	16.8	18.8	16.0	12.6	7.3	8.1	2.8	0.6
	60～69歳	388	37.4	35.8	24.0	22.4	22.2	14.9	19.1	16.0	15.7	12.4	6.4	5.2	2.1	1.8
	70歳以上	649	29.9	29.9	24.0	20.2	17.9	10.2	18.5	10.9	21.1	11.7	4.2	2.5	4.0	3.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】改善を望む手続きの内容は、「複数の窓口で手続きをしなければならないこと」が33.5%、「手続きごとに申請書などを書かなければならないこと」が32.3%、「どの窓口で手続きするべきかわかりにくいこと」が24.6%となっている。

【性別】「複数の窓口で手続きをしなければならないこと」は女性が36.2%と、男性の29.9%より6.3ポイント高くなっている。また、「特になし」は、男性で18.5%と、女性の13.3%より5.2ポイント高くなっている。

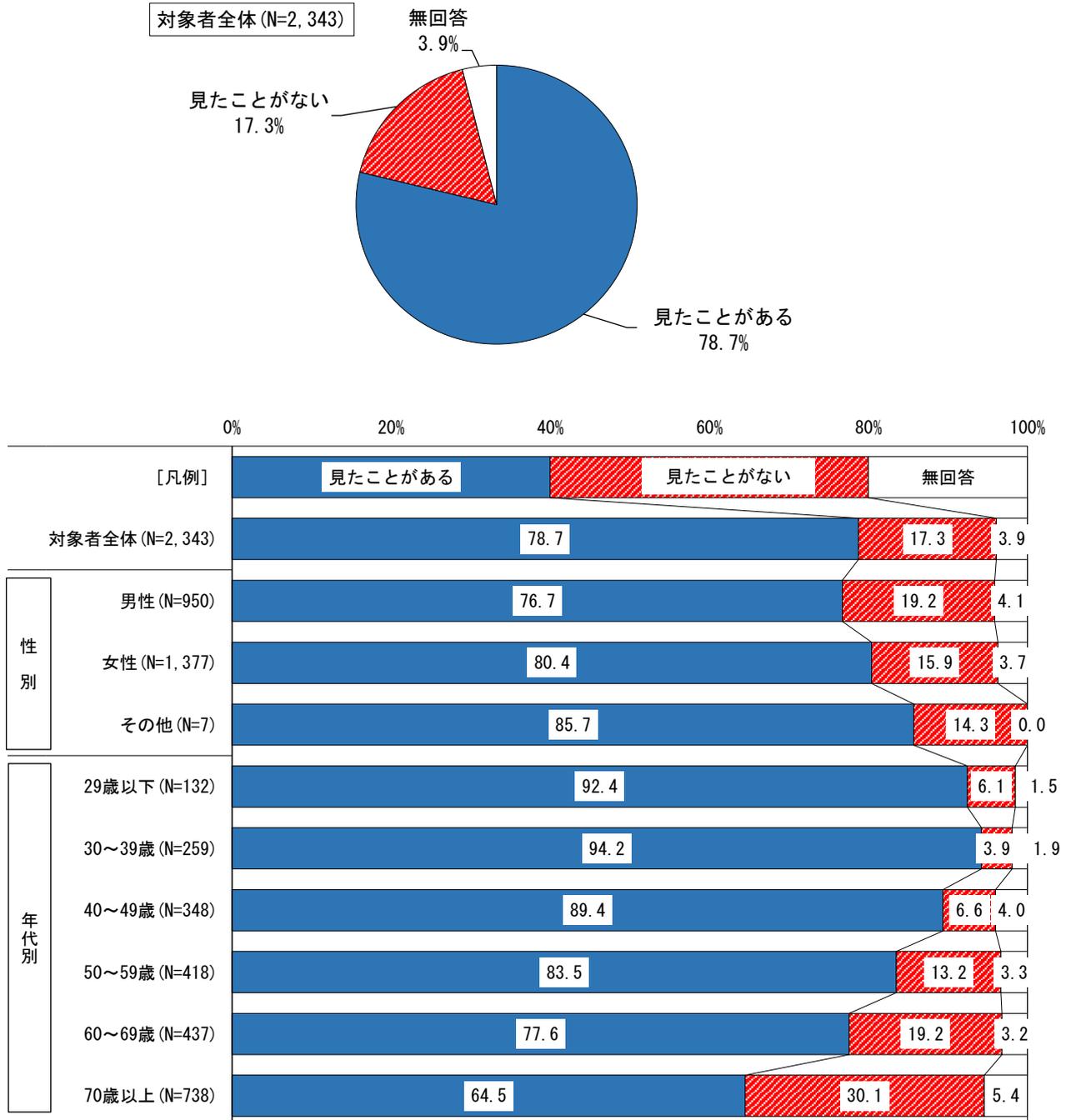
【年代別】「パソコンやスマートフォンなどからオンラインで手続きや相談ができないこと」が30歳代(42.3%)で最も高く、最も低い70歳以上(10.2%)と比べると32.1ポイントの差となっている。

(2) シティプロモートの推進について

◇サッポロスマイルロゴを見たことの有無

問4 あなたは、「笑顔になれる街」札幌をイメージした「サッポロスマイルロゴ」を見たことがありますか。

サッポロスマイルロゴを「見たことがある」人は78.7%



【全 体】 サッポロスマイルロゴを見たことの有無は、「見たことがある」が78.7%、「見たことがない」が17.3%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

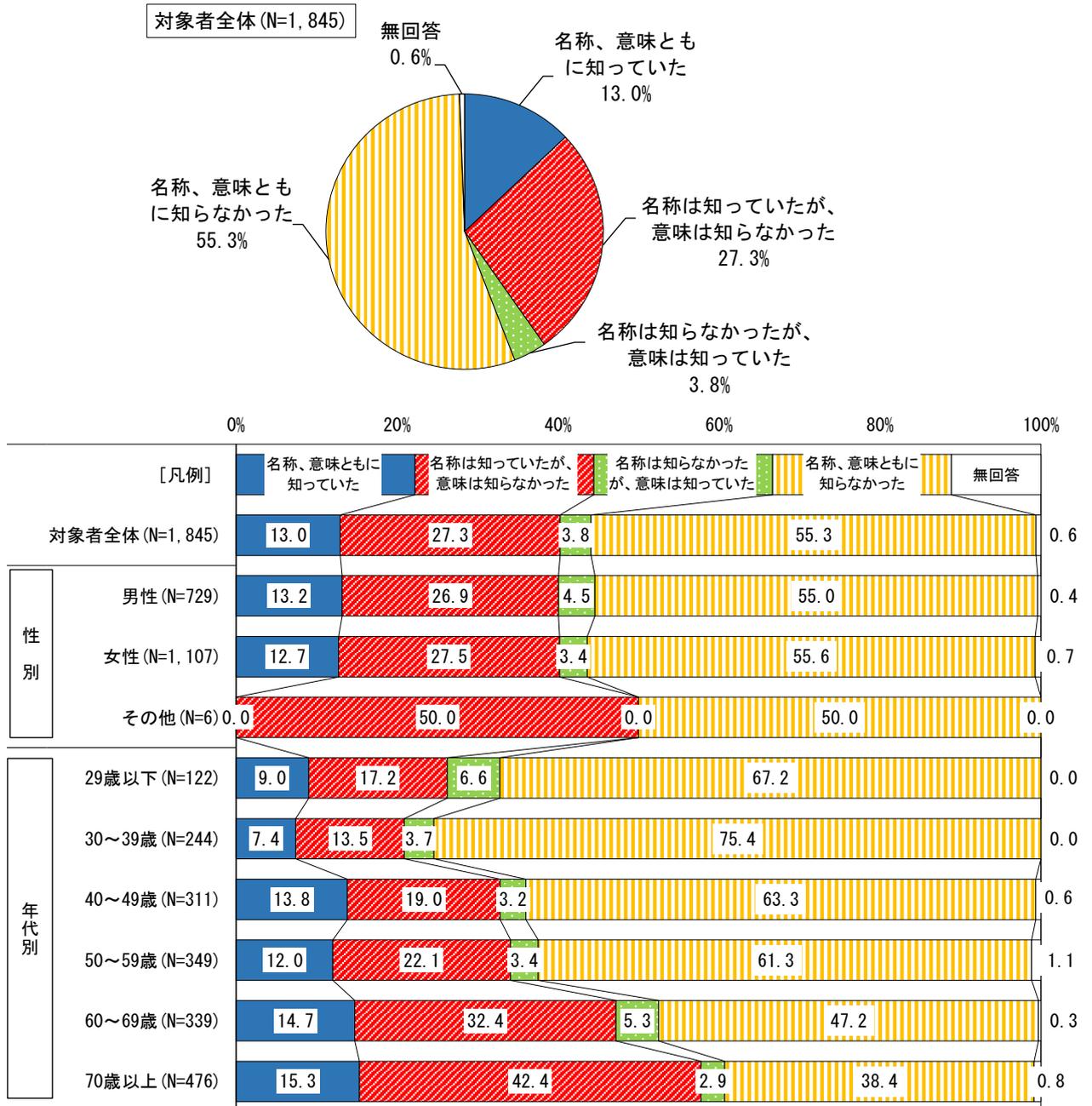
【年代別】 「見たことがある」が30歳代(94.2%)で最も高く、次いで29歳以下(92.4%)、40歳代(89.4%)となっている。

◇サッポロスマイルロゴの認知度

《問4で「1 見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

問4-1 あなたは、ロゴが「サッポロスマイル」という名称で、「笑顔（笑顔になれる街）」「札幌の魅力づくり・魅力発信」という意味が込められていることを知っていましたか。

サッポロスマイルロゴに込められた意味の名称、意味ともに知っていた人は13.0%



【全体】 サッポロスマイルロゴの認知度は、「名称、意味ともに知っていた」が13.0%、「名称は知っていたが、意味は知らなかった」が27.3%、「名称は知らなかったが意味は知っていた」が3.8%、「名称、意味ともに知らなかった」が55.3%となっている。

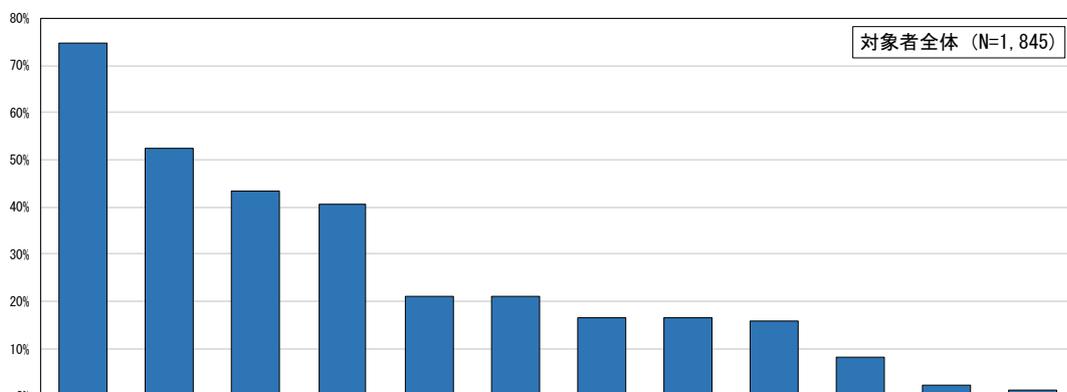
【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「名称、意味ともに知っていた」が70歳以上(15.3%)で最も高く、最も低い30歳代(7.4%)と比べると7.9ポイントの差となっている。

◇サッポロスマイルロゴを見たことがある媒体や場所

問4-2 「サッポロスマイル」は以下のようなものに使われています。あなたが見たことのあるものにいくつでも○をつけてください。

サッポロスマイルロゴを見たことがある媒体や場所は、「札幌市のチラシ・パンフレット・封筒など」と回答した人が74.8%



	対象者数	札幌市のチラシ・パンフレット・封筒など	地下鉄、バスなどの公共交通機関	家庭用指定ごみ袋	市役所や区役所、区民センターなどの公共施設	大通公園の花壇や札幌駅のモニュメント	地下鉄大通駅出入口（大通西2・3丁目、テレビ塔前）	バッジやステッカーなどのグッズ	民間企業の商品、サービス、店舗、パンフレットなど	ホームページやSNSなど	札幌ドームのフェンスや観客席など	その他	無回答
対象者全体	1,845	74.8	52.2	43.4	40.5	21.0	20.9	16.4	16.4	15.9	8.0	2.1	1.1
性別													
男性	729	75.2	53.4	40.6	42.4	19.3	20.4	15.4	15.1	17.1	9.2	2.7	1.9
女性	1,107	74.4	51.5	45.2	39.0	22.0	21.3	17.1	17.3	15.2	7.2	1.7	0.5
その他	6	100.0	50.0	33.3	50.0	-	-	-	16.7	16.7	16.7	-	-
年代別													
29歳以下	122	73.8	70.5	40.2	36.1	27.9	32.8	13.1	24.6	15.6	13.1	-	-
30～39歳	244	71.3	66.8	48.8	49.6	29.5	26.6	13.1	20.5	27.9	11.1	2.0	0.8
40～49歳	311	77.5	56.3	39.5	44.1	20.6	23.5	15.8	19.0	19.3	11.3	4.2	0.6
50～59歳	349	72.2	50.4	44.1	38.1	20.3	20.9	17.8	17.8	19.5	6.6	1.7	0.9
60～69歳	339	74.3	46.3	36.9	39.5	19.2	18.6	17.4	13.0	13.3	5.9	1.5	1.2
70歳以上	476	77.3	42.9	47.7	36.6	16.6	14.9	17.4	11.8	6.9	5.7	2.1	1.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 サッポロスマイルロゴを見たことがある媒体や場所は、「札幌市のチラシ・パンフレット・封筒など」が74.8%、「地下鉄、バスなどの公共交通機関」が52.2%、「家庭用指定ごみ袋」が43.4%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

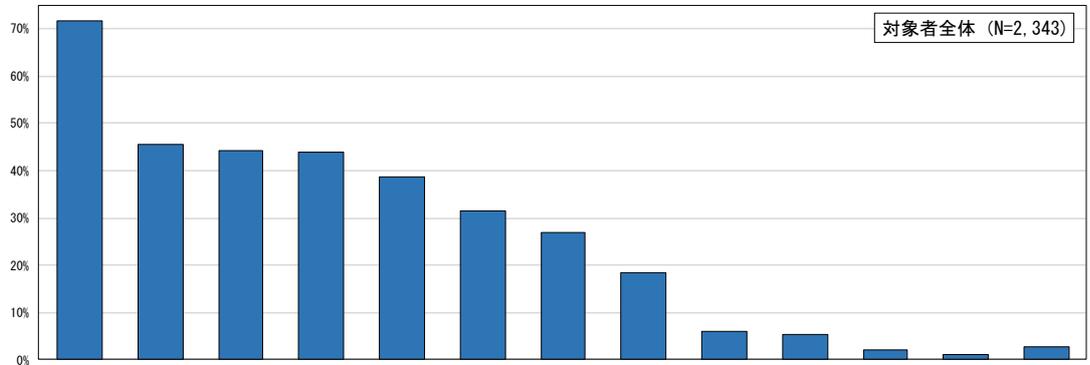
【年代別】 「地下鉄、バスなどの公共交通機関」、「地下鉄大通駅出入口（大通西2・3丁目、テレビ塔前）」、「民間企業の商品、サービス、店舗、パンフレットなど」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇札幌の魅力について

《皆さまにお聞きます。》

問5 あなたは、札幌のどのようなところが好きですか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

札幌の好きなところは「都市でありながら豊かな自然を満喫できる自然環境」が71.6%



	対象者数	都市でありながら豊かな自然を満喫できる自然環境	全道各地から集まるおいしい食べ物	充実した公共交通機関や多彩な商業施設など、快適な生活を楽しむことができる都市環境	はっきりとした四季や冷涼な気候	雪まつりやオータムフェストなど四季折々に開催されるさまざまなイベント	医療機関、福祉施設・福祉サービス等、生涯をとおした住み心地	野球やサッカーなどのスポーツ観戦、クラシックなどの音楽鑑賞や観劇など多彩な娯楽	スキーやスノーボードをはじめとする冬のスポーツ文化	漠然と好きではあるが、具体的には思いつかない	子育て支援施設やサービス等の子育て環境	その他	札幌が好きではない	無回答
対象者全体	2,343	71.6	45.4	44.1	43.7	38.8	31.4	26.8	18.5	6.1	5.3	2.1	1.0	2.6
性別														
男性	950	69.2	41.8	42.0	44.5	33.9	32.8	26.2	19.3	7.1	5.7	1.7	1.7	3.4
女性	1,377	73.3	48.1	45.6	43.5	42.0	30.4	27.3	17.9	5.3	5.0	2.3	0.5	2.0
その他	7	71.4	14.3	42.9	28.6	42.9	28.6	42.9	42.9	14.3	-	-	-	-
年代別														
29歳以下	132	61.4	61.4	41.7	30.3	51.5	12.9	21.2	26.5	6.8	5.3	1.5	0.8	1.5
30～39歳	259	66.0	59.8	41.3	36.7	46.3	15.4	21.6	21.6	3.9	7.3	4.2	1.9	0.8
40～49歳	348	69.3	55.5	44.0	36.8	39.1	22.4	25.3	19.8	7.2	7.2	3.2	1.1	0.9
50～59歳	418	71.5	49.5	46.2	40.7	34.2	26.3	25.8	17.2	6.5	4.8	2.4	1.4	2.4
60～69歳	437	74.1	35.7	42.8	48.7	33.6	33.6	26.8	17.6	7.8	3.7	1.6	1.1	3.2
70歳以上	738	75.1	36.3	45.3	51.1	39.2	45.9	31.2	16.5	4.9	4.9	0.9	0.3	3.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌の好きなところは、「都市でありながら豊かな自然を満喫できる自然環境」が71.6%、「全道各地から集まるおいしい食べ物」が45.4%、「充実した公共交通機関や多彩な商業施設など、快適な生活を楽しむことができる都市環境」が44.1%となっている。

【性別】「全道各地から集まるおいしい食べ物」、「雪まつりやオータムフェストなど四季折々に開催されるさまざまなイベント」は、女性が男性より6.3ポイント以上高くなっている。

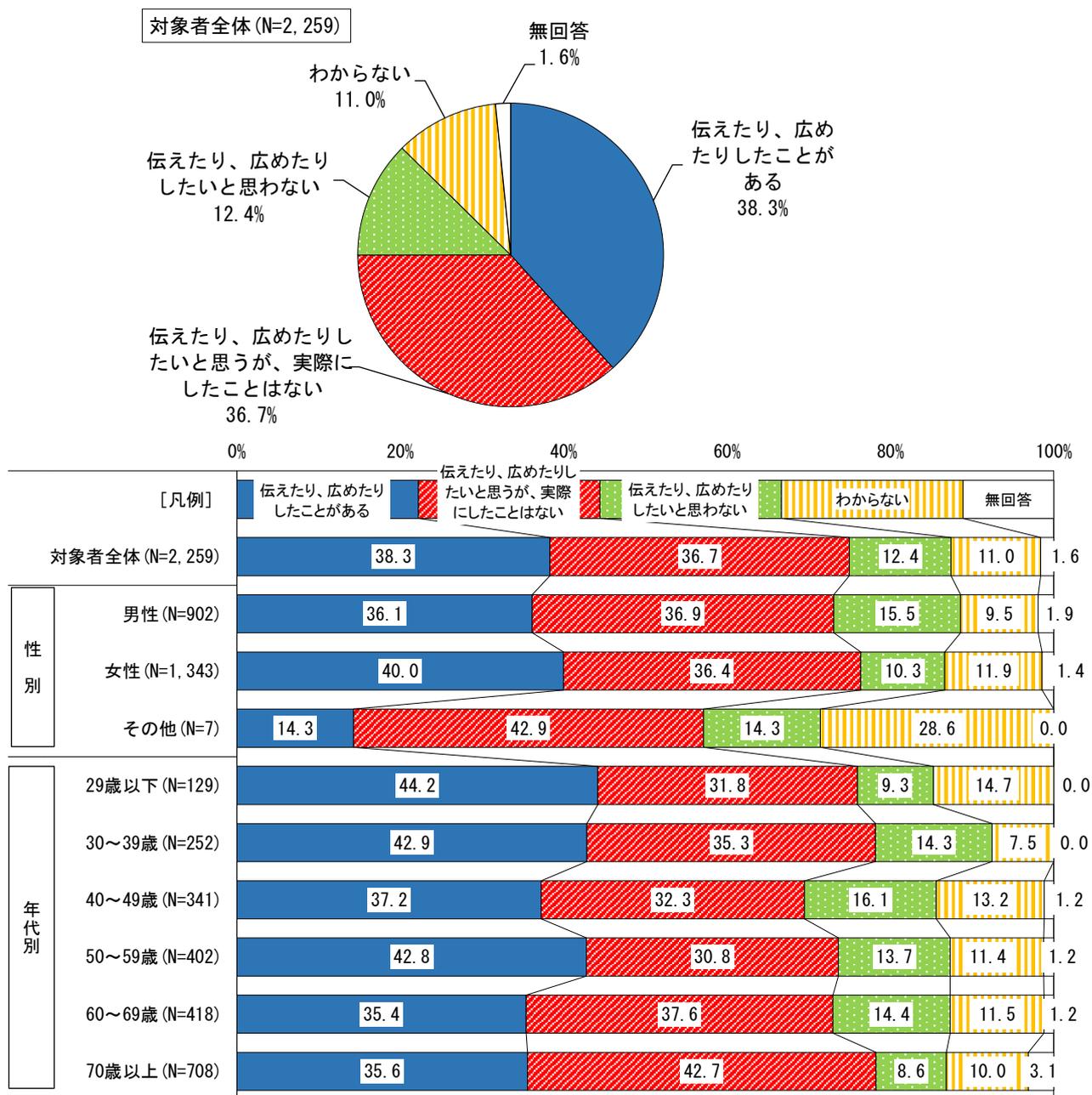
【年代別】「都市でありながら豊かな自然を満喫できる自然環境」、「はっきりとした四季や冷涼な気候」、「医療機関、福祉施設・福祉サービス等生涯をとおした住み心地」、「野球やサッカーなどのスポーツ観戦、クラシックなどの音楽鑑賞や観劇など多彩な娯楽」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌の魅力を伝えたり、広めたりしたことがあるか否か

《問5で「1」から「11」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問5-1 あなたは、札幌の魅力や好きなどころに関する情報を他の人に伝えたり、広めたりしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌の魅力を「伝えたり、広めたりしたことがある」人が38.3%



【全体】札幌の魅力を伝えたり、広めたりしたことがあるか否かについて、「伝えたり、広めたりしたことがある」が38.3%、「伝えたり、広めたりしたいと思うが、実際にしたことはない」が36.7%、「伝えたり、広めたりしたいと思わない」が12.4%となっている。

【性別】「伝えたり、広めたりしたいとは思わない」は男性が15.5%と、女性の10.3%より5.2ポイント高くなっている。

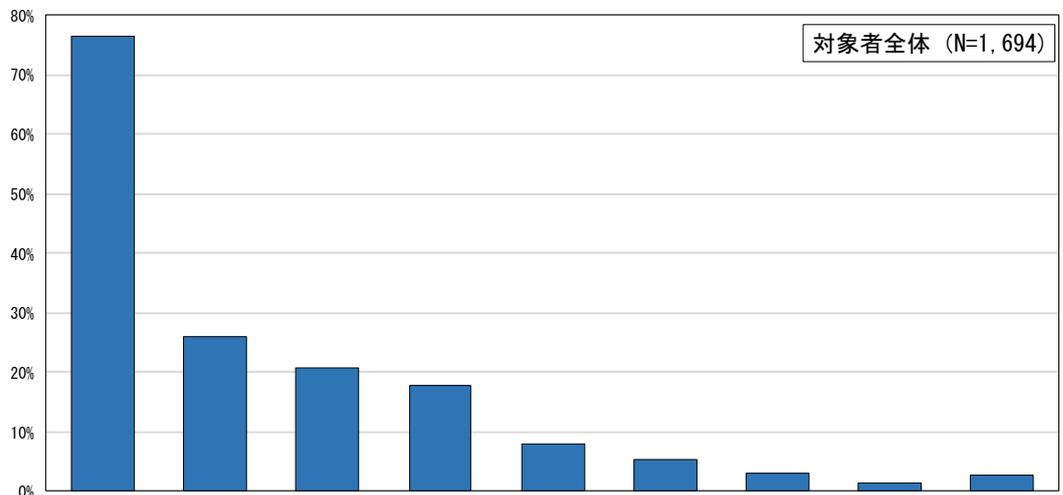
【年代別】「伝えたり、広めたりしたことがある」は、29歳以下（44.2%）で最も高く、次いで30歳代（42.9%）、50歳代（42.8%）となっている。

◇札幌の魅力を伝えたり、広めたりする手段

《問5-1で「1 伝えたり、広めたりしたことがある」または「2 伝えたり、広めたりしたいと思うが、実際にしたことはない」に○をつけた方にお聞きします。》

問5-2 あなたは、どのような手段を使って札幌の魅力や好きなどに関する情報を他の人に伝えたり、広めたりしようと思いませんか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の魅力を伝えたり、広めたりする手段は「直接口頭」が76.4%



		対象者数	直接口頭	SNSでの写真や文章の投稿	年賀状や手紙などの郵便物	電話	電子メール	ブログやホームページなど	YouTubeなどの動画配信	その他	無回答
		(%)									
対象者全体		1,694	76.4	26.2	20.8	17.8	7.9	5.3	3.0	1.4	2.6
性別	男性	659	79.4	23.4	16.1	14.9	8.0	6.1	5.2	1.7	2.6
	女性	1,026	74.8	28.1	23.6	19.7	7.8	4.7	1.6	1.3	2.6
	その他	4	75.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-
年代別	29歳以下	98	77.6	52.0	-	8.2	4.1	8.2	5.1	-	-
	30~39歳	197	77.2	47.7	6.6	5.1	3.6	6.6	4.6	2.5	1.0
	40~49歳	237	78.9	41.4	12.7	11.8	6.8	8.0	2.1	1.3	-
	50~59歳	296	79.4	29.7	15.2	10.8	12.8	4.1	2.4	1.0	1.4
	60~69歳	305	75.7	20.0	23.9	18.7	11.8	4.9	3.9	1.0	3.0
	70歳以上	554	74.0	9.2	33.8	29.8	5.8	4.0	2.2	1.8	5.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌の魅力を伝えたり、広めたりする手段は、「直接口頭」が76.4%、「SNSでの写真や文章の投稿」が26.2%、「年賀状や手紙などの郵便物」が20.8%となっている。

【性別】「年賀状や手紙などの郵便物」は女性が23.6%と、男性の16.1%より7.5ポイント高くなっている。

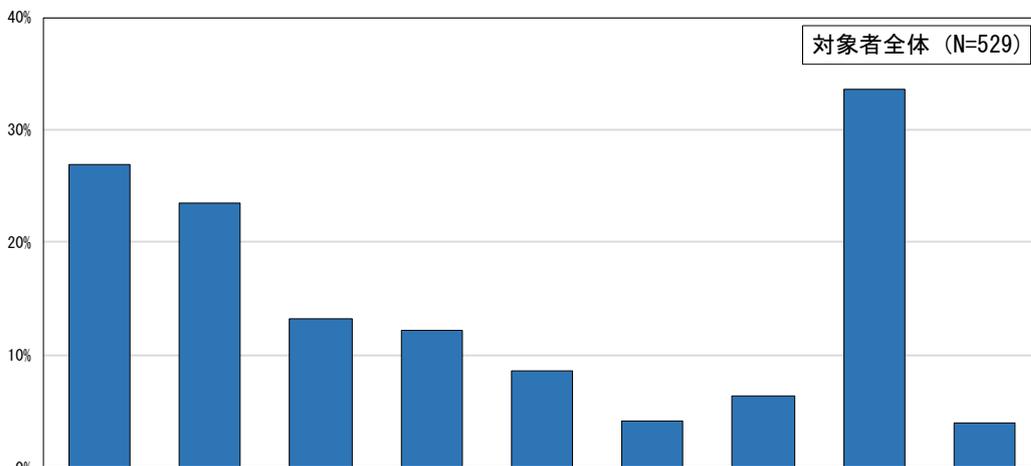
【年代別】「SNSでの写真や文章の投稿」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。また、「年賀状や手紙などの郵便物」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌の魅力を伝えたり、広めたりするきっかけ

《問5で「3 伝えたり、広めたりしたいと思わない」または「4 わからない」に○をつけた方にお聞きします。》

問5-3 あなたは、どのようなきっかけがあれば、札幌の魅力や好きなところを他の人に伝えたり、広めたりする機会につながると感じますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の魅力を伝えたり、広めたりするきっかけは「自分が気づいていなかった札幌の魅力を知ること」が26.8%



		対象者数	自分が気づいていなかった札幌の魅力を知ること (%)	札幌の魅力を実際に体験すること (%)	情報発信する場所や機会があること (%)	札幌の文化や歴史や慣習などの知識を深めること (%)	地域活動やイベントなどに自分自身が関わること (%)	SNSなど最新の情報発信の方法を知ること (%)	その他 (%)	わからない (%)	無回答 (%)
対象者全体		529	26.8	23.4	13.2	12.1	8.5	4.2	6.2	33.6	4.0
性別	男性	226	26.5	18.1	10.6	10.6	8.8	3.5	11.1	32.3	3.1
	女性	298	27.5	27.5	14.8	12.8	8.1	4.7	2.7	34.6	4.7
	その他	3	-	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	33.3	-
年代別	29歳以下	31	25.8	41.9	19.4	9.7	9.7	9.7	3.2	25.8	-
	30～39歳	55	27.3	25.5	14.5	10.9	7.3	7.3	5.5	29.1	3.6
	40～49歳	100	26.0	28.0	18.0	5.0	10.0	7.0	10.0	28.0	1.0
	50～59歳	101	23.8	22.8	12.9	17.8	8.9	2.0	5.9	34.7	3.0
	60～69歳	108	25.9	25.9	13.9	12.0	8.3	2.8	7.4	37.0	3.7
	70歳以上	132	31.1	13.6	6.8	14.4	7.6	2.3	3.8	37.9	8.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌の魅力を伝えたり、広めたりするきっかけは、「自分が気づいていなかった札幌の魅力を知ること」が26.8%、「札幌の魅力を実際に体験すること」が23.4%、「情報発信する場所や機会があること」が13.2%となっている。

【性別】「札幌の魅力を実際に体験すること」は女性が27.5%と、男性の18.1%より9.4ポイント高くなっている。

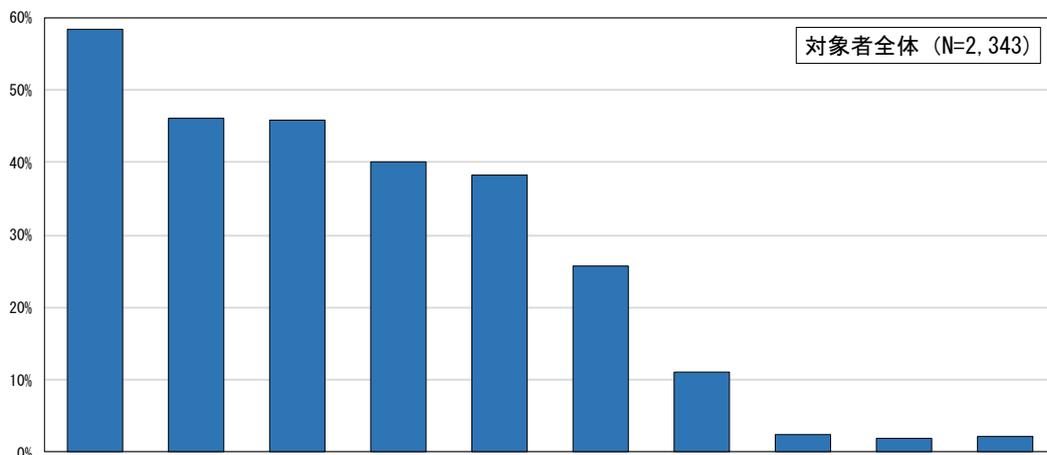
【年代別】「札幌の魅力を実際に体験すること」が29歳以下(41.9%)で最も高く、最も低い70歳以上(13.6%)と比べると28.3ポイントの差となっている。

◇札幌の情報を知る際の入手手段

《皆さまにお聞きます。》

問6 あなたは住んでいる街（札幌）の情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の情報を入手する手段は「テレビやラジオなどの番組」が58.3%



		対象者数	テレビやラジオなどの番組	家族や友人、知人などからの口コミ	ブログやホームページなど	街の情報誌	新聞	SNSでの写真や文章の投稿	YouTubeなどの配信動画	その他	入手していない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,343	58.3	46.2	46.0	40.2	38.4	25.7	11.1	2.4	1.8	2.1
性別	男性	950	53.7	36.3	46.6	37.6	38.7	19.7	14.1	2.3	2.9	3.1
	女性	1,377	61.7	53.2	45.6	42.0	38.2	29.9	8.9	2.5	0.9	1.4
	その他	7	42.9	42.9	57.1	57.1	28.6	57.1	14.3	-	14.3	-
年代別	29歳以下	132	41.7	47.7	47.7	22.7	9.1	71.2	19.7	3.8	-	1.5
	30～39歳	259	43.6	48.3	66.4	42.5	7.3	63.7	19.7	2.7	-	1.2
	40～49歳	348	44.8	45.1	71.3	38.8	18.4	40.8	15.5	3.4	1.7	0.9
	50～59歳	418	54.3	44.7	61.2	39.5	28.9	28.9	10.8	2.6	2.6	1.2
	60～69歳	437	64.5	45.5	48.7	44.4	42.6	13.0	10.3	2.3	3.0	2.3
	70歳以上	738	71.4	47.3	16.7	41.3	66.8	3.1	4.9	1.5	1.6	3.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌の情報を入手する手段は、「テレビやラジオなどの番組」が58.3%、「家族や友人、知人などからの口コミ」が46.2%、「ブログやホームページなど」が46.0%となっている。

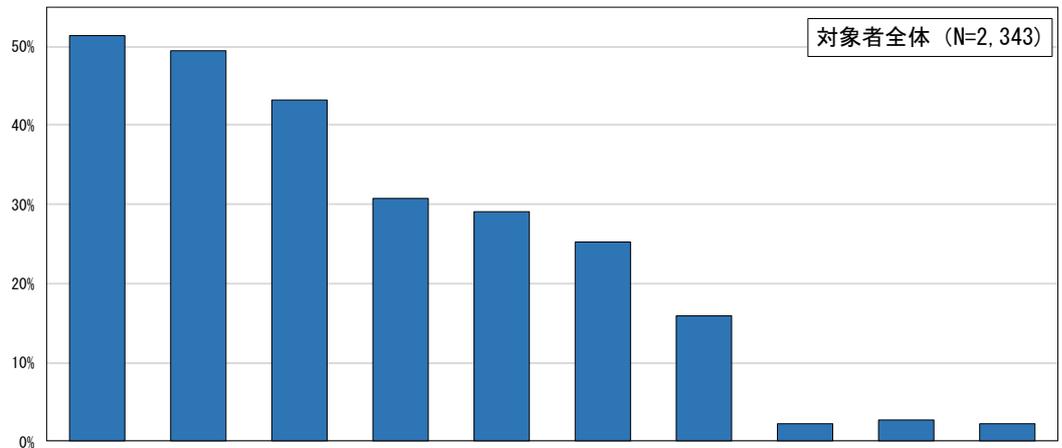
【性別】「テレビやラジオなどの番組」、「家族や友人、知人などからの口コミ」、「SNSでの写真や文章の投稿」は、女性が男性より8.0ポイント以上高くなっている。「YouTubeなどの配信動画」は男性が14.1%と女性の8.9%より5.2ポイント高くなっている。

【年代別】「テレビやラジオなどの番組」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。一方、「SNSでの写真や文章の投稿」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇札幌以外の街の情報を知る際の入手手段

問7 あなたは札幌以外の街の情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌以外の街の情報入手する手段は「ブログやホームページなど」が51.3%



		対象者数	ブログやホームページなど	テレビやラジオなどの番組	家族や友人、知人などからの口コミ	SNSでの写真や文章の投稿	新聞	街の情報誌	YouTubeなどの配信動画	その他	入手していない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,343	51.3	49.4	43.2	30.7	29.2	25.1	16.0	2.1	2.7	2.3
性別	男性	950	52.2	46.3	34.7	24.5	30.6	25.1	18.4	2.2	3.7	2.7
	女性	1,377	50.8	51.6	49.2	35.0	28.2	25.2	14.5	2.1	2.0	1.9
	その他	7	71.4	42.9	42.9	57.1	14.3	28.6	14.3	-	14.3	-
年代別	29歳以下	132	56.8	31.1	40.2	79.5	6.8	12.1	37.9	2.3	-	0.8
	30～39歳	259	74.9	34.0	46.7	65.6	3.1	22.4	26.6	1.9	0.4	1.5
	40～49歳	348	76.7	33.9	40.8	48.0	10.9	21.6	23.6	3.4	1.7	1.1
	50～59歳	418	67.9	44.3	40.7	36.8	18.2	26.1	18.9	2.4	2.9	1.2
	60～69歳	437	54.9	55.1	43.5	18.5	32.7	29.5	13.7	2.3	2.1	2.3
	70歳以上	738	19.1	64.9	45.1	5.6	55.1	27.0	4.7	1.4	4.9	3.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌以外の街情報入手する手段は、「ブログやホームページなど」が51.3%、「テレビやラジオなどの番組」が49.4%、「家族や友人、知人などからの口コミ」が43.2%となっている。

【性別】「テレビやラジオなどの番組」、「家族や友人、知人などからの口コミ」、「SNSでの写真や文章の投稿」は、女性が男性より5.3ポイント以上高くなっている。

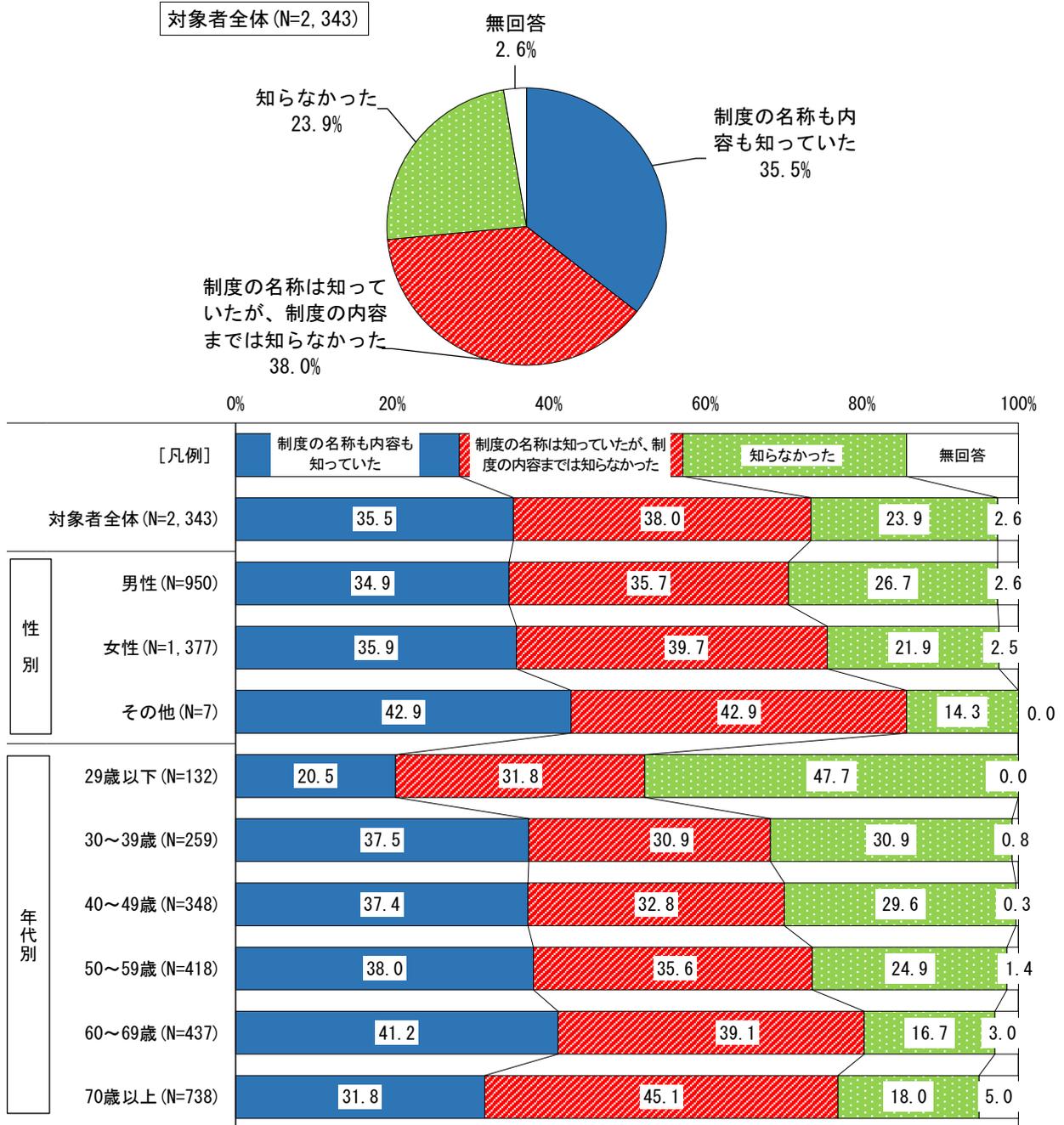
【年代別】29歳以下では「SNSでの写真や文章の投稿」が、30歳代、40歳代、50歳代では「ブログやホームページなど」が、60歳代、70歳以上では「テレビやラジオなどの番組」が最も高くなっている。

(3) 成年後見制度について

◇成年後見制度の認知度

問8 あなたは、「成年後見制度」を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

成年後見制度について、制度の名称だけでなく、制度の内容も知っていた人は35.5%



【全体】 成年後見制度の認知度は、「制度の名称も内容も知っていた」が35.5%、「制度の名前は知っていたが、制度の内容までは知らなかった」が38.0%、「知らなかった」が23.9%となっている。

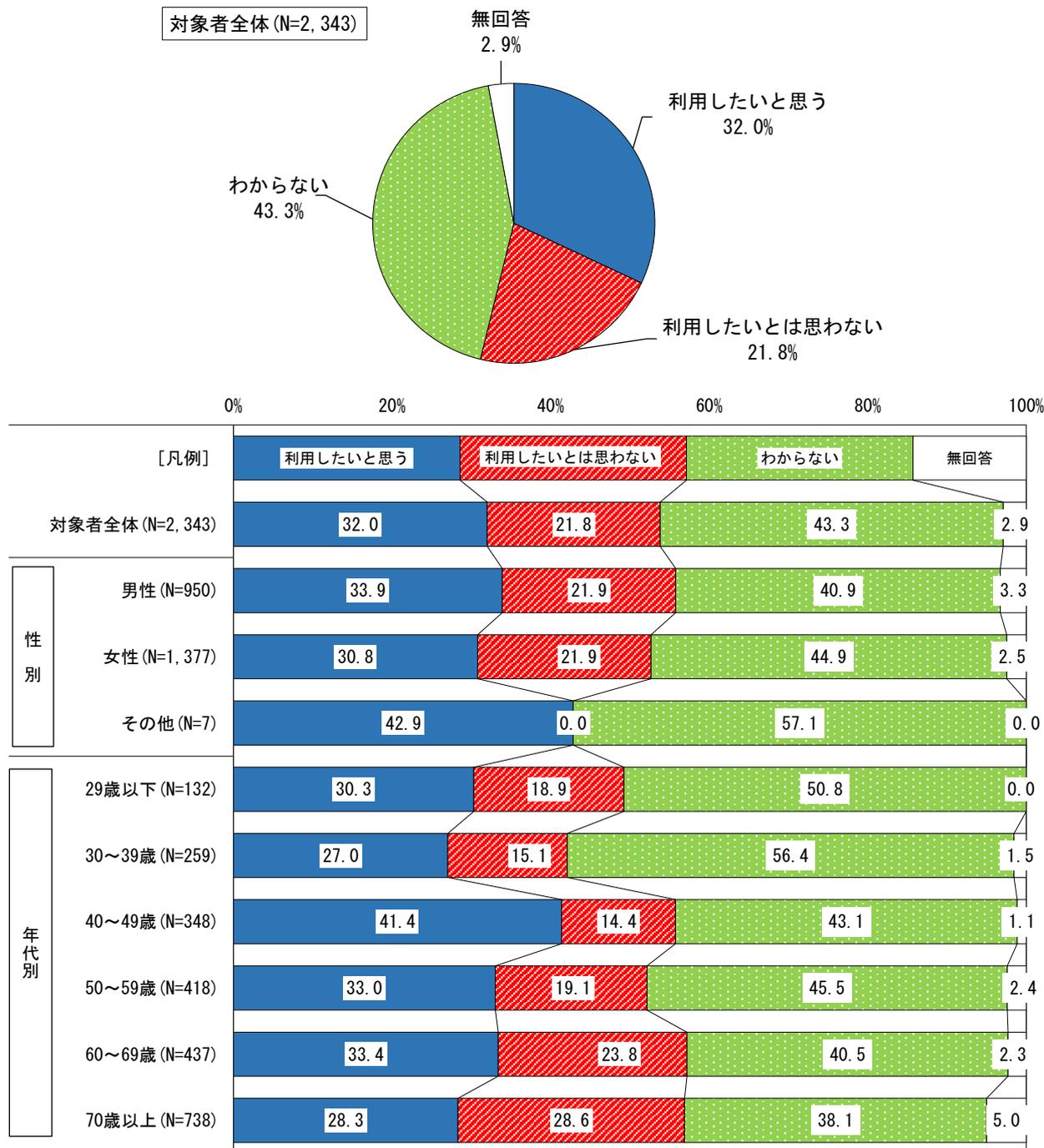
【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「制度の名称も内容も知っていた」が60歳代(41.2%)で最も高く、最も低い29歳以下(20.5%)と比べると20.7ポイントの差となっている。

◇成年後見制度の窓口があった場合、相談窓口を利用したいと思うか否か

問9 あなたは、身近に成年後見制度について相談できる窓口があった場合、その窓口を利用したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

成年後見制度の窓口があった場合、相談窓口を「利用したい」人は32.0%



【全 体】成年後見制度の窓口があった場合、相談窓口を利用したいか否かは、「利用したいと思う」が32.0%、「利用したいとは思わない」が21.8%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

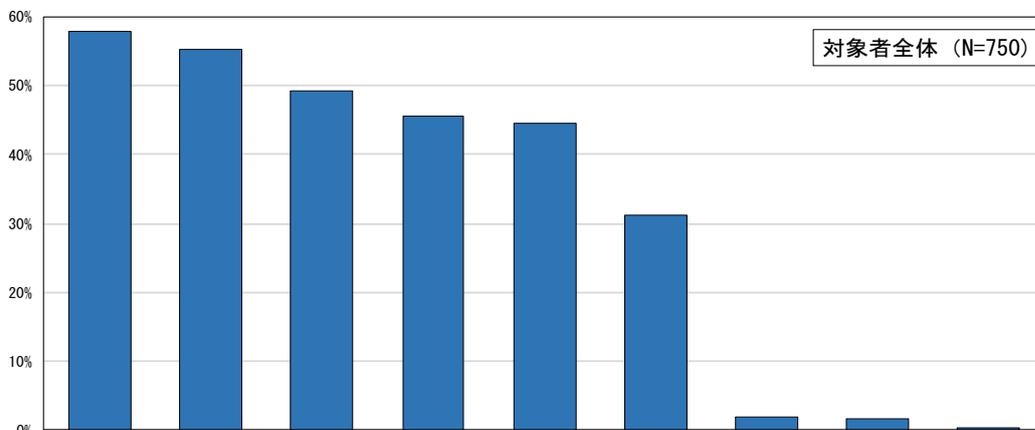
【年代別】「利用したいと思う」が40歳代（41.4%）で最も高く、次いで60歳代（33.4%）、50歳代（33.0%）となっている。

◇窓口で相談したい内容

《問9で「1 利用したいと思う」と答えた方にお聞きします。》

問9-1 あなたは、窓口でどのようなことを相談したいですか。あてはまるものにいくつでも〇をつけてください。

窓口で相談したいと思う内容は「自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい」が57.7%



対象者数		自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい (%)	制度の内容について詳しく聞きたい (%)	制度を利用するための費用に対する助成制度について相談したい (%)	後見人と医療・介護の関係者との協力について相談したい (%)	自身が後見人になると考えたときに、活動内容や手続きなどについて相談したい (%)	後見活動に関する法的な問題について相談したい (%)	その他 (%)	わからない (%)	無回答 (%)	
対象者全体		750	57.7	55.3	49.2	45.6	44.5	31.2	2.0	1.6	0.3
性別	男性	322	52.8	55.0	44.1	44.1	48.4	31.1	1.2	1.2	0.3
	女性	424	61.6	55.2	53.1	46.7	41.3	30.9	2.6	1.9	0.2
	その他	3	33.3	100.0	33.3	33.3	66.7	66.7	-	-	-
年代別	29歳以下	40	47.5	50.0	45.0	27.5	57.5	25.0	5.0	2.5	-
	30～39歳	70	50.0	54.3	54.3	45.7	68.6	32.9	1.4	2.9	-
	40～49歳	144	58.3	60.4	52.1	39.6	47.9	27.1	2.8	0.7	-
	50～59歳	138	65.2	47.1	47.8	50.7	50.7	30.4	2.2	0.7	-
	60～69歳	146	58.2	56.2	47.3	46.6	43.8	35.6	2.1	2.1	-
	70歳以上	209	56.5	57.9	47.8	48.8	27.8	31.6	1.0	1.9	1.0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】窓口で相談したいと思う内容は、「自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい」が57.7%、「制度の内容について詳しく聞きたい」が55.3%、「制度を利用するための費用に対する助成制度について相談したい」が49.2%となっている。

【性別】「自身が後見人になると考えたときに、活動内容や手続きなどについて相談したい」は男性が女性より7.1ポイントと高く、「自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい」、「制度を利用するための費用に対する助成制度について相談したい」は、女性が男性より8.8ポイント以上高くなっている。

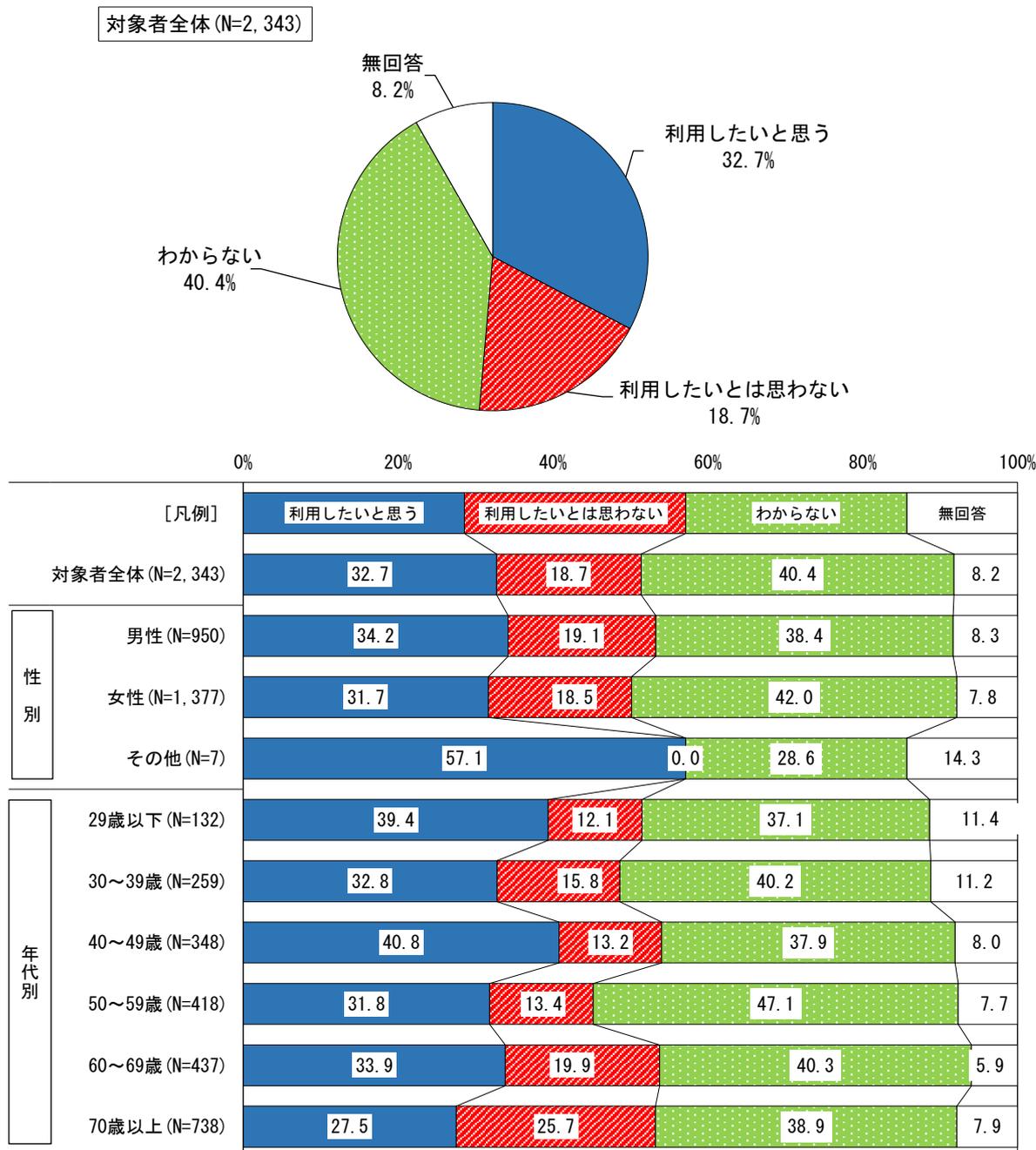
【年代別】「自身が後見人になると考えたときに、活動内容や手続きなどについて相談したい」は30歳代(68.6%)が最も高く、最も低い70歳以上(27.8%)と比べると40.8ポイントの差となっている。

◇成年後見制度を利用したいと思うか否か

《皆さまにお聞きます。》

問10 あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いませんか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

成年後見制度を「利用したいと思う」人は32.7%



【全体】成年後見制度を利用したいと思うかについては、「利用したいと思う」が32.7%、「利用したいとは思わない」が18.7%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

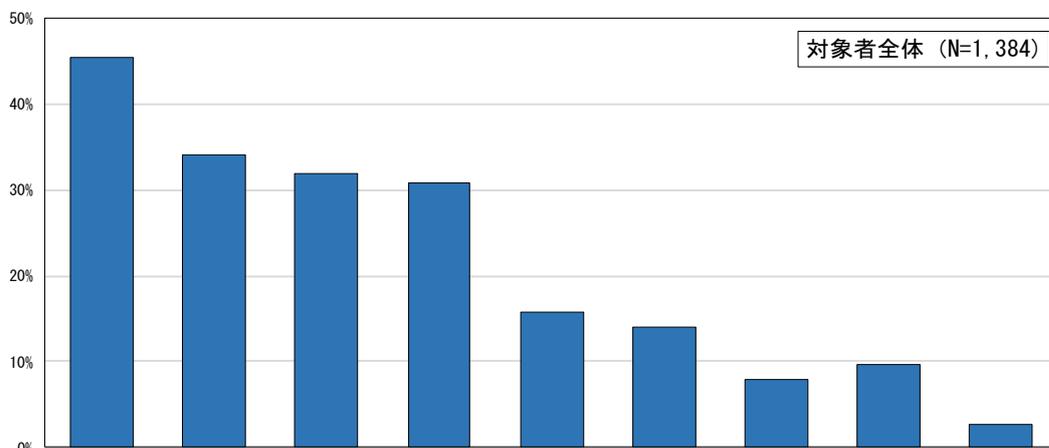
【年代別】「利用したいと思う」が40歳代（40.8%）で最も高く、最も低い70歳以上（27.5%）と比べると13.3ポイントの差となっている。また、「利用したいとは思わない」が70歳以上（25.7%）で最も高く、最も低い29歳以下（12.1%）と比べると13.6ポイントの差となっている。

◇成年後見制度を利用したいと思わない、わからない理由

《問10で「2 利用したいとは思わない」または「3 わからない」と答えた方にお聞きします。》

問10-1 あなたが、「利用したいとは思わない」または「わからない」と答えた理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

成年後見制度を利用したいとは思わない、わからない理由は「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が45.4%



対象者数 (%)		他人に財産管理をされることに抵抗がある	制度の内容や利用方法がよくわからない	制度を利用するための手続きが複雑そうである	利用するために費用(経済的負担)がかかる	必要性がわからない	制度自体に良いイメージがない	その他	特に理由はない	無回答	
対象者全体		1,384	45.4	34.0	31.9	30.8	15.8	14.0	8.0	9.7	2.7
性別	男性	546	39.9	34.4	29.9	27.8	18.1	14.5	7.1	11.2	3.3
	女性	833	48.9	33.6	33.4	32.7	14.0	13.8	8.6	8.8	2.3
	その他	2	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-
年代別	29歳以下	65	36.9	41.5	30.8	24.6	18.5	13.8	3.1	9.2	-
	30～39歳	145	51.7	33.8	31.7	29.7	16.6	11.0	7.6	7.6	2.1
	40～49歳	178	51.1	40.4	33.1	37.1	15.7	10.1	9.6	3.9	2.2
	50～59歳	253	44.7	35.6	28.9	33.2	12.6	17.4	9.5	8.3	2.0
	60～69歳	263	47.1	33.5	39.2	34.6	14.4	14.8	9.5	8.4	1.9
70歳以上	477	41.9	30.0	29.6	26.4	17.4	14.3	6.7	14.0	4.2	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】成年後見制度を利用したいとは思わない、わからない理由は、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が45.4%、「制度の内容や利用方法がよくわからない」が34.0%、「制度を利用するための手続きが複雑そうである」が31.9%となっている。

【性別】「他人に財産管理をされることに抵抗がある」は女性が48.9%と、男性の39.9%より9.0ポイント高くなっている。

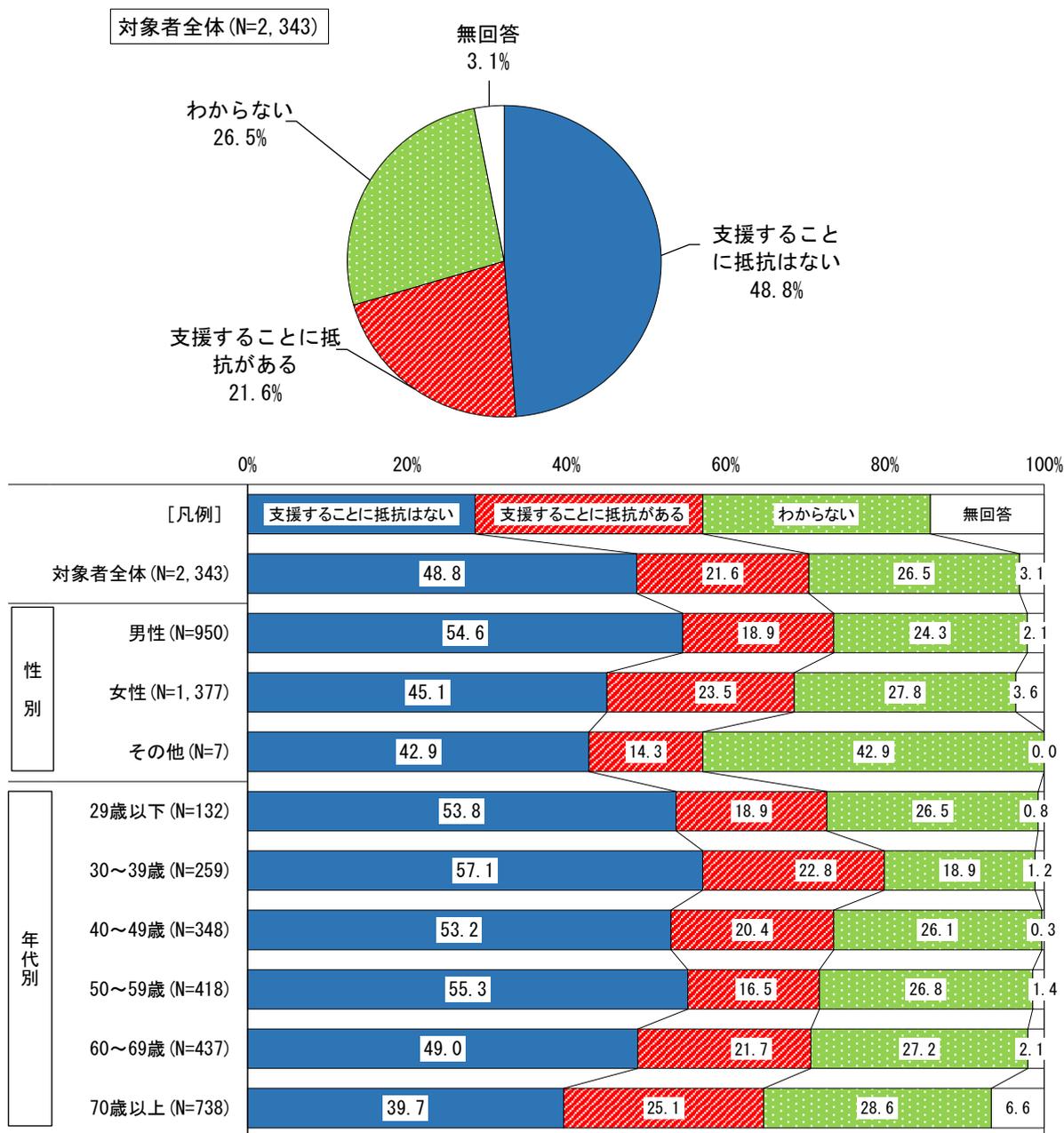
【年代別】29歳以下では「制度の内容や利用方法がよくわからない」が、30歳以上では「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が最も高くなっている。

◇親族の後見人となって支援をすることに抵抗があるか否か

《皆さまにお聞きします。》

問 1 1 あなたは、親族の判断能力が不十分となった場合、親族の後見人となって財産管理や契約行為の支援をすることに抵抗はありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

親族の後見人となって財産管理等を支援することに抵抗があるか否かは「支援することに抵抗はない」が48.8%



【全 体】親族の後見人となって支援することに抵抗があるか否かは、「支援することに抵抗はない」が48.8%、「支援することに抵抗がある」が21.6%となっている。

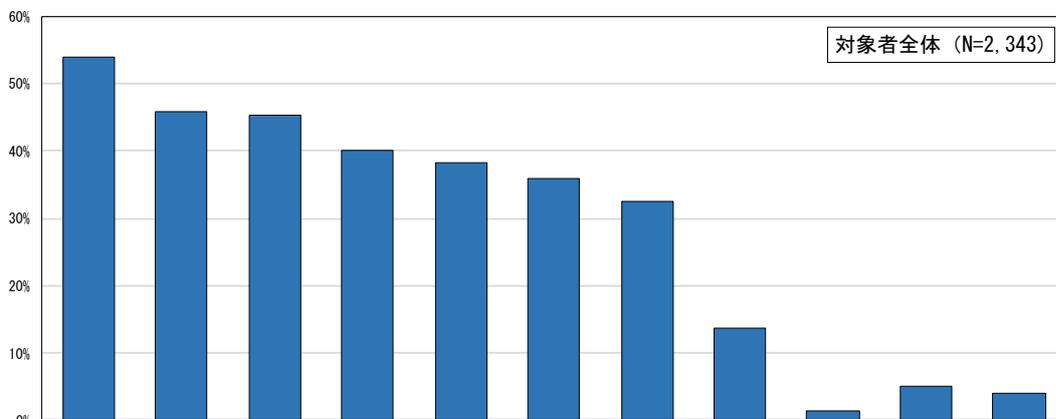
【性 別】「支援することに抵抗はない」は男性が54.6%と、女性の45.1%より9.5ポイント高くなっている。

【年代別】「支援することに抵抗はない」が30歳代(57.1%)で最も高く、次いで50歳代(55.3%)、29歳以下(53.8%)となっている。

◇親族に依頼された時、後見人として支援したいと思える環境

問12 あなたが、親族から後見人になってほしいと依頼されたとき、どのような環境であれば、後見人として支援したいと思いますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

親族に依頼された時、後見人として支援したいと思える環境は「後見活動について相談できる窓口がある」が54.0%



対象者数 (%)		後見活動について相談できる窓口がある	後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されている	制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される	後見活動で法的な問題が生じた場合、弁護士等による助言が得られる体制が整備されている	財産の横領などの不正がある疑われないような仕組みがある	制度を利用するための費用が充実している	後見活動に必要な知識や説明が得られる	わからない	その他	支援したいとは思わない	無回答	
対象者全体	2,343	54.0	45.8	45.4	40.0	38.3	36.0	32.5	13.8	1.5	5.2	3.9	
性別	男性	950	52.1	42.7	42.9	39.2	39.1	35.9	33.5	13.8	1.5	3.9	4.1
	女性	1,377	55.4	47.9	47.1	40.5	37.8	36.0	31.8	13.8	1.5	6.1	3.6
	その他	7	85.7	71.4	85.7	71.4	71.4	85.7	57.1	-	-	-	-
年代別	29歳以下	132	56.8	48.5	58.3	34.8	35.6	42.4	39.4	12.1	2.3	1.5	1.5
	30～39歳	259	68.3	60.2	68.7	55.6	59.8	59.8	40.5	4.6	-	0.8	0.4
	40～49歳	348	66.4	54.3	61.2	49.7	48.9	52.6	38.2	6.9	1.4	3.4	0.3
	50～59歳	418	55.7	48.6	49.8	45.5	44.3	41.9	34.4	12.2	2.2	3.8	2.4
	60～69歳	437	55.1	46.5	43.9	39.8	37.1	29.3	32.3	13.7	0.9	5.3	3.4
	70歳以上	738	41.3	34.6	26.3	27.9	23.8	19.6	25.1	21.4	1.8	8.9	8.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】親族に依頼された時、後見人として支援したいと思える環境は、「後見活動について相談できる窓口がある」が54.0%、「後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されている」が45.8%、「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される」が45.4%となっている。

【性別】「後見人と医療・介護の関係者との協力について相談したい」は女性が47.9%と、男性の42.7%より5.2ポイント高くなっている。

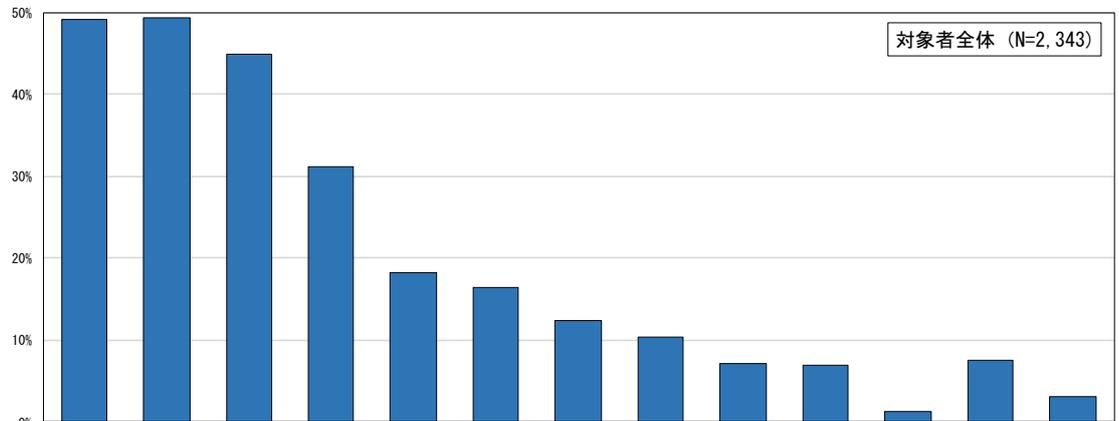
【年代別】「その他」、「わからない」、「支援したいとは思わない」以外のすべての項目で、30歳代が最も高く、最も低い70歳以上と15.4ポイント以上の差となっている。一方、「わからない」、「支援したいとは思わない」は、70歳代が最も高く、最も低い30歳代と比べると8.1ポイント以上の差となっている。

(4) 札幌市が実施する自動消火装置助成事業について

◇自宅で火災の危険があると感じている場所（要因）

問13 あなたが、ご自宅で火災の危険があると感じている場所（要因）はどちらですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

自宅で火災の危険があると感じている場所（要因）は「配線器具」「ストーブ」が49.3%



		対象者数	配線器具	ストーブ	電源コード	こんろ	放火	ボイラー	仏壇	たばこ	スマートフォン（携帯電話）	照明器具	その他	危険があると感じている場所はない	無回答
		(%)													
対象者全体		2,343	49.3	49.3	45.0	31.1	18.2	16.4	12.3	10.3	7.2	6.9	1.3	7.5	3.0
性別	男性	950	50.7	53.7	46.7	27.7	19.3	19.2	10.9	11.3	7.1	6.8	1.4	6.2	2.6
	女性	1,377	48.2	46.2	43.8	33.2	17.2	14.5	13.1	9.4	7.1	6.8	1.3	8.4	3.2
	その他	7	71.4	71.4	71.4	100.0	57.1	42.9	42.9	71.4	42.9	42.9	-	-	-
年代別	29歳以下	132	53.0	68.2	53.0	31.1	16.7	11.4	5.3	13.6	9.8	6.1	0.8	8.3	0.8
	30～39歳	259	53.3	59.1	56.4	42.1	28.2	13.5	10.0	14.3	13.5	7.3	1.5	4.6	0.4
	40～49歳	348	50.0	48.3	51.4	39.1	20.7	12.4	8.3	13.2	10.1	8.0	1.1	8.0	0.9
	50～59歳	418	49.5	45.9	43.3	34.9	17.2	15.8	8.9	13.4	7.4	6.9	1.9	8.1	2.4
	60～69歳	437	47.6	47.1	43.0	26.5	15.3	18.1	13.3	8.7	7.1	5.5	0.9	8.2	1.6
	70歳以上	738	47.8	46.2	39.0	24.1	15.9	19.8	17.6	6.1	3.1	7.2	1.4	7.3	6.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】自宅で火災の危険があると感じている場所（要因）は、「配線器具」、「ストーブ」が49.3%、「電源コード」が45.0%、「こんろ」が31.1%となっている。

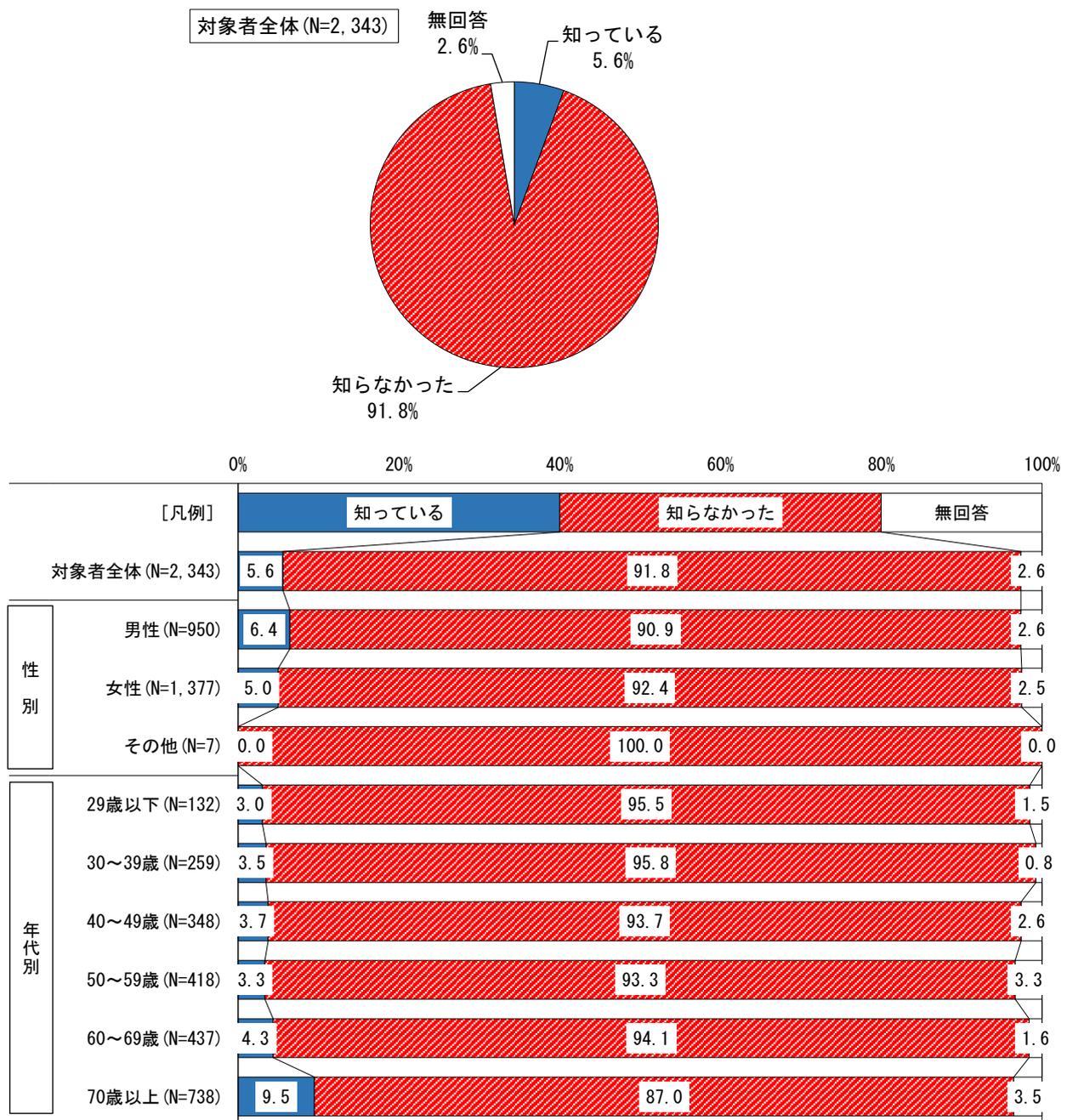
【性別】「ストーブ」は男性が53.7%と、女性の46.2%より7.5ポイント高くなっている。「こんろ」では女性が33.2%と男性の27.7%より5.5ポイント高くなっている。

【年代別】「ストーブ」は、29歳以下（68.2%）で最も高く、最も低い50歳代（45.9%）と比べると22.3ポイントの差となっている。

◇自動消火装置の購入・設置に要する費用の助成制度の認知度

問14 あなたは、札幌市が65歳以上の高齢者のみで構成される世帯に対し、自動消火装置の購入・設置に要する費用を助成する制度があることを知っていますか。

自動消火装置の購入・設置の費用助成制度を「知っている」人は5.6%



【全 体】自動消火装置の購入・設置に要する費用を助成する制度の認知度は、「知っている」が5.6%、「知らなかった」が91.8%となっている。

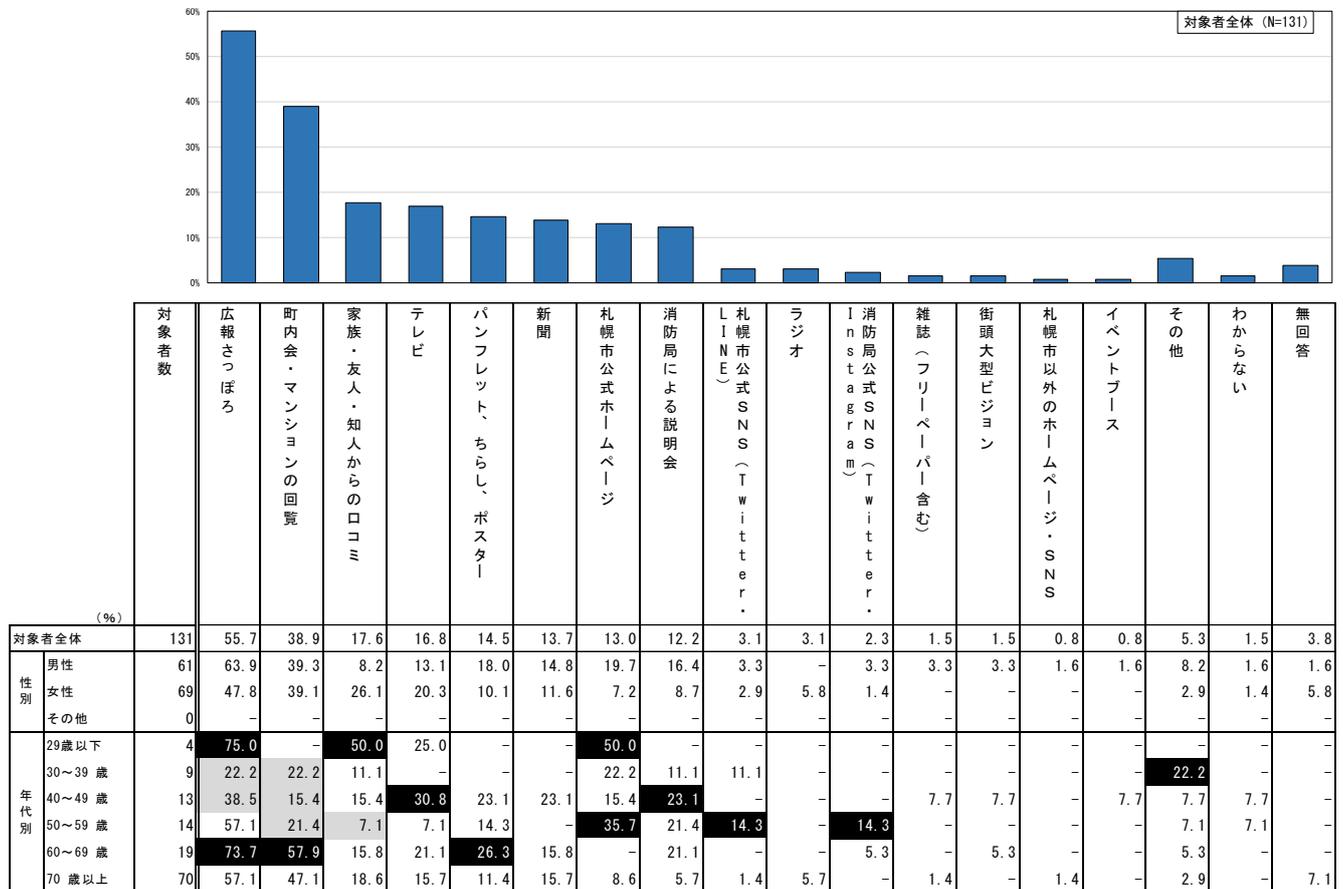
【性 別】男女で大きな差は見られない。

◇自動消火装置の購入・設置の助成制度の認知方法

《問14で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。》

問14-1 あなたは、当該助成制度をどこでお知りになりましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

自動消火装置の購入・設置の助成制度を「広報さっぽろ」で知った人は55.7%



		対象者数	広報さっぽろ	町内会・マンションの回覧	家族・友人・知人からの口コミ	テレビ	パンフレット、ちらし、ポスター	新聞	札幌市公式ホームページ	消防局による説明会	札幌市公式SNS (Twitter・LINE)	ラジオ	消防局公式SNS (Twitter・Instagram)	雑誌 (フリーペーパー含む)	街頭大型ビジョン	札幌市以外のホームページ・SNS	イベントブース	その他	わからない	無回答	
(%)																					
対象者全体		131	55.7	38.9	17.6	16.8	14.5	13.7	13.0	12.2	3.1	3.1	2.3	1.5	1.5	0.8	0.8	5.3	1.5	3.8	
性別	男性	61	63.9	39.3	8.2	13.1	18.0	14.8	19.7	16.4	3.3	-	3.3	3.3	3.3	1.6	1.6	8.2	1.6	1.6	
	女性	69	47.8	39.1	26.1	20.3	10.1	11.6	7.2	8.7	2.9	5.8	1.4	-	-	-	-	2.9	1.4	5.8	
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	4	75.0	-	50.0	25.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30~39歳	9	22.2	22.2	11.1	-	-	-	22.2	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	22.2	-	-	
	40~49歳	13	38.5	15.4	15.4	30.8	23.1	23.1	15.4	23.1	-	-	-	7.7	7.7	-	7.7	7.7	7.7	-	
	50~59歳	14	57.1	21.4	7.1	7.1	14.3	-	35.7	21.4	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	7.1	7.1	-
	60~69歳	19	73.7	57.9	15.8	21.1	26.3	15.8	-	21.1	-	-	5.3	-	5.3	-	-	-	5.3	-	-
	70歳以上	70	57.1	47.1	18.6	15.7	11.4	15.7	8.6	5.7	1.4	5.7	-	1.4	-	1.4	-	2.9	-	7.1	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

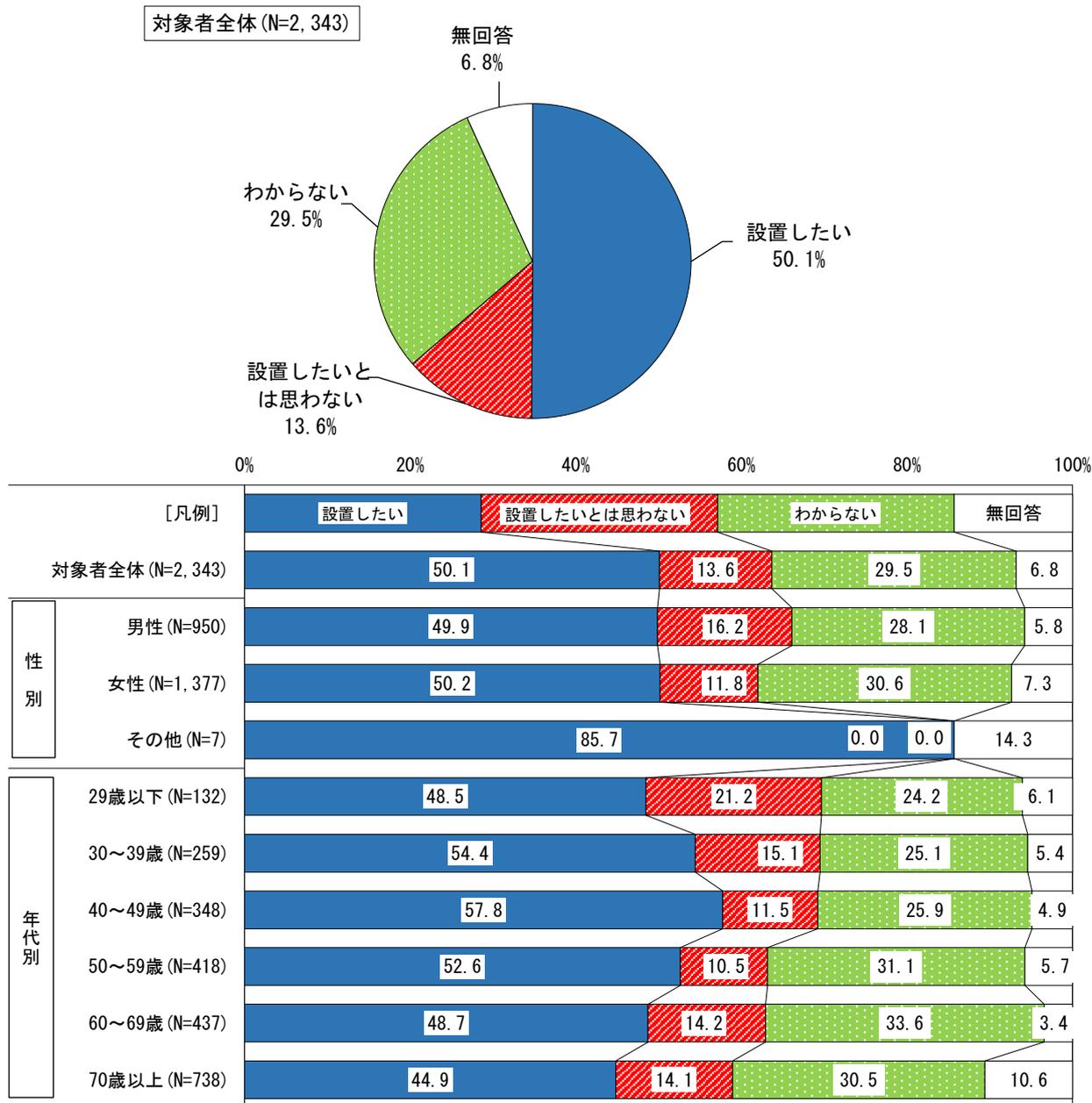
【全 体】自動消火装置の購入・設置の助成制度の認知方法は、「広報さっぽろ」が55.7%、「町内会・マンションの回覧」が38.9%、「家族・友人・知人からの口コミ」が17.6%となっている。

◇自動消火装置を自宅に設置したいか否か

《皆さまにお聞きます。》

問 1 5 あなたは、自動消火装置設置費助成制度を利用（現時点で助成の対象外であっても利用できる
と仮定）して、自動消火装置をご自宅に設置してみたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○
をつけてください。

自動消火装置を自宅に「設置したい」人は 50.1%



【全 体】自動消火装置を自宅に設置したいか否かは、「設置したい」が 50.1%、「設置したいとは思わない」が 13.6%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

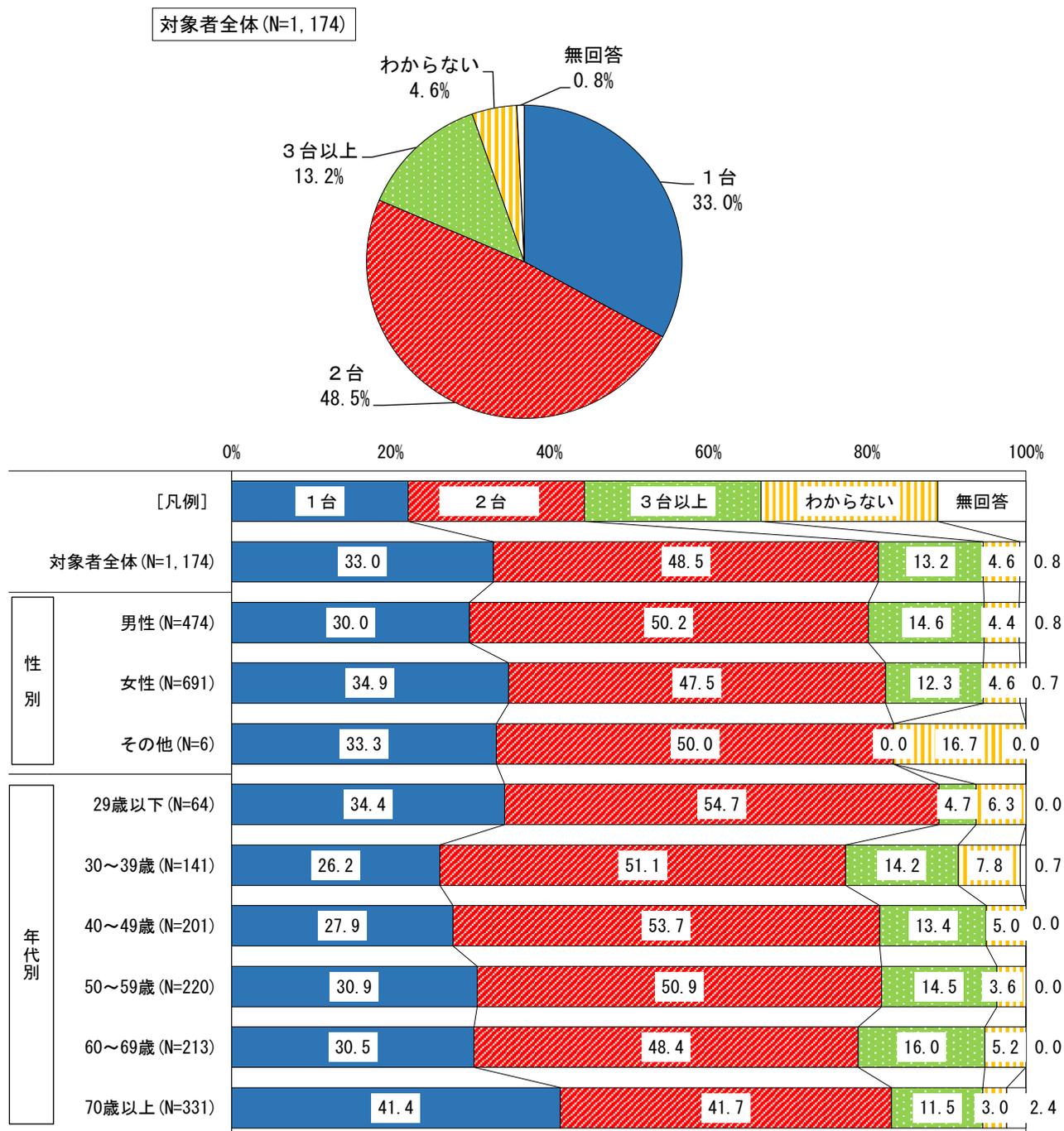
【年代別】「設置したい」は 40 歳代 (57.8%) で最も高く、次いで 30 歳代 (54.4%)、50 歳代 (52.6%) となっている。

◇自宅に設置したい自動消火装置の台数

《問15で「1 設置したい」と答えた方にお聞きします。》

問15-1 あなたは、ご自宅に自動消火装置を何台設置したいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください（なお、助成制度の上限は2台までとなります。）。

自宅に設置したい自動消火装置の台数は「2台」と回答した人が48.5%



【全体】自動消火装置を自宅に設置したい台数は、「1台」が33.0%、「2台」が48.5%、「3台以上」が13.2%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

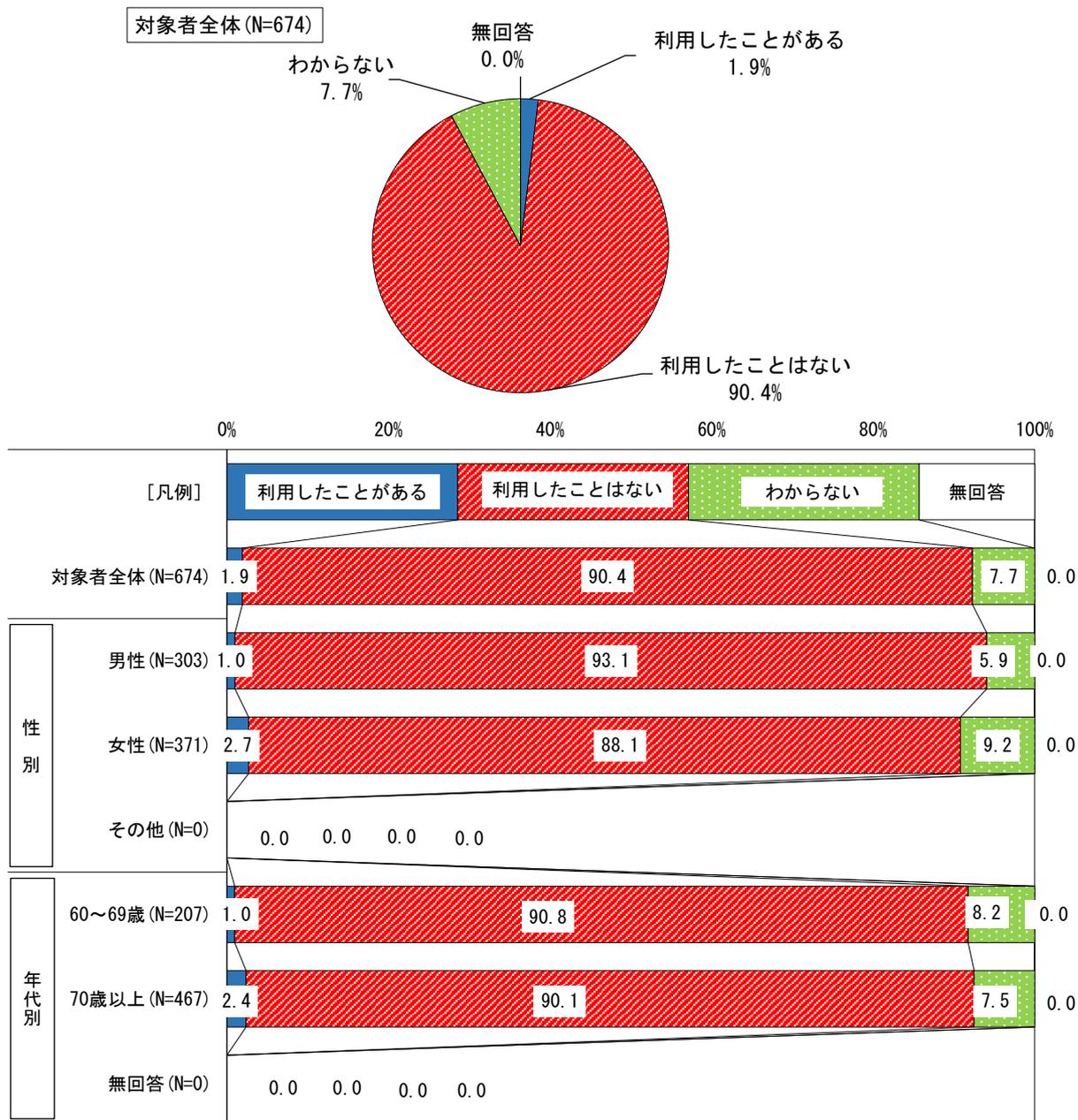
【年代別】「1台」は70歳以上（41.4%）で最も高く、最も低い30歳代（26.2%）と比べると15.2ポイントの差となっている。「2台」では、29歳以下（54.7%）で最も高く、最も低い70歳以上（41.7%）と比べると13.0ポイントの差となっている。

◇高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度の利用の有無

《ご本人も含め、世帯全員が65歳以上の方にお聞きします。それ以外の方は問17へお進みください。》

問16 あなたは、高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を利用したことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

高齢者世帯で、自動消火装置設置費用助成制度を“利用したことがある”と回答した人が1.9%



【全体】 高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度の利用の有無については、「利用したことがある」が1.9%、「利用したことはない」が90.4%となっている。

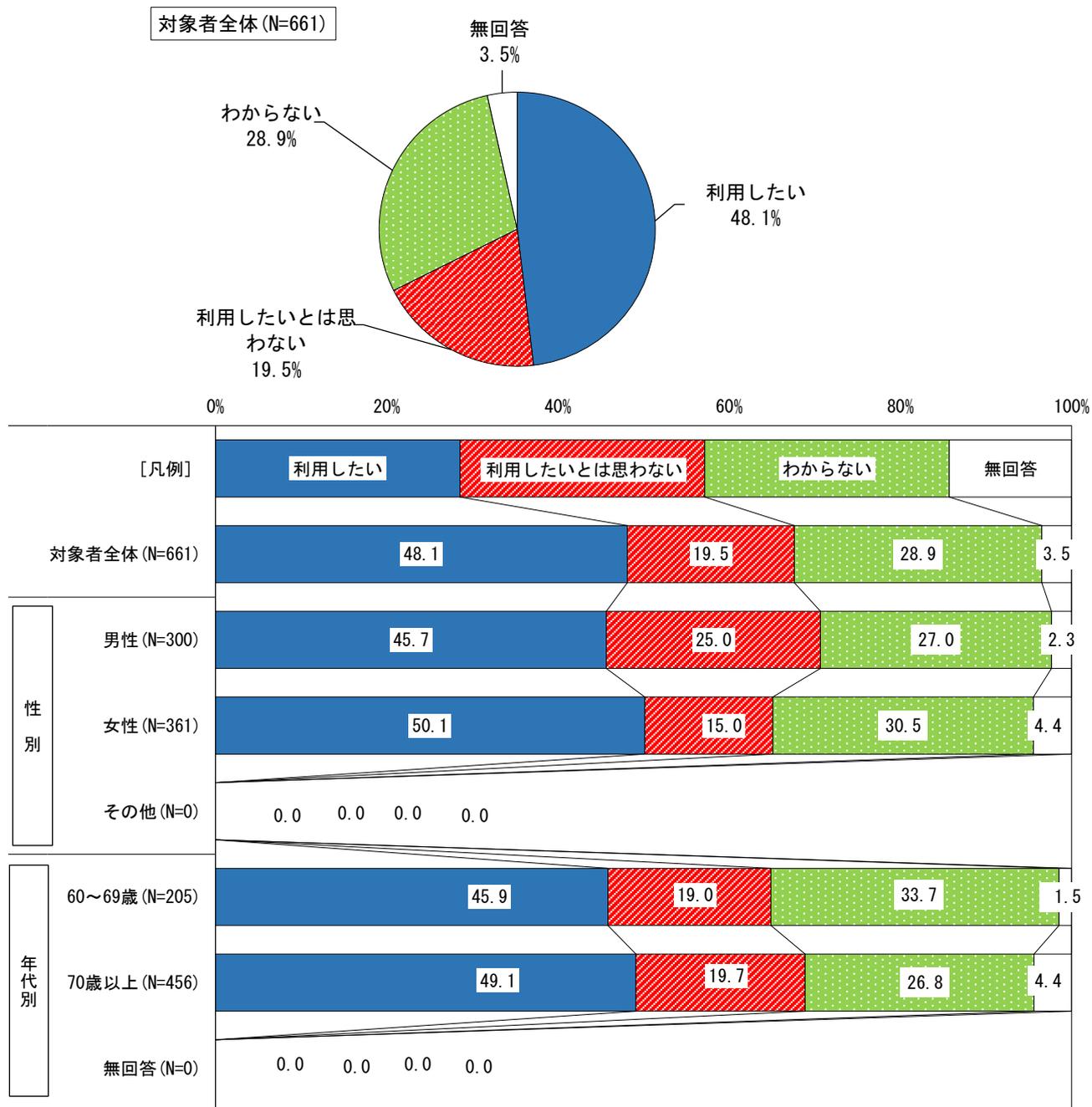
【性別】 「利用したことがない」は男性が93.1%と、女性の88.1%より5.0ポイント高くなっている。

◇高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を利用したいか否か

《問16で「2 利用したことはない」または「3 わからない」と答えた方にお聞きします。》

問16-1 あなたは、高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を利用したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を“利用したい”は48.1%



【全体】 高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を利用したいか否かは、「利用したい」が48.1%、「利用したいとは思わない」が19.5%となっている。

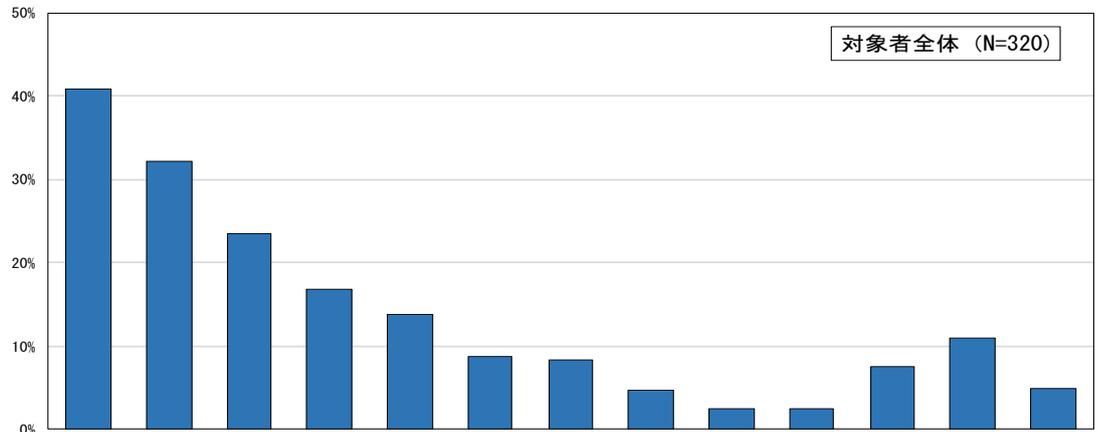
【性別】 「利用したいとは思わない」は男性が25.0%と、女性の15.0%より10.0ポイント高くなっている。

◇高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度の利用に踏み切れない理由

《問16-1で「2 利用したいとは思わない」または「3 わからない」と答えた方にお聞きします。》

【問16-2】 あなたが、現時点で高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度の利用に踏み切れない、利用したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

高齢者世帯自動消火装置設置費用助成の利用に踏み切れない理由は「制度内容や利用方法がわからない」が40.9%



		対象者数	制度内容や利用方法がわからない	日頃から火災に気を付けている	費用が高い	申請が複雑そうである	きっかけが無い	取り付ける場所が無さそうだから	必要性がわからない	すでに設置しているから	室内の景観を損ねる	火災が自分事ではない	その他	特に理由はない	無回答	
(%)																
対象者全体		320	40.9	32.2	23.4	16.9	13.8	8.8	8.4	4.7	2.5	2.5	7.5	10.9	5.0	
性別	男性	156	42.3	35.9	15.4	19.9	15.4	10.9	10.3	3.8	2.6	3.8	9.0	7.7	4.5	
	女性	164	39.6	28.7	31.1	14.0	12.2	6.7	6.7	5.5	2.4	1.2	6.1	14.0	5.5	
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年代別	29歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30～39歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40～49歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50～59歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	60～69歳	108	47.2	22.2	25.9	20.4	13.9	4.6	6.5	2.8	1.9	1.9	10.2	11.1	5.6	
70歳以上	212	37.7	37.3	22.2	15.1	13.7	10.8	9.4	5.7	2.8	2.8	6.1	10.8	4.7		

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度の利用に踏み切れない理由は、「制度内容や利用方法がわからない」が40.9%、「日頃から火災に気を付けている」が32.2%、「費用が高い」が23.4%となっている。

【性別】 「日頃から火災に気を付けている」は男性が35.9%と、女性の28.7%より7.2ポイント高くなっている。また、「費用が高い」では女性が31.1%と、男性の15.4%より15.7ポイント高くなっている。

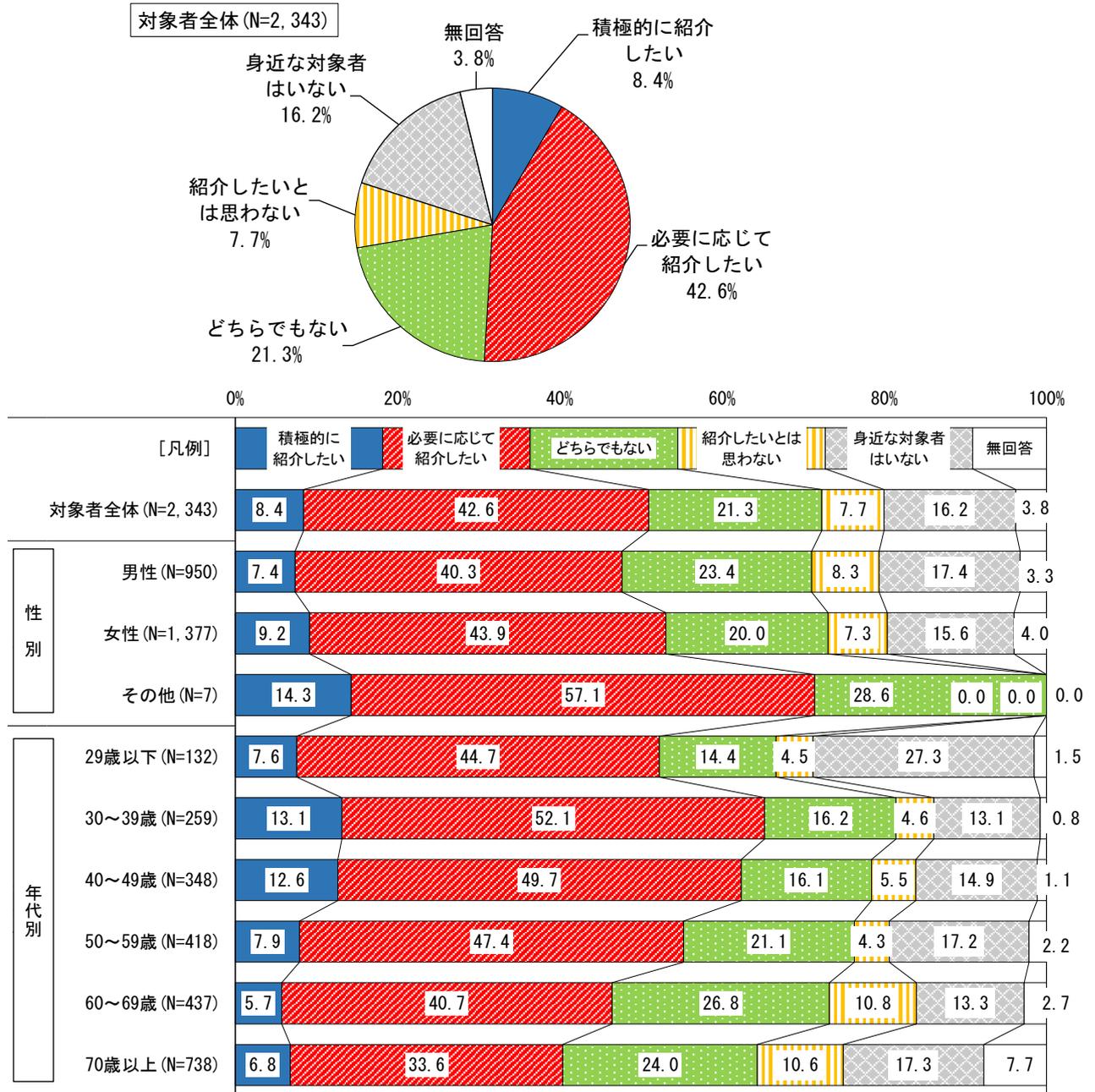
◇高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を紹介したいか否か

《皆さまにお聞きます。》

問 1 7 あなたは、高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度について、市内在住で65歳以上の身近な方に紹介したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を身近な方に“紹介したい”は51.0%

※ “紹介したい”（「積極的に紹介したい」＋「必要に応じて紹介したい」）



【全 体】 高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を紹介したいか否かは、「積極的に紹介したい」が8.4%、「必要に応じて紹介したい」が42.6%、合わせると51.0%となっている。一方、「紹介したいとは思わない」は7.7%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

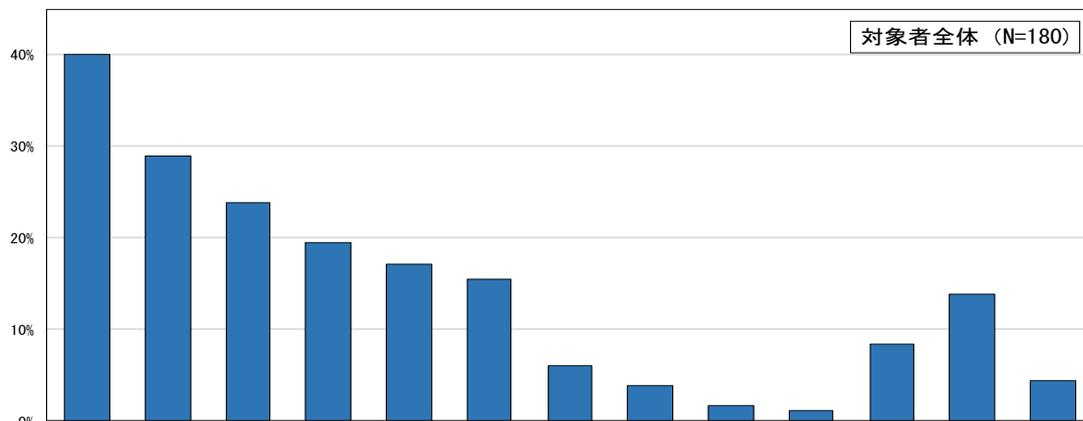
【年代別】 「紹介したい」が30歳代（65.3%）で最も高く、最も低い70歳以上（40.4%）と比べると24.9ポイントの差となっている。

◇高齢者世帯自動消火装置設置費用助成制度を紹介したいと思わない理由

《問17で「4 紹介したいとは思わない」と答えた方にお聞きします。》

問17-1 あなたが、現時点で自動消火装置助成制度について、身近な人に紹介したいとは思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

自動消火装置設置費用助成制度を身近な人に紹介したいと思わない理由は「制度内容や利用方法がわからない」が40.0%



		対象者数	制度内容や利用方法がわからない	どんな装置かわからないから	費用が高い	申請が複雑そうだから	きっかけが無い	必要性がわからない	手続等を手伝わされそうだから	取り付ける場所が無さそうだから	すでに設置しているから	室内の景観を損ねそうだから	その他	特に理由はない	無回答	
(%)																
対象者全体		180	40.0	28.9	23.9	19.4	17.2	15.6	6.1	3.9	1.7	1.1	8.3	13.9	4.4	
性別	男性	79	38.0	26.6	24.1	16.5	20.3	24.1	8.9	5.1	1.3	2.5	7.6	11.4	5.1	
	女性	101	41.6	30.7	23.8	21.8	14.9	8.9	4.0	3.0	2.0	-	8.9	15.8	4.0	
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年代別	29歳以下	6	50.0	16.7	50.0	50.0	33.3	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7	-	
	30～39歳	12	8.3	25.0	16.7	-	16.7	33.3	8.3	8.3	-	-	16.7	25.0	-	
	40～49歳	19	52.6	42.1	10.5	21.1	21.1	26.3	5.3	5.3	-	5.3	21.1	10.5	-	
	50～59歳	18	38.9	27.8	11.1	-	16.7	11.1	-	-	5.6	-	5.6	27.8	-	
	60～69歳	47	36.2	23.4	31.9	25.5	12.8	19.1	6.4	8.5	2.1	2.1	10.6	8.5	6.4	
	70歳以上	78	43.6	30.8	24.4	20.5	17.9	9.0	7.7	1.3	1.3	-	2.6	12.8	6.4	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】自動消火装置助成制度について、身近な人に紹介したいとは思わない理由は、「制度内容や利用方法がわからない」が40.0%、「どんな装置かわからないから」が28.9%、「費用が高い」が23.9%となっている。

【性別】「申請が複雑そうだから」は女性が21.8%と、男性の16.5%より5.3ポイント高くなっている。また、「きっかけが無い」、「必要性がわからない」は男性が、女性より5.4ポイント以上高くなっている。

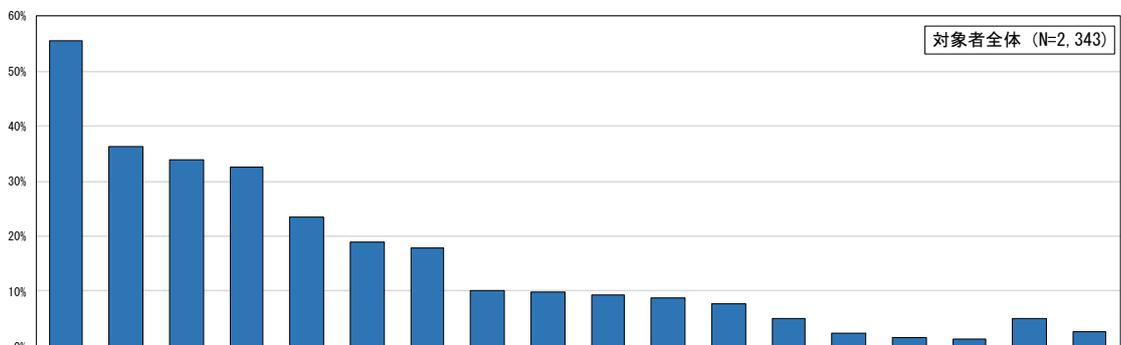
【年代別】「制度内容や利用方法がわからない」は40歳代(52.6%)で最も高く、最も低い30歳代(8.3%)と比べると44.3ポイントの差となっている。

◇火災予防に関する情報の入手手段

《皆さまにお聞きます。》

問18 あなたは、火災予防に関する情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

火災予防に関する情報の入手手段は「広報さっぽろ」が55.4%



		対象者数	広報さっぽろ	テレビ	札幌市公式ホームページ	町内会・マンションの回覧	新聞	家族・友人・知人からの口コミ	パンフレット、ちらし、ポスター	消防局による説明会	Instagram	消防局公式SNS (Twitter・LINE)	ラジオ	札幌市公式SNS (Twitter・LINE)	札幌市以外のホームページ・SNS	雑誌 (フリーペーパー含む)	街頭大型ビジョン	イベントブース	その他	特に必要がない	無回答
対象者全体		2,343	55.4	36.4	33.9	32.7	23.4	19.0	17.8	10.0	9.9	9.4	8.9	7.6	5.1	2.5	1.5	1.4	5.0	2.6	
性別	男性	950	51.9	35.5	36.1	32.0	24.0	13.7	18.9	10.8	8.9	10.4	8.7	10.6	4.0	2.3	1.2	1.7	6.4	2.7	
	女性	1,377	57.7	37.3	32.4	33.4	23.0	22.6	16.9	9.4	10.6	8.6	8.9	5.5	5.9	2.6	1.7	1.2	4.1	2.3	
	その他	7	85.7	14.3	42.9	14.3	14.3	-	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	132	26.5	38.6	41.7	11.4	7.6	20.5	16.7	6.8	25.0	7.6	23.5	12.9	5.3	9.1	2.3	1.5	9.8	0.8	
	30~39歳	259	36.7	27.4	48.6	16.6	4.2	15.4	16.2	6.2	16.2	6.2	17.8	18.9	6.2	3.5	0.4	2.3	6.9	1.5	
	40~49歳	348	48.9	29.0	46.6	22.1	11.5	15.5	17.8	9.8	15.2	6.9	14.9	11.8	7.2	2.9	1.4	2.6	5.5	0.9	
	50~59歳	418	48.6	30.1	45.5	24.4	16.7	16.5	12.4	5.7	13.2	7.7	8.4	9.1	5.3	2.2	1.2	2.2	6.0	2.2	
	60~69歳	437	61.1	38.0	35.7	38.7	26.8	16.2	20.1	9.8	8.2	10.5	6.6	5.9	6.6	2.1	1.8	0.7	4.3	2.7	
	70歳以上	738	70.6	45.4	14.0	48.6	40.4	24.4	20.1	20.1	14.8	1.8	12.2	2.0	0.9	2.7	1.2	1.6	0.5	3.1	3.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】火災予防に関する情報の入手手段は、「広報さっぽろ」が55.4%、「テレビ」が36.4%、「札幌市公式ホームページ」が33.9%となっている。

【性別】「広報さっぽろ」、「家族・友人・知人からの口コミ」は女性が、男性より5.8ポイント以上高くなっている。また、「札幌市以外のホームページ・SNS」は男性が10.6%と、女性の5.5%より5.1ポイント高くなっている。

【年代別】「広報さっぽろ」は、70歳以上(70.6%)で最も高く、最も低い29歳以下(26.5%)と比べると44.1ポイントの差となっている。また、「札幌市公式ホームページ」は30歳代(48.6%)で最も高く、最も低い70歳以上(14.0%)と比べると34.6ポイントの差となっている。

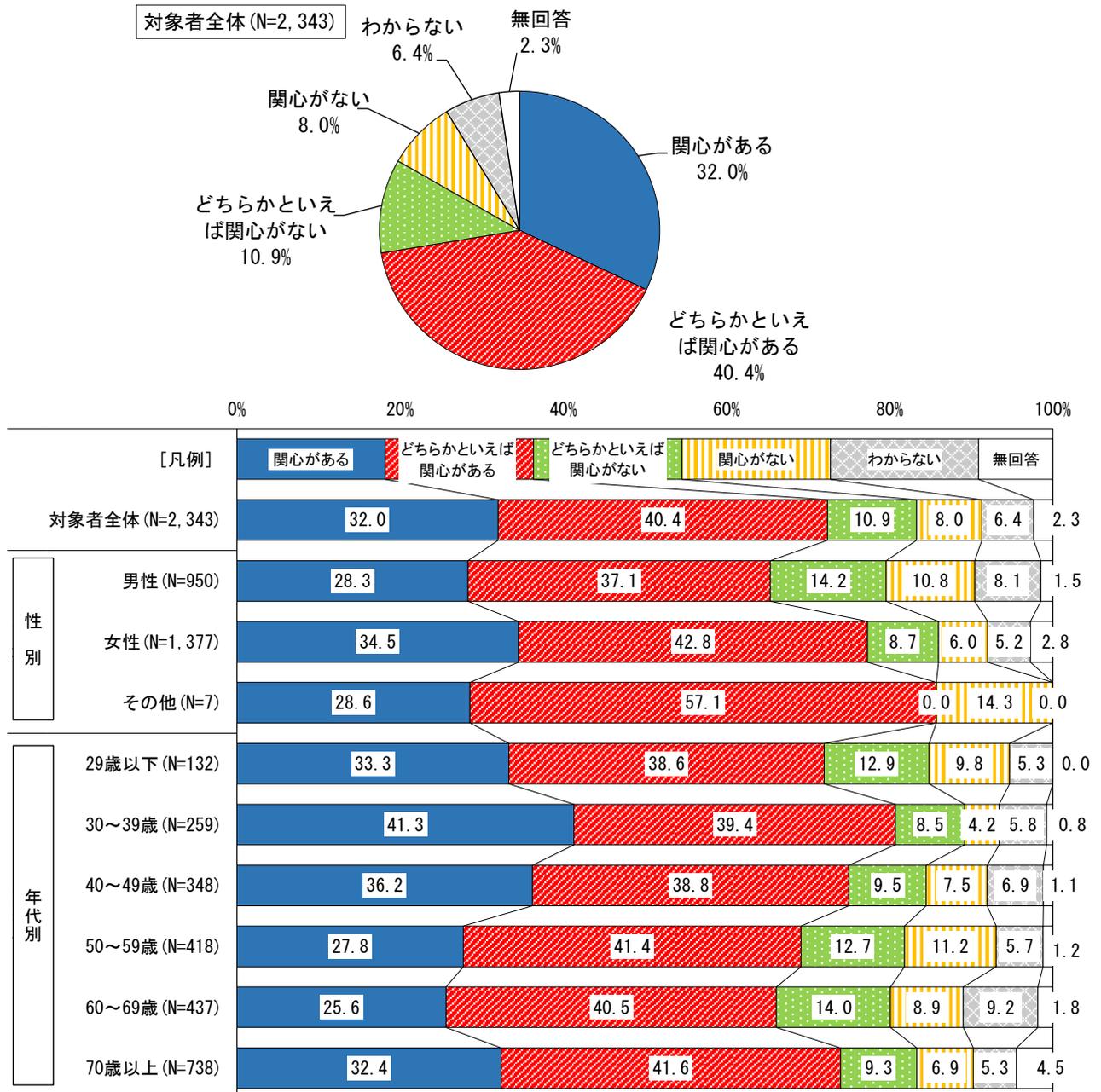
(5) 食育について

◇「食育」への関心の有無

問19 あなたは、「食育」に関心がありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「食育」に“関心がある”は72.4%

※ “関心がある（「関心がある」＋「どちらかといえば関心がある」）



【全体】「食育」への関心の有無は、「関心がある」が32.0%、「どちらかといえば関心がある」が40.4%、合わせると72.4%となっている。一方、「どちらかといえば関心がない」が10.9%、「関心がない」が8.0%、合わせると18.9%となっている。

【性別】“関心がある”は女性が77.3%と男性の65.4%より11.9ポイント高くなっている。

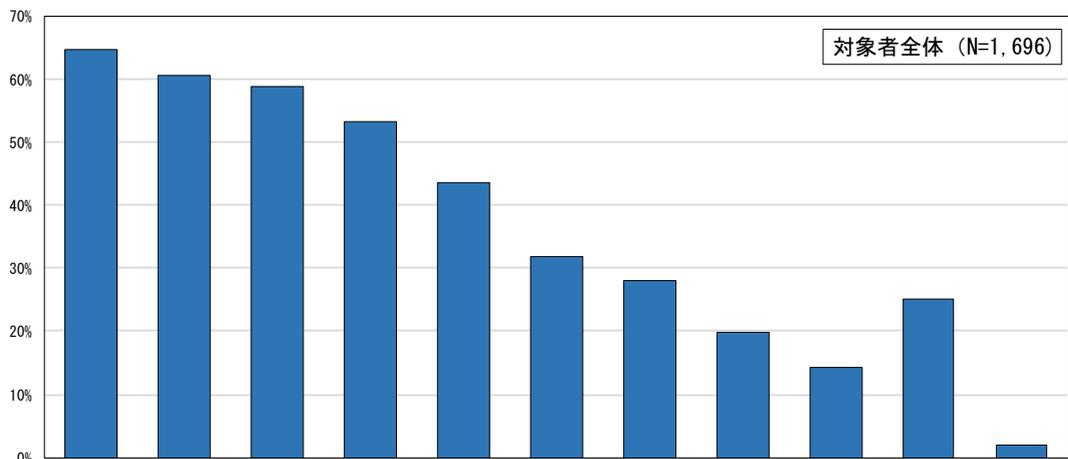
【年代別】“関心がある”は30歳代(80.7%)で最も高く、最も低い60歳代(66.1%)と比べると14.6ポイントの差となっている。

◇「食育」に関心がある理由

《問19で「1 関心がある」、「2 どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きします。》

問19-1 あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「食育」に関心がある理由は、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」が64.9%



		対象者数	生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから (%)	食生活の乱れが問題になっているから (%)	子どもの心身の健全な発育のために必要だから (%)	大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから (%)	食品の安全確保が重要だから (%)	肥満ややせすぎが問題になっているから (%)	自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから (%)	食をまつわることが地域の文化や伝統を守ることに重要だから (%)	その他 (%)	わからない (%)	無回答 (%)
対象者全体		1,696	64.9	60.7	58.8	53.4	43.7	31.8	28.0	19.8	14.2	25.1	1.8
性別	男性	621	66.2	61.7	56.4	52.8	41.4	37.0	28.5	22.2	1.3	0.2	-
	女性	1,064	64.1	60.0	60.0	53.6	44.9	28.8	27.6	18.2	1.0	0.1	0.6
	その他	6	83.3	83.3	83.3	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	16.7	-	-
年代別	29歳以下	95	53.7	72.6	58.9	46.3	22.1	28.4	15.8	23.2	-	1.1	-
	30～39歳	209	56.9	58.4	79.4	40.7	33.5	40.7	24.4	22.5	1.9	-	-
	40～49歳	261	64.0	56.7	72.8	51.3	37.9	33.3	24.9	24.1	3.1	-	-
	50～59歳	289	60.6	57.8	61.2	52.2	38.8	32.2	27.3	24.9	1.4	0.3	0.3
	60～69歳	289	66.8	62.3	57.8	58.8	49.8	30.8	28.7	17.0	0.7	-	0.3
	70歳以上	546	71.6	61.9	43.2	57.7	53.1	28.9	32.8	14.8	0.4	-	0.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】「食育」に関心がある理由は、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」が64.9%、「食生活の乱れが問題になっているから」が60.7%、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」が58.8%となっている。

【性別】「肥満ややせすぎが問題になっているから」は男性が37.0%と、女性の28.8%より8.2ポイント高くなっている。

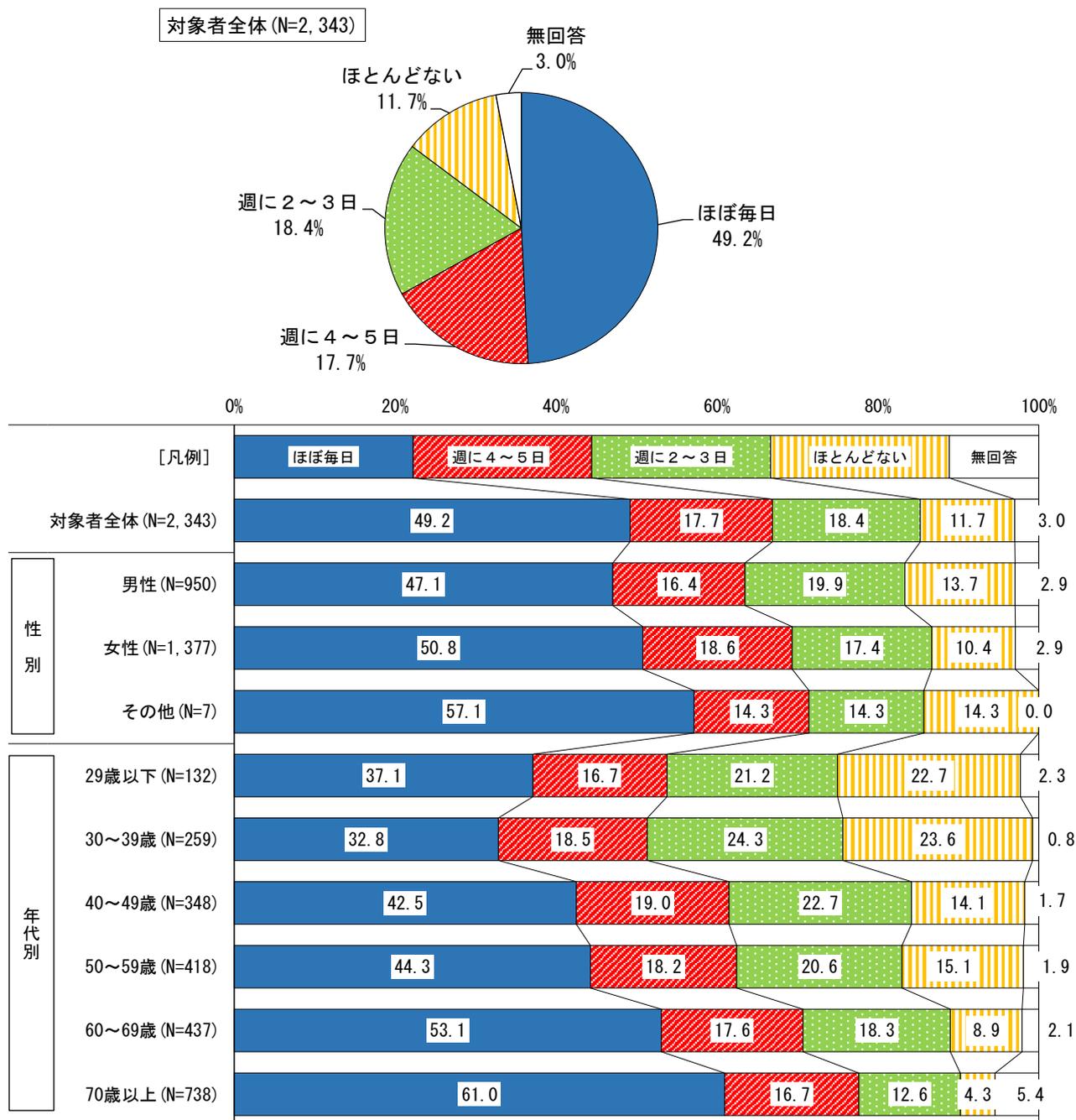
【年代別】「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」は、30歳代（79.4%）で最も高く、最も低い70歳代（43.2%）と比べると36.2ポイントの差となっている。

◇主食・主菜・副菜をそろえて食べる頻度

《皆さまにお聞きします。》

問20 あなたは、主食・主菜・副菜をそろえて食べるのが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

主食・主菜・副菜をそろえて食べるのが一日に2回以上あるのは、「ほぼ毎日」が49.2%



【全体】主食・主菜・副菜をそろえて食べるのが1日に2回以上あるのは、「ほぼ毎日」が49.2%、「週に4~5日」が17.7%、「週に2~3回」が18.4%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

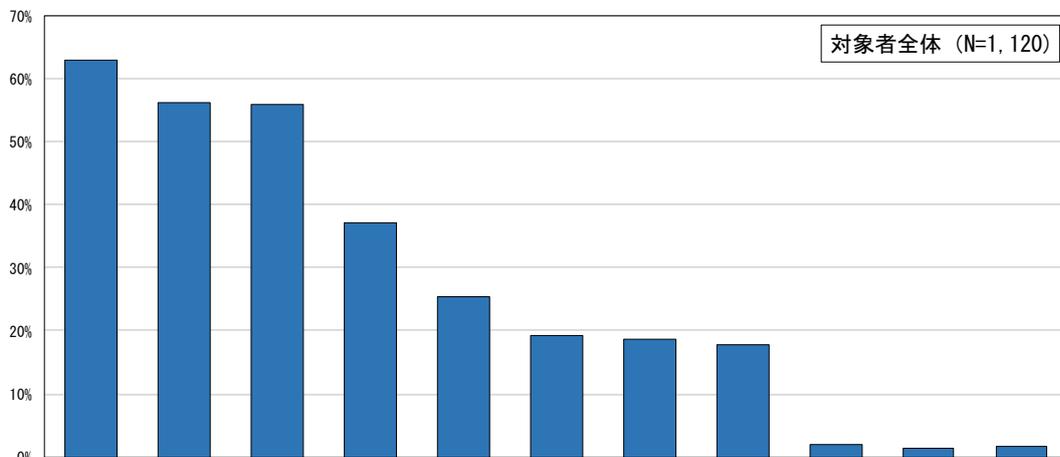
【年代別】「ほぼ毎日」が70歳以上(61.0%)で最も高く、次いで60歳代(53.1%)、50歳代(44.3%)となっている。

◇主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすために必要だと思うこと

《問20で「2週に4～5日」、「3週に2～3日」、「4ほとんどない」と答えた方にお聞きします。》

問20-1 あなたは、主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすためには、どのような事が必要だと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすために必要なことは「手間がかからないこと」が63.0%



対象者数		手間がかからないこと	時間があること	食費に余裕があること	自分で用意することができること	食欲があること	とる外食やコンビニ等が手軽にできる環境があること	ろ3つ(主食・主菜・副菜)をそろえて食べるメリツを知っていること	家に用意されていること	その他	わからない	無回答	
(%)													
対象者全体		1,120	63.0	56.3	55.9	37.1	25.4	19.4	18.6	17.9	2.0	1.3	1.5
性別	男性	475	60.4	49.7	54.1	36.0	22.5	21.9	17.9	21.9	2.7	2.5	1.5
	女性	638	65.2	61.4	57.2	37.9	27.6	17.6	18.7	14.7	1.4	0.3	1.6
	その他	3	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	-	66.7	66.7	-	-	-
年代別	29歳以下	80	61.3	76.3	65.0	40.0	31.3	13.8	8.8	18.8	1.3	1.3	-
	30～39歳	172	80.2	80.2	69.8	34.9	19.8	29.7	9.9	22.7	0.6	-	-
	40～49歳	194	68.0	66.5	60.8	27.8	15.5	25.3	11.3	20.1	1.5	-	1.0
	50～59歳	225	62.2	64.4	54.7	26.7	20.0	15.1	12.9	13.3	3.6	3.1	1.3
	60～69歳	196	56.6	44.9	52.6	32.7	26.5	10.7	19.4	15.8	1.0	1.5	1.5
	70歳以上	248	54.4	27.0	43.5	57.7	39.1	20.2	37.1	18.5	2.8	1.2	3.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすために必要なことは、「手間がかからないこと」が63.0%、「時間があること」が56.3%、「食費に余裕があること」が55.9%となっている。

【性別】「時間があること」、「食欲があること」は、女性が男性より5.1ポイント以上高くなっている。また、「家に用意されていること」は男性が21.9%と、女性の14.7%より7.2ポイント高くなっている。

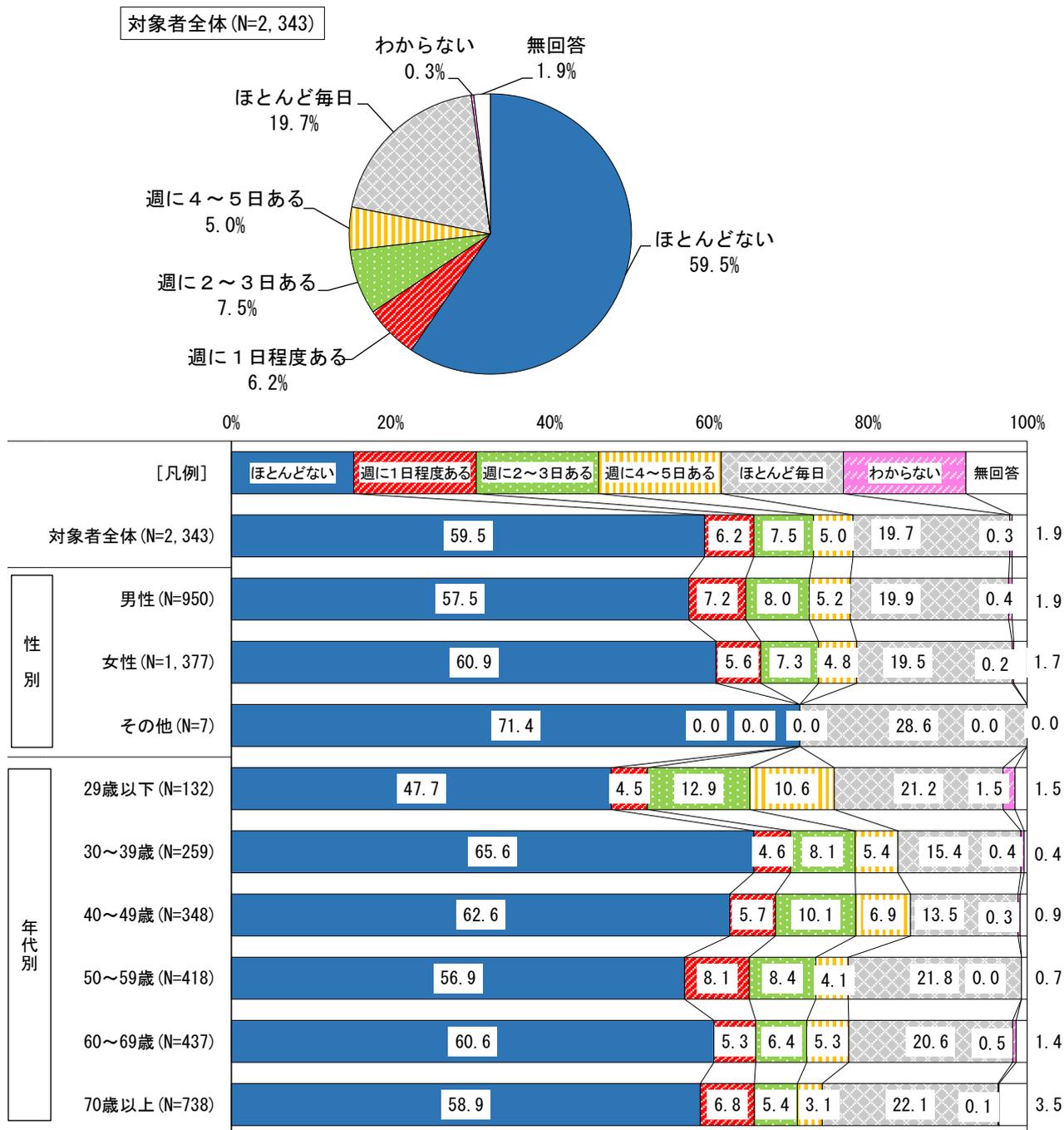
【年代別】「時間があること」が30歳代(80.2%)で最も高く、最も低い70歳以上(27.0%)と比べると53.2ポイントの差となっている。

◇一日の全ての食事を一人で食べる頻度

《皆さまにお聞きます。》

問21 あなたは、1日の全ての食事を一人で食べることがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

一日の全ての食事を一人で食べる頻度は「ほとんどない」と回答した人が59.5%



【全体】一日の全ての食事を一人で食べる頻度は、「ほとんどない」が59.5%、「週に1日程度ある」が6.2%、「週に2～3日ある」が7.5%、「週に4～5日ある」が5.0%、「ほとんど毎日」が19.7%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

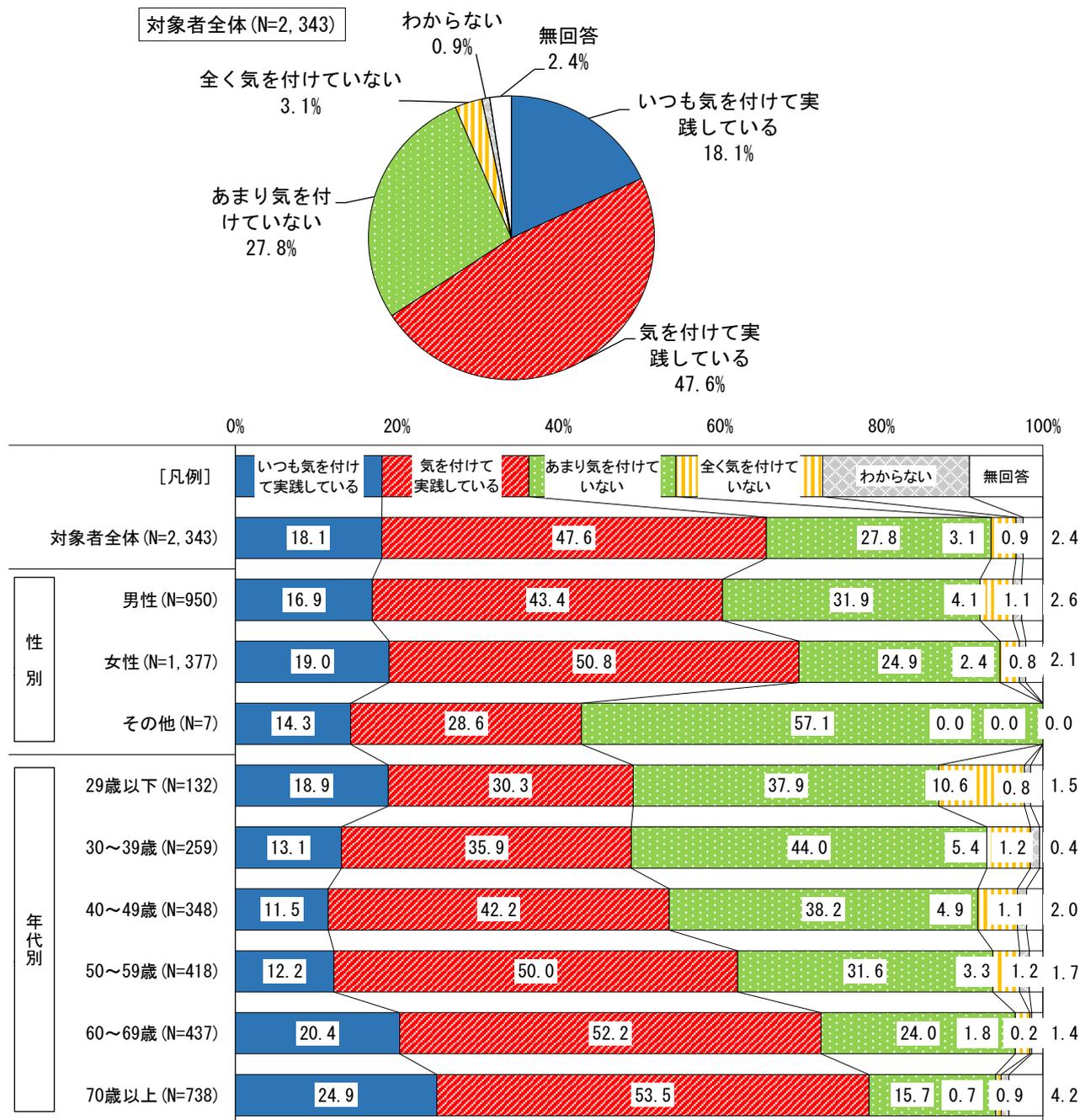
【年代別】「ほとんどない」は29歳以下(47.7%)で最も低く、最も高い30歳代(65.6%)と比べると17.9ポイントの差となっている。

◇生活習慣病等の予防や改善のための食生活を実践しているか否か

問22 あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気を付けた食生活を実践していますか。

生活習慣病等の予防や改善のための食生活を“実践している”が65.8%

“実践している（「いつも気を付けて実践している」＋「気を付けて実践している」）



【全体】生活習慣病等の予防や改善のための食生活を実践しているか否かは、「いつも気を付けて実践している」が18.1%、「気を付けて実践している」が47.6%、合わせると65.8%となっている。一方、「あまり気を付けていない」が27.8%、「全く気を付けていない」が3.1%、合わせると30.9%となっている。

【性別】“実践している”は女性が69.8%と、男性の60.3%より9.5ポイント高くなっている。

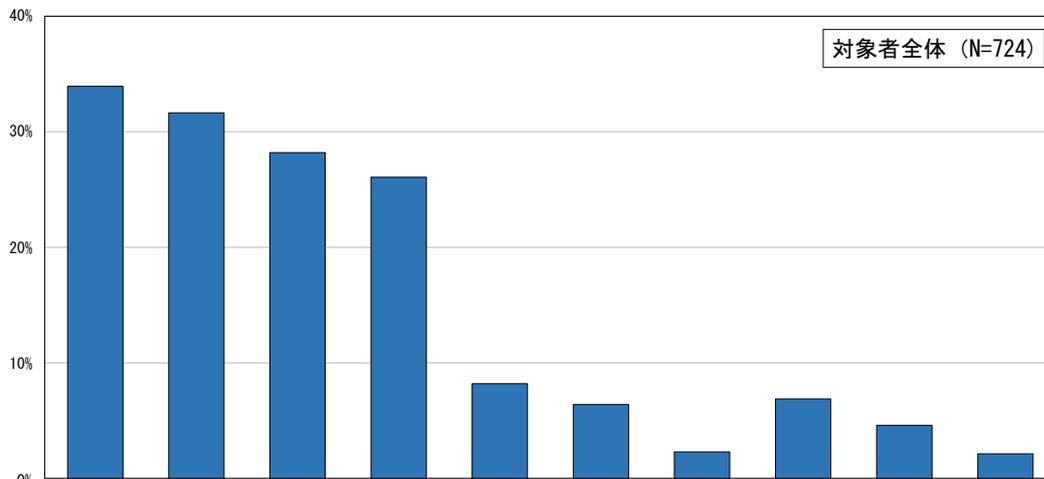
【年代別】“実践している”が70歳以上(78.5%)で最も高く、最も低い30歳代(49.0%)と比べると29.5ポイントの差となっている。

◇生活習慣病等の予防や改善のための食生活を実践していない理由

《問22で「3 あまり気を付けていない」「4 全く気を付けていない」と答えた方にお聞きします。》

問22-1 あなたが、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気を付けた食生活を実践していない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

生活習慣病等の予防や改善のための食生活を実践していない理由は「面倒だから」が33.8%



対象者数		面倒だから	生活習慣を改善する時間的ゆとりがないから	病気の自覚症状がないから	生活習慣を改善することがストレスとなるから	自分の健康に自信があるから	社会的な環境（運動施設、栄養成分表示がないなど）が整っていないから	よ病いから	その他	わからない	無回答	
		(%)										
対象者全体		724	33.8	31.6	28.2	26.1	8.1	6.5	2.3	6.9	4.7	2.2
性別	男性	342	33.6	25.1	32.7	26.0	9.1	7.3	2.9	6.4	5.3	1.2
	女性	376	34.3	37.2	24.5	26.3	7.4	5.6	1.9	7.4	4.3	2.7
	その他	4	-	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0
年代別	29歳以下	64	42.2	28.1	18.8	21.9	18.8	4.7	3.1	7.8	3.1	-
	30～39歳	128	45.3	52.3	25.0	22.7	3.1	8.6	2.3	6.3	2.3	-
	40～49歳	150	29.3	40.7	25.3	28.7	6.7	7.3	1.3	8.0	4.7	2.7
	50～59歳	146	30.8	32.2	28.8	26.7	6.2	5.5	1.4	6.8	4.8	0.7
	60～69歳	113	30.1	19.5	37.2	32.7	10.6	6.2	4.4	4.4	3.5	1.8
	70歳以上	121	29.8	10.7	31.4	22.3	9.9	5.8	2.5	8.3	9.1	6.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】生活習慣病等の予防や改善のための食生活を実践していない理由は、「面倒だから」が33.8%、「生活習慣を改善する時間的ゆとりがないから」が31.6%、「病気の自覚症状がないから」が28.2%となっている。

【性別】「生活習慣を改善する時間的ゆとりがないから」は女性が37.2%と、男性の25.1%より12.1ポイント高くなっている。また、「病気の自覚症状がないから」は男性が32.7%と、女性の24.5%より8.2ポイント高くなっている。

【年代別】「生活習慣を改善する時間的ゆとりがないから」が30歳代（52.3%）で最も高く、最も低い70歳以上（10.7%）と比べると41.6ポイントの差となっている。

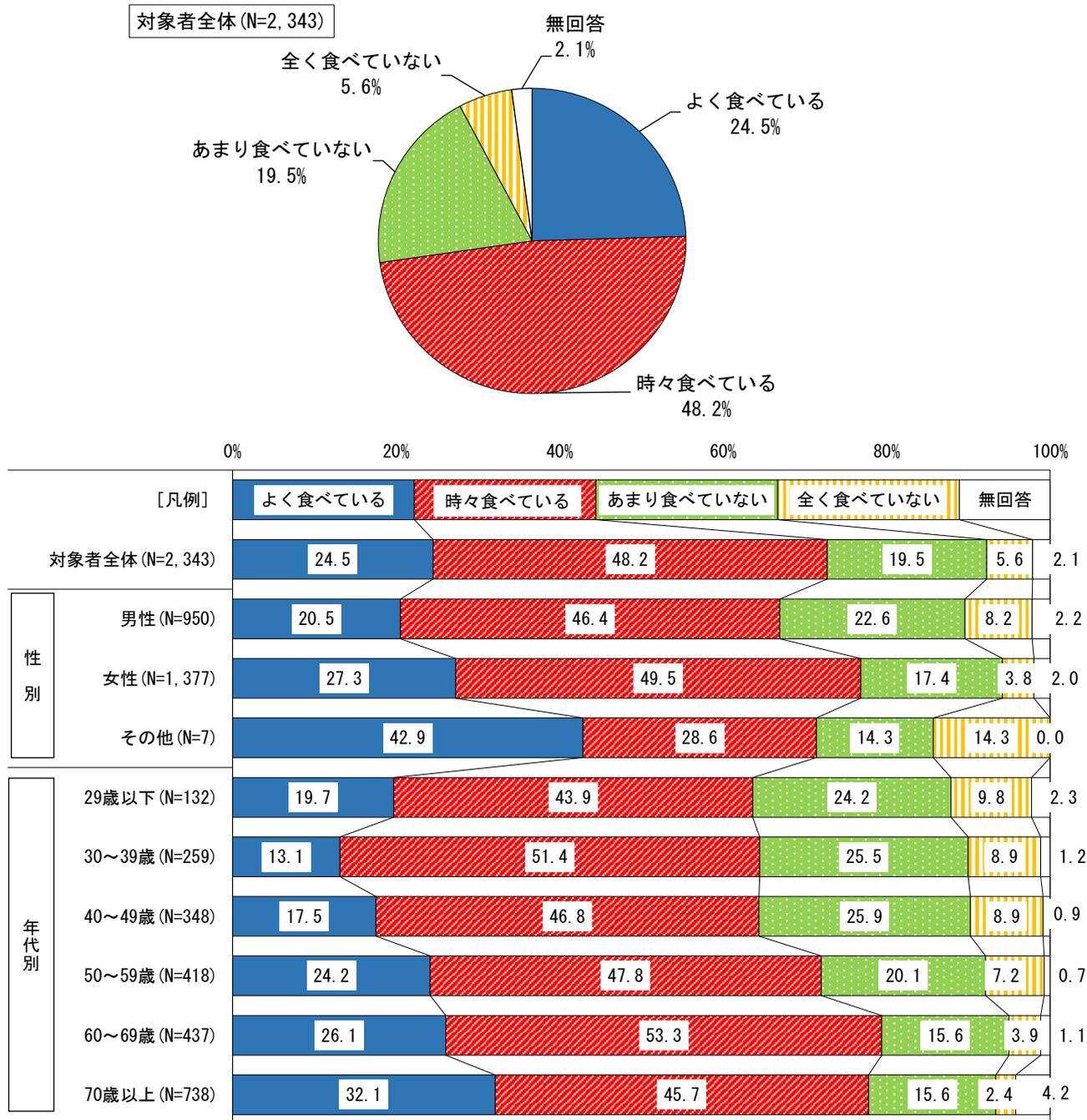
◇伝統的な食事を食べているか否か

《皆さまにお聞きします。》

問23 あなたは、伝統的な食事（正月や節句などの行事食、郷土料理等）を食べていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

伝統的な食事を“食べている”が72.7%

“食べている（「よく食べている」＋「時々食べている」）



【全体】 伝統的な食事を食べているか否かは、「よく食べている」が24.5%、「時々食べている」が48.2%、合わせると72.7%となっている。一方、「あまり食べていない」が19.5%、「全く食べていない」が5.6%、合わせると25.1%となっている。

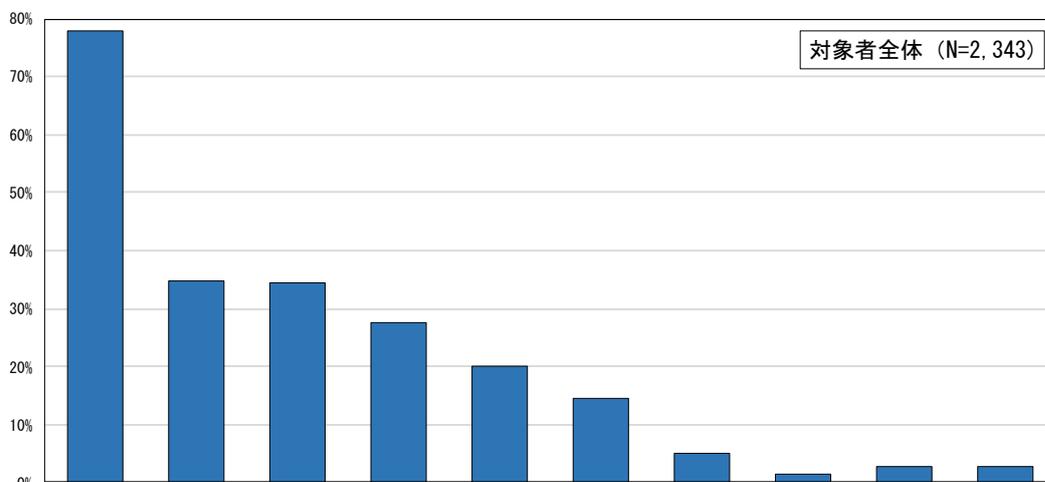
【性別】 “食べている”は女性で76.8%と、男性の66.9%より9.9ポイント高くなっている。

【年代別】 “食べている”は、60歳代（79.4%）で最も高く、次いで70歳以上（77.8%）、50歳代（72.0%）となっている。

◇伝統的な食事を受け継ぐために必要な事

問24 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味等、を受け継ぐためには、どのような事が必要だと思いますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

伝統的な食事を受け継ぐために必要なのは「親等から家庭で教わること」が78.0%



		対象者数	親等から家庭で教わること	ふだん食べているものうち、どれが郷土料理や伝統料理かを知る機会を増やすこと	子どもの頃に学校で教わること	出版物やテレビ、ウェブサイトで教わる	食に関するイベント等で教わる	地域コミュニティで教わる	わからない	その他	受け継ぐ必要はない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,343	78.0	34.9	34.4	27.7	20.0	14.3	5.0	1.3	2.6	2.9
性別	男性	950	74.4	31.4	29.8	27.3	19.6	14.0	6.5	1.1	4.0	2.5
	女性	1,377	80.5	37.3	37.6	28.0	20.0	14.5	3.9	1.5	1.7	3.0
	その他	7	71.4	42.9	57.1	14.3	71.4	28.6	-	-	-	-
年代別	29歳以下	132	77.3	25.0	45.5	31.8	27.3	8.3	3.8	4.5	3.0	2.3
	30～39歳	259	82.6	39.4	51.0	32.4	20.8	15.1	3.1	0.4	2.7	1.2
	40～49歳	348	79.6	40.5	48.9	34.5	25.6	21.0	2.9	3.2	3.4	1.1
	50～59歳	418	83.7	34.0	37.1	25.4	19.4	16.7	5.5	1.0	1.9	1.4
	60～69歳	437	76.7	34.1	30.0	25.9	20.8	14.2	5.3	1.1	2.7	1.8
	70歳以上	738	73.3	33.3	21.1	24.5	15.6	10.8	6.4	0.5	2.4	5.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 伝統的な食事を受け継ぐために必要な事は、「親等から家庭で教わること」が78.0%、「ふだん食べているものうち、どれが郷土料理や伝統料理かを知る機会を増やすこと」が34.9%、「子どもの頃に学校で教わること」が34.4%となっている。

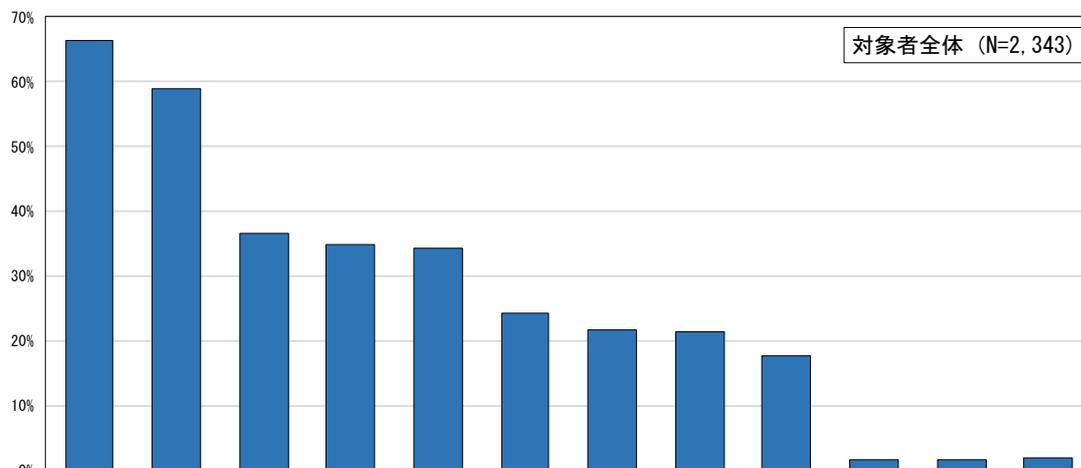
【性別】 「親等から家庭で教わること」、「ふだん食べているものうち、どれが郷土料理や伝統料理かを知る機会を増やすこと」、「子どもの頃に学校で教わること」は女性が、男性より5.9ポイント以上高くなっている。

【年代別】 「子どもの頃に学校で教わること」は、30歳代(51.0%)で最も高く、最も低い70歳以上(21.1%)と比べると29.9ポイントの差となっている。

◇食に関する情報の入手手段

問25 あなたは、食に関する情報をどこから入手していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

食に関する情報の入手手段は「テレビ・ラジオ」が66.3%



対象者数		テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・本	スーパーマーケットなど食品の購入場所	家族とのやりとり	インターネット上のニュースサイト	ブログ、SNS	YouTube等の動画サイト	ネット上を含めた友人、知人、同僚とのやりとり	生産者や食品企業・販売業者、機関のウェブサイトや広報物	その他	わからない	無回答	
対象者数		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
対象者全体		2,343	66.3	59.0	36.5	34.7	34.3	24.1	21.7	21.3	17.6	1.5	1.6	2.0
性別	男性	950	61.7	56.4	30.8	29.8	36.9	19.5	21.2	16.7	16.7	1.8	2.7	1.7
	女性	1,377	69.5	60.8	40.7	38.1	32.5	27.3	22.1	24.5	18.1	1.2	0.8	2.0
	その他	7	71.4	71.4	42.9	42.9	71.4	57.1	28.6	14.3	28.6	-	-	-
年代別	29歳以下	132	43.9	34.1	34.8	50.0	39.4	59.1	48.5	26.5	12.9	0.8	1.5	3.0
	30～39歳	259	54.4	36.3	41.7	42.1	56.0	60.6	38.6	26.6	13.9	1.9	0.8	0.4
	40～49歳	348	61.8	44.8	34.8	36.2	52.3	37.1	29.6	28.4	17.8	1.7	1.4	0.9
	50～59歳	418	64.8	57.9	35.6	29.4	47.8	28.7	25.1	25.4	21.8	2.2	1.0	1.0
	60～69歳	437	72.1	68.0	38.4	32.5	32.0	13.7	18.1	19.2	17.8	1.1	1.4	1.4
	70歳以上	738	74.0	73.6	35.6	33.1	11.4	2.7	7.6	14.1	16.9	1.1	2.4	3.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食に関する情報の入手手段は、「テレビ・ラジオ」が66.3%、「新聞・雑誌・本」が59.0%、「スーパーマーケットなど食品の購入場所」が36.5%となっている。

【性別】「テレビ・ラジオ」、「スーパーマーケットなど食品の購入場所」、「家族とのやりとり」、「ブログ・SNS」、「ネット上を含めた友人、知人、同僚とのやりとり」は女性が、男性と比べて7.8ポイント以上高くなっている。

【年代別】「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌・本」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「YouTube等の動画サイト」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

調查票

令和4年度第4回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力をお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和4年12月16日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。**

ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 葛西 ☎ 011-211-2045 まで

<市民意識調査に関するよくある質問 (FAQ) >

https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/citi_enq/faq.html



テーマ1 札幌市の仕事の取り組み方に対する評価について

札幌市では、「市民感覚」を大切に行政運営を心掛けています。そこで、市民の皆さまが、市役所の仕事の取り組み方に対してどのような意識をお持ちなのかをお聞きし、行政運営を改善するための参考とさせていただきます。

問1 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方全般に対して、どのように思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 よくやっていると思う
- 2 どちらかといえばよくやっていると思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば不満である
- 5 不満である

問2 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方に対して、次のア～エのそれぞれの項目について、どのように思いますか。項目ごとの数字に1つずつ○をつけてください。

項目 (市役所の仕事の取り組み方)	よくやっていると思う	どちらかといえばよくやっていると思う	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
ア 窓口や電話で親切な対応を行っている	1	2	3	4	5
イ 必要な業務（サービス）を実施している	1	2	3	4	5
ウ 事務や事業の効率化、見直しを進めている	1	2	3	4	5
エ 市政情報を積極的に発信している	1	2	3	4	5

問3 あなたは、過去に札幌市(※)への届出や申請などの手続きをしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | | | | |
|------------------|---|---|------|---|------|---|
| 1 概ね5年以内にしたことがある | } | ⇒ | 問3-1 | ～ | 問3-5 | へ |
| 2 5年以上前にしたことがある | | | | | | |
| 3 したことがない・覚えていない | | ⇒ | テーマ2 | | | へ |

※ 市役所、区役所、市税事務所などの窓口での手続きのほか、オンライン申請やコンビニ交付などの窓口を利用しない手続きも含まれます。

《問3で「1 概ね5年以内にしたことがある」または「2 5年以上前にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問3-1 あなたは、市役所や区役所などでどのような手続きをしましたか。あてはまるものについて○をつけてください。

- 1 市外からの転入
- 2 市内の住所変更
- 3 マイナンバーカードに関すること
- 4 出生
- 5 婚姻、離婚
- 6 死亡
- 7 各種証明書の取得（戸籍、住民票、印鑑証明、税証明など）
- 8 子育てに関すること（児童手当、子ども医療費助成など）
- 9 保健福祉に関すること（国民健康保険、介護保険、高齢者福祉、障がい者福祉など）
- 10 その他（ ）
- 11 覚えていない

問3-2 あなたは、市役所や区役所などへの届出や申請などの手続きについて、手続きが開始されるまでの待ち時間をどのように思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 短い
- 2 どちらかといえば短い
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば長い
- 5 長い

問3-3 あなたは、市役所や区役所などへの届出や申請などの手続きについて、手続きが開始されるまでに平均してどのくらい待ちましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 待ち時間なし（オンライン申請やコンビニ交付を含む）
- 2 15分未満
- 3 15分以上30分未満
- 4 30分以上1時間未満
- 5 1時間以上2時間未満
- 6 2時間以上

問3-4 あなたは、市役所や区役所などへの届出や申請などの手続きについて、わかりやすいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 わかりやすい
- 2 どちらかといえばわかりやすい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばわかりにくい
- 5 わかりにくい

問3-5 あなたは、市役所や区役所の手続きにおいて、どのようなことを改善すべきと思いますか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください

- 1 どの窓口で手続きするべきかわかりにくいこと
- 2 複数の窓口で手続きをしなければならないこと
- 3 窓口の配置や表示がわかりにくいこと
- 4 手続きに必要な書類などが事前に調べにくいこと
- 5 書類の書き方がわかりにくいこと
- 6 書類に記入すべき欄が多いこと
- 7 手続きごとに申請書などを書かなければならないこと
- 8 市役所や区役所以外で手続きができないものが多いこと
- 9 パソコンやスマートフォンなどからオンラインで手続きや相談ができないこと
- 10 職員の説明がわかりにくいこと
- 11 その他 ()
- 12 わからない
- 13 特にない

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。



2種類同時発売! 11/22(火)-12/23(金)

1等・前後賞合わせて

年末ジャンボ 10億円

1等・前後賞合わせて 5,000万円

2つの「年末ジャンボ」合計で

100万円以上の当せん本数は 1万本以上!

1万円以上の当せん本数は 144万本以上!

年末ジャンボ ネットでも買える!

宝くじ

各1枚 300円

みずほ銀行

宝くじの収益金は、子育て支援や学校・公園の整備など、わたしたちの身近な暮らしに役立てられます。

テーマ2 シティプロモートの推進について

札幌市では、札幌に関わる皆さまが「笑顔になれる街」を目指して、「サップロスマイル（ロゴ）」を活用した取り組みを進めています。ロゴの認知度や皆さまがロゴに対して感じていることを把握し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

【サップロスマイル（ロゴ）】

SAPP  RO

SAPP
 RO



問4 あなたは、「笑顔になれる街」札幌をイメージした「サップロスマイルロゴ」を見たことがありますか。

- 1 見たことがある ⇒ [問4-1](#) [問4-2](#) へ
2 見たことがない ⇒ [問5](#) へ

《問4で「1 見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

問4-1 あなたは、ロゴが「サップロスマイル」という名称で、「笑顔(笑顔になれる街)」「札幌の魅力づくり・魅力発信」という意味が込められていることを知っていましたか。

- 1 名称、意味ともに知っていた
2 名称は知っていたが、意味は知らなかった
3 名称は知らなかったが、意味は知っていた
4 名称、意味ともに知らなかった

問4-2 「サップロスマイル」は以下のようなものに使われています。あなたが見たことのあるものにくつでも○をつけてください。

- 1 札幌市のチラシ・パンフレット・封筒など
2 市役所や区役所、区民センターなどの公共施設
3 民間企業の商品、サービス、店舗、パンフレットなど
4 地下鉄、バスなどの公共交通機関
5 ホームページやSNS（※）など
6 バッジやステッカーなどのグッズ
7 地下鉄大通駅出入口（大通西2・3丁目、テレビ塔前）
8 大通公園の花壇や札幌駅のモニュメント
9 家庭用指定ごみ袋
10 札幌ドームのフェンスや観客席など
11 その他（)

※ Twitter、Facebook、LINE などのソーシャル・ネットワーク・サービスのこと

札幌には、良好な都市機能や豊かな自然、おいしい食べ物や四季折々のイベントなど多くの魅力があります。札幌市では、観光やビジネス、移住などさまざまな場面で札幌に関心を持ってくれる人を増やしていくために、市民一人ひとりが札幌の街に愛着を持ち、札幌の情報を発信していくことが大切だと考えています。

《皆さまにお聞きます。》

問5 あなたは、札幌のどのようなところが好きですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|--|---|-----------------|
| <ol style="list-style-type: none">1 都市でありながら豊かな自然を満喫できる自然環境2 全道各地から集まるおいしい食べ物3 はっきりとした四季や冷涼な気候4 充実した公共交通機関や多彩な商業施設など、快適な生活を楽しむことができる都市環境5 雪まつりやオータムフェストなど四季折々に開催されるさまざまなイベント6 スキーやスノーボードをはじめとする冬のスポーツ文化7 野球やサッカーなどのスポーツ観戦、クラシックなどの音楽鑑賞や観劇など多彩な娯楽8 子育て支援施設やサービス等の子育て環境9 医療機関、福祉施設・福祉サービス等、生涯をとおした住み心地10 漠然と好きではあるが、具体的には思いつかない11 その他 ()12 札幌が好きではない ⇒ 問6 へ | } | ⇒ 問5-1 へ |
|--|---|-----------------|

《**問5**で「1」から「11」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。》

問5-1 あなたは、札幌の魅力や好きなどに関する情報を他の人に伝えたり、広めたりしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--|---|-----------------|
| <ol style="list-style-type: none">1 伝えたり、広めたりしたことがある2 伝えたり、広めたりしたいと思うが、実際にしたことはない3 伝えたり、広めたりしたいと思わない4 わからない | } | ⇒ 問5-2 へ |
| | } | ⇒ 問5-3 へ |

《**問5-1**で「1 伝えたり、広めたりしたことがある」または「2 伝えたり、広めたりしたいと思うが、実際にしたことはない」に○をつけた方にお聞きます。》

問5-2 あなたは、どのような手段を使って札幌の魅力や好きなどに関する情報を他の人に伝えたり、広めたりしようと思いませんか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 直接口頭2 SNSでの写真や文章の投稿3 YouTubeなどの動画配信4 ブログやホームページなど5 年賀状や手紙などの郵便物6 電話7 電子メール8 その他 () |
|--|

《問5で「3 伝えたり、広めたりしたいと思わない」または「4 わからない」に○をつけた方にお聞きします。》

問5-3 あなたは、どのようなきっかけがあれば、札幌の魅力や好きなところを他の人に伝えたり、広めたりする機会につながると感じますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 自分が気づいていなかった札幌の魅力を知ること
- 2 札幌の歴史や地元ならではの文化や習慣などの知識を深めること
- 3 札幌の魅力を実際に体験すること
- 4 地域活動やイベントなどに自分自身が関わること
- 5 SNSなど最新の情報発信の方法を知ること
- 6 情報発信する場所や機会があること
- 7 その他 ()
- 8 わからない

《皆さまにお聞きします。》

問6 あなたは住んでいる街(札幌)の情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 テレビやラジオなどの番組
- 2 新聞
- 3 街の情報誌
- 4 ブログやホームページなど
- 5 SNSでの写真や文章の投稿
- 6 YouTubeなどの配信動画
- 7 家族や友人、知人などからの口コミ
- 8 その他 ()
- 9 入手していない

問7 あなたは札幌以外の街の情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 テレビやラジオなどの番組
- 2 新聞
- 3 街の情報誌
- 4 ブログやホームページなど
- 5 SNSでの写真や文章の投稿
- 6 YouTubeなどの配信動画
- 7 家族や友人、知人などからの口コミ
- 8 その他 ()
- 9 入手していない

テーマ3 成年後見制度について

札幌市では、成年後見制度の利用がより一層進むような体制づくりに向けて取り組んでいます。

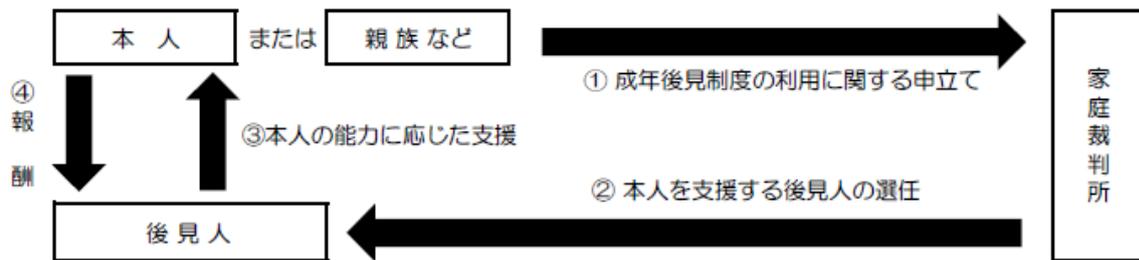
そこで、成年後見制度に対して、市民の皆さまがどのような認識をお持ちであるのかをお伺いし、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

【成年後見制度】

成年後見制度とは、認知症や精神上的の障がいなどによって判断能力が十分ではない方（本人）の財産管理や、施設入所・入院といった契約などの手続きを後見人が支援する制度です。

本人の権利を守る後見人は、家庭裁判所に申立てを行うことにより選任されます。また、後見人から支援を受けた場合、原則として本人には費用負担（後見人報酬）が生じます。

【参考：成年後見制度の利用手続きの流れ】



問8 あなたは、「成年後見制度」を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 制度の名称も内容も知っていた
- 2 制度の名称は知っていたが、制度の内容までは知らなかった
- 3 知らなかった

問9 あなたは、身近に成年後見制度について相談できる窓口があった場合、その窓口を利用したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | | |
|---------------|---|------|-----|---|
| 1 利用したいと思う | ⇒ | 問9-1 | へ | |
| 2 利用したいとは思わない | } | ⇒ | 問10 | へ |
| 3 わからない | | | | |

《問9で「1 利用したいと思う」と答えた方にお聞きします。》

問9-1 あなたは、窓口でどのようなことを相談したいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 制度の内容について詳しく聞きたい
- 2 自身が後見人になると考えたときに、活動内容や手続きなどについて相談したい
- 3 自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい
- 4 制度を利用するための費用に対する助成制度について相談したい
- 5 後見人と医療・介護の関係者との協力について相談したい
- 6 後見活動に関する法的な問題について相談したい
- 7 その他 ()
- 8 わからない

《皆さまにお聞きます。》

問 1 0 あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと
思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1 利用したいと思う | ⇒ 問 1 1 へ |
| 2 利用したいとは思わない | } ⇒ 問 1 0 - 1 へ |
| 3 わからない | |

《**問 1 0**で「2 利用したいとは思わない」または「3 わからない」と答えた方にお聞きます。》

問 1 0 - 1 あなたが、「利用したいとは思わない」または「わからない」と答えた理由は何ですか。あては
まるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1 制度の内容や利用方法がよくわからない |
| 2 制度を利用するための手続きが複雑そうである |
| 3 他人に財産管理をされることに抵抗がある |
| 4 利用するために費用(経済的負担)がかかる |
| 5 制度自体に良いイメージがない |
| 6 必要性がわからない |
| 7 その他 () |
| 8 特に理由はない |

《皆さまにお聞きます。》

問 1 1 あなたは、親族の判断能力が不十分となった場合、親族の後見人となって財産管理や契約行為
の支援することに抵抗はありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|----------------|
| 1 支援することに抵抗はない |
| 2 支援することに抵抗がある |
| 3 わからない |

問 1 2 あなたが、親族から後見人になってほしいと依頼されたとき、どのような環境であれば、後見人と
して支援したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 後見活動について相談できる窓口がある |
| 2 後見活動に必要な知識を習得するための研修や説明会がある |
| 3 制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される |
| 4 制度を利用するための費用に対する助成制度などが充実している |
| 5 財産の横領などの不正が疑われないような仕組みがある |
| 6 後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されている |
| 7 後見活動で法的な問題が生じた場合、弁護士等による助言が得られる体制が整備されている |
| 8 その他 () |
| 9 わからない |
| 10 支援したいとは思わない |

テーマ4 札幌市が実施する自動消火装置助成事業について

札幌市では、火災による死者のうち高齢者の占める割合が増加傾向にあることから、高齢者世帯を対象とした自動消火装置の設置費の助成を行うなど、高齢者世帯における火災被害の軽減に向けた取り組みを行っております。

そこで、市民の皆さまの事業に対する意識などを調査し、今後の方針の参考とさせていただきます。

【高齢者世帯自動消火装置設置費助成事業】

自動消火装置：火災の熱を感知して自動で消火薬剤を放射する装置

対象：市内に住民登録のある65歳以上の高齢者のみで構成される世帯

助成額：装置の購入・設置費用の9割（1台あたり最大28,700円）

助成台数：1世帯2台まで

問13 あなたが、ご自宅で火災の危険があると感じている場所(要因)はどちらですか。あてはまるもの
にいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 配線器具 | 2 電源コード |
| 3 照明器具 | 4 スマートフォン(携帯電話) |
| 5 ストープ | 6 こんろ |
| 7 ボイラー | 8 仏壇 |
| 9 たばこ | 10 放火 |
| 11 その他() | |
| 12 危険があると感じている場所はない | |

問14 あなたは、札幌市が65歳以上の高齢者のみで構成される世帯に対し、自動消火装置の購入・設置に要する費用を助成する制度があることを知っていますか。

- | | | | |
|----------|---|-------|---|
| 1 知っている | ⇒ | 問14-1 | へ |
| 2 知らなかった | ⇒ | 問15 | へ |

《問14で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。》

問14-1 あなたは、当該助成制度をどこでお知りになりましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1 消防局による説明会 | 2 町内会・マンションの回覧 |
| 3 広報さっぽろ | 4 パンフレット、ちらし、ポスター |
| 5 札幌市公式ホームページ | 6 テレビ |
| 7 札幌市公式SNS (Twitter・LINE) | 8 ラジオ |
| 9 消防局公式SNS (Twitter・Instagram) | 10 新聞 |
| 11 札幌市以外のホームページ・SNS | 12 雑誌(フリーペーパー含む) |
| 13 街頭大型ビジョン | 14 イベントブース |
| 15 家族・友人・知人からの口コミ | |
| 16 その他() | |
| 17 わからない | |

《皆さまにお聞きします。》

問15 あなたは、自動消火装置設置費助成制度を利用（現時点で助成の対象外であっても利用できると仮定）して、自動消火装置をご自宅に設置してみたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | | |
|---------------|---|-------|-----|---|
| 1 設置したい | ⇒ | 問15-1 | へ | |
| 2 設置したいとは思わない | } | ⇒ | 問16 | へ |
| 3 わからない | | | | |

《問15で「1 設置したい」と答えた方にお聞きします。》

問15-1 あなたは、ご自宅に自動消火装置を何台設置したいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください（なお、助成制度の上限は2台までとなります。）。

- | | | | |
|------|------|--------|---------|
| 1 1台 | 2 2台 | 3 3台以上 | 4 わからない |
|------|------|--------|---------|

《ご本人も含め、世帯全員が65歳以上の方にお聞きします。それ以外の方は問17へお進みください。》

問16 あなたは、高齢者世帯自動消火装置設置費助成制度を利用したことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | | |
|-------------|---|-----|-------|---|
| 1 利用したことがある | ⇒ | 問17 | へ | |
| 2 利用したことはない | } | ⇒ | 問16-1 | へ |
| 3 わからない | | | | |

《問16で「2 利用したことはない」または「3 わからない」と答えた方にお聞きします。》

問16-1 あなたは、高齢者世帯自動消火装置設置費助成制度を利用したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | | |
|---------------|---|-----|-------|---|
| 1 利用したい | ⇒ | 問17 | へ | |
| 2 利用したいとは思わない | } | ⇒ | 問16-2 | へ |
| 3 わからない | | | | |

《問16-1で「2 利用したいとは思わない」または「3 わからない」と答えた方にお聞きします。》

問16-2 あなたが、現時点で高齢者世帯自動消火装置設置費助成制度の利用に踏み切れない、利用したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 制度内容や利用方法がわからない | 2 申請が複雑そうである |
| 3 費用が高い | 4 室内の景観を損ねる |
| 5 必要性がわからない | 6 日頃から火災に気を付けている |
| 7 火災が自分事ではない | 8 きっかけが無い |
| 9 取り付ける場所が無さそうだから | 10 すでに設置しているから |
| 11 その他（ | ） |
| 12 特に理由はない | |

《皆さまにお聞きします。》

問 17 あなたは、高齢者世帯自動消火装置設置費助成制度について、市内在住で65歳以上の身近な方に紹介したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---|-------------------|
| 1 積極的に紹介したい | } | ⇒ 問 18 へ |
| 2 必要に応じて紹介したい | | |
| 3 どちらでもない | | |
| 4 紹介したいとは思わない | | ⇒ 問 17-1 へ |
| 5 身近な対象者はいない | | ⇒ 問 18 へ |

《**問 17**で「4 紹介したいとは思わない」と答えた方にお聞きします。》

問 17-1 あなたが、現時点で自動消火装置助成制度について、身近な人に紹介したいとは思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 制度内容や利用方法がわからない | 2 申請が複雑そうだから |
| 3 費用が高い | 4 室内の景観を損ねそうだから |
| 5 必要性がわからない | 6 きっかけが無い |
| 7 取り付ける場所が無さそうだから | 8 すでに設置しているから |
| 9 手続等を手伝わせられそうだから | 10 どんな装置かわからないから |
| 11 その他 () | |
| 12 特に理由はない | |

《皆さまにお聞きします。》

問 18 あなたは、火災予防に関する情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1 消防局による説明会 | 2 町内会・マンションの回覧 |
| 3 広報さっぽろ | 4 パンフレット、ちらし、ポスター |
| 5 札幌市公式ホームページ | 6 テレビ |
| 7 札幌市公式SNS (Twitter・LINE) | 8 ラジオ |
| 9 消防局公式SNS (Twitter・Instagram) | 10 新聞 |
| 11 札幌市以外のホームページ・SNS | 12 雑誌 (フリーペーパー含む) |
| 13 街頭大型ビジョン | 14 イベントブース |
| 15 家族・友人・知人からの口コミ | |
| 16 その他 () | |
| 17 特に必要がない | |

《問22で「3 あまり気を付けていない」「4 全く気を付けていない」と答えた方にお聞きます。》

問22-1 あなたが、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気を付けた食生活を実践していない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 自分の健康に自信があるから
- 2 病気の自覚症状がないから
- 3 病気になってから治療すればよいから
- 4 生活習慣を改善することがストレスとなるから
- 5 生活習慣を改善する時間的ゆとりがないから
- 6 社会的な環境（運動施設、栄養成分表示がないなど）が整っていないから
- 7 面倒だから
- 8 その他（)
- 9 わからない

《皆さまにお聞きます。》

問23 あなたは、伝統的な食事(正月や節句などの行事食、郷土料理等)を食べていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 よく食べている | 2 時々食べている |
| 3 あまり食べていない | 4 全く食べていない |

問24 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味等、を受け継ぐためには、どのような事が必要だと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 親等から家庭で教わること
- 2 子どもの頃に学校で教わること
- 3 地域コミュニティーで教わること
- 4 食に関するイベント等で教わること
- 5 出版物やテレビ、ウェブサイト等のメディアで教わること
- 6 ふだん食べているもののうち、どれが郷土料理や伝統料理かを知る機会を増やすこと
- 7 その他（)
- 8 わからない
- 9 受け継ぐ必要はない

問25 あなたは、食に関する情報をどこから入手していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 新聞・雑誌・本
- 2 テレビ・ラジオ
- 3 インターネット上のニュースサイト
- 4 YouTube等の動画サイト
- 5 ブログ、SNS
- 6 生産者や食品企業・販売業者、行政機関のウェブサイトや広報物
- 7 家族とのやりとり
- 8 ネット上を含めた友人、知人、同僚とのやりとり
- 9 スーパーマーケットなど食品の購入場所
- 10 その他（)
- 11 わからない

